

高齢者保健福祉実態調査報告書

令和2年3月

富山市

目次

I	調査の概要	
1	調査目的	1
2	調査の内容	
3	調査対象者	
4	調査方法	
5	調査期間	
6	回収結果	
7	回答者の属性	2
II	調査結果の要約	4
III	調査結果	
1	家族や生活状況について	8
2	からだを動かすことについて	20
3	食えることについて	30
4	毎日の生活について	34
5	地域での活動について	45
6	たすけあいについて	48
7	健康について	54
8	認知症にかかる相談窓口の把握について	63
9	高齢者福祉について	67
10	医療について	77
IV	調査票	83

この冊子のみかた

1. 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入した。そのため、単数回答（SA：複数の選択肢から1つだけ選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合がある。
2. 複数回答（MA：複数の選択肢から2つ以上の回答を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの回答数に対して、それぞれの場合を示しています。そのため、合計は概ね100.0%を超える。
3. 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なもの。
4. クロス集計では、各属性に「無回答」があるため、属性の合計と全体が一致しない場合がある。
5. 図表中の「N」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表す。

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査目的

次期富山市高齢者総合福祉プラン（令和3～5年度）策定のための基礎資料とするため、対象となる高齢者の生活実態、保健・福祉・介護保険に係るサービス、施策・制度等に関する意向等を把握することを目的とする。

2 調査の内容

- (1) 回答者の属性
- (2) 家族や生活状況について
- (3) からだを動かすことについて
- (4) 食えることについて
- (5) 毎日の生活について
- (6) 地域での活動について
- (7) たすけあいについて
- (8) 健康について
- (9) 認知症に関する相談窓口の把握について
- (10) 高齢者福祉について
- (11) 医療について

3 調査対象者

- ・ 富山市在住の65歳以上の男女の内、要介護1～5の認定を受けていない方
- ・ 富山市内18圏域ごとに200人ずつ（計3,600人）を無作為抽出

4 調査方法

郵送返送方式

5 調査期間

令和2年2月15日～2月21日

6 回収結果

配布数	有効回答数	回収率
3,600	2,626	72.9%

7 回答者の属性

(1) 性別・年齢別（上段：件数、下段：％）

	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳以上	無回答	計
全体	628 23.9	773 29.4	613 23.3	377 14.4	158 6.0	61 2.3	16 0.6	2,626 100.0
男性	347 26.4	392 29.9	300 22.9	174 13.3	70 5.3	28 2.1	1 0.1	1,312 100.0
女性	279 21.6	378 29.3	310 24.0	200 15.5	86 6.7	33 2.6	4 0.3	1,290 100.0

(2) アンケートの記入者（上段：件数、下段：％）

		あなた (ご本人)	ご家族 (ご本人からの 聞き取りにより 記入)	その他 (ご本人からの 聞き取りにより 記入)	無回答	計
全体		2,431 92.6	142 5.4	5 0.2	48 1.8	2,626 100
性別	男性	1,229 93.7	69 5.3	3 0.2	11 0.8	1,312 100
	女性	1,192 92.4	72 5.6	2 0.2	24 1.9	1,290 100
年齢別	65歳～69歳	607 96.7	18 2.9	0 0.0	3 0.5	628 100
	70歳～74歳	748 96.8	12 1.6	2 0.3	11 1.4	773 100
	75歳～79歳	570 93.0	33 5.4	2 0.3	8 1.3	613 100
	80歳～84歳	335 88.9	33 8.8	0 0.0	9 2.4	377 100
	85歳～89歳	125 79.1	27 17.1	0 0.0	6 3.8	158 100
	90歳以上	42 68.9	17 27.9	1 1.6	1 1.6	61 100

(3) 要介護認定（上段：件数、下段：％）

		受けていない	事業対象者	要支援1	要支援2	無回答	合計
全体		2,443 93.0	7 0.3	51 1.9	49 1.9	76 2.9	2,626 100
性別	男性	1,245 94.9	2 0.2	14 1.1	12 0.9	39 3.0	1,312 100.0
	女性	1,183 91.7	4 0.3	37 2.9	37 2.9	29 2.2	1,290 100.0
年齢別	65歳～69歳	611 97.3	1 0.2	4 0.6	3 0.5	9 1.4	628 100.0
	70歳～74歳	745 96.4	1 0.1	5 0.6	3 0.4	19 2.5	773 100.0
	75歳～79歳	583 95.1	2 0.3	5 0.8	7 1.1	16 2.6	613 100.0
	80歳～84歳	326 86.5	3 0.8	19 5.0	14 3.7	15 4.0	377 100.0
	85歳～89歳	135 85.4	0 0.0	8 5.1	12 7.6	3 1.9	158 100.0
	90歳以上	36 59.0	0 0.0	10 16.4	10 16.4	5 8.2	61 100.0

(4) 居住地域

圏域・地域	件数（人）	%
総曲輪、愛宕、安野屋、八人町、五番町、柳町、清水町、星井町	136	5.2
東部、山室	169	6.4
西田地方、堀川、光陽	141	5.4
堀川南、蜷川	147	5.6
奥田、奥田北	136	5.2
桜谷、五福、神明	134	5.1
岩瀬、荻浦、大広田、浜黒崎	146	5.6
針原、豊田	143	5.4
広田、新庄、新庄北	139	5.3
藤ノ木、山室中部	127	4.8
太田、新保、熊野、月岡	151	5.8
四方、八幡、草島、倉垣	148	5.6
呉羽、長岡、寒江、古沢、老田、池多	144	5.5
水橋中部、水橋西部、水橋東部、三郷、上条	151	5.8
(富山地域 計)	2,012	76.6
大沢野地域、細入地域	151	5.8
大山地域	141	5.4
八尾地域、山田地域	154	5.9
婦中地域	144	5.5
無回答	24	0.9
合計	2,626	100.0

Ⅱ 調査結果の要約

II 調査結果の要約

1 家族や生活状況について

同居状況は、「1人暮らし」が14.6%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が37.1%、「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」が4.9%、「息子・娘との2世帯」が36.5%となっている。

日中、「高齢者（65歳以上）のみ」や「一人」になることが『ある（「よくある」と「たまにある」を合算した割合）』との回答がいずれも6割以上となっている。

普段の生活において「介護・介助は必要ない」と8割以上が回答している。一方、介護・介助が必要となる主な原因として、「高齢による衰弱」、「骨折・転倒」、「心臓病」の割合が高く、「配偶者（夫・妻）」、「息子」、「介護サービスのヘルパー」、「娘」の介護・介助を受けている割合が高くなっている。

生活の中での不安は、「病気に対する不安」、「認知症になることへの不安」、「寝たきりになることへの不安」の割合が高くなっている。また、現在の暮らしの経済状況について3割強が『苦しい（「大変苦しい」と「やや苦しい」を合算した割合）』と回答している。

現在の住居形態は、「持ち家（一戸建て）」が約9割を占めており、住居について「特に困っていることはない」と4割弱が回答している。一方、住居について困っていることとして「住宅の修繕などの維持・管理」、「冬季の除雪」、「庭木の手入れや除草」、「生活が不便（交通の便が悪い、近くにスーパーがない等）」の割合が高くなっている。

2 体を動かすことについて

「階段を手すりや壁をつたわずに昇っている」、「椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっている」、「15分位続けて歩いている」は、いずれも「できるし、している」が6割以上となっている。

転倒に対して『不安がある（「とても不安である」と「やや不安である」を合算した割合）』と4割半ばが回答しており、過去1年間に転倒した経験が「ある」と3割強が回答している。

昨年と比較した外出頻度は、『減少していない（「あまり減っていない」と「減っていない」を合算した割合）』と7割半ばが回答しており、「週2～4回」の外出が4割強と最も高くなっている。また、外出する際の移動手段については、「自動車（自分で運転）」、「徒歩」の割合が高くなっている。一方、昨年と比べて外出頻度が減少している理由について、「足腰などの痛み」が4割半ばと最も高くなっている。

3 食べることについて

回答者の平均身長は、158.8cm（男性平均165.3cm、女性平均151.9cm）、平均体重は58.0kg（男性平均63.9kg、女性平均51.9kg）となっている。

口腔の状態は、「歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日している」が6割強と最も高くなっている。一方、歯の数と入れ歯の利用状況は、「入れ歯を利用」が半数以上となっている。

誰かと食事をともにする機会が「ある」と9割以上が回答しており、頻度は、「毎日ある」が6割弱と最も高くなっている。

4 毎日の生活について

物忘れについて、約6割が「自分で電話番号を調べて、電話をかけている」と回答している。

「乗り物を使って1人で外出」、「食品・日用品の買い物」、「請求書の支払い」、「預貯金の出し入れ」について、いずれも8割程度が「できるし、している」と回答している。一方、食事の用意は男女差が大きく、男性の4割強に対し、女性は9割強が「できるし、している」と回答している。また、半数以上が家庭内での役割として「掃除」、「炊事」、「洗濯」、「庭や植栽の管理」と回答している。その他では、「新聞や本、雑誌を読んでいる」（9割強）、「家族や友人の相談にのっている」（8割弱）、「趣味や生きがいがある」（7割強）となっている。

運動（散歩など軽い運動を含む）を7割強が行っており、頻度は、「ほぼ毎日」、「週2～3日」が高くなっている。

5 地域での活動について

回答者が比較的参加している地域での活動は、「趣味関係のグループ」、「町内会・自治会」、「収入のある仕事」となっている。

地域住民の有志による地域づくり活動への参加意欲は、「参加者として」が半数以上、「企画・運営（お世話役）として」が3割半ばとなっている。

6 たすけあいについて

心配事や愚痴を聞いてくれる人・聞いてあげる人、病気になった時に看病や世話をしてくれる人、看病や世話をしてあげる人のすべてで「配偶者」が最も高くなっている。

家族や友人以外の相談相手について、約4割が「そのような人はいない」と回答している。

友人や知人に会う頻度は、「年に数回」、「月1～3回」の割合が高くなっている。一方、1割強が「会わない」と回答している。

7 健康について

現在の健康状態は、「よい」と8割弱が回答している。

現在の幸福度の点数評価（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点とする）は、平均で6.9点となっており、「8点」が2割強と最も高くなっている。

最近1か月間に気分が沈んだり、憂鬱になったりすることが「あった」と4割弱が回答している。また、どうしても物事に興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じが「あった」と2割強が回答している。

喫煙歴は、男女差が大きく、男性の2割半ばに対し、女性は8割半ばが「もともと吸っていない」と回答している。

現在治療中、または後遺症のある病気として「高血圧」が4割強と最も高くなっている。

健康づくりや介護予防について、現在行っている取り組みは、「休養や睡眠を十分とるようにしている」、「運動（散歩など軽い運動を含む）を行うようにしている」、「健康診断を受診している」、「規則的な生活を心がけている」が半数以上となっている。一方、今後実施したい取り組みは、「運動（散歩など軽い運動を含む）」が6割強と最も高くなっている。

8 認知症にかかる相談窓口の把握について

本人や家族に認知症の症状は「ない」と8割半ばが回答しており、認知症に関する相談窓口の認知度は約3割となっている。

また、回答者本人、家族が認知症になった時の不安については、「これまでできていたことができなくなる」、「家族に迷惑をかけてしまう」、「家族や自分に介護等の精神的・肉体的負担がかかる」の割合が高くなっている。

認知症の人が住み慣れた地域で暮らしていくために必要な支援として、「家族などの介護負担を軽減するための施策の充実」、「認知症の介護サービスの充実」、「できるだけ早い段階から、医療・介護等のサポートを利用できる仕組みづくり」の割合が高くなっている。

9 高齢者福祉について

身近な地域で総合的な相談ができる地域包括支援センターを「利用したことがある」が2割弱、「知っているが利用したことはない」が約5割となっている。

介護を受けながら生活していくときに望ましい生活について、「在宅でヘルパーによる訪問介護、日帰りで施設に通うデイサービス、短期間だけ施設に宿泊するショートステイなどのサービスを活用しながら暮らしたい」、「在宅で家族の介護を受けながら暮らしたい」の割合が高くなっている。

介護サービスを受けながら自宅で生活し続けるために必要な支援やサービス等について、「ヘルパーや看護師などが自宅を訪れ、日常生活の世話や療養上の世話をを行うサービス」、「日帰りで施設に通うデイサービス」、「在宅で生活する高齢者を介護する家族に対する支援」の割合が高くなっている。

いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らしていくために必要な生活支援やサービス等について、「声かけや見守りサービス」、「買物代行や配達、移動販売」、「配食サービス」、「日常の相談相手」、「食事の準備・調理・片付け」の割合が高くなっている。

介護保険制度における費用負担について、4割弱が「サービスは少なくともよいが、なるべく低料金で利用したい」、3割強が「現状程度の費用負担が適当である」と回答している。

身近に整備してほしいと思う介護・福祉施設等について、「ひとつの事業所で、訪問介護やデイサービス、ショートステイなど柔軟に組み合わせたサービスを行う施設（小規模多機能型居宅介護）」、「日帰りで通うデイサービスや短期間だけ宿泊するショートステイの施設」、「筋力向上トレーニングや転倒防止などの介護予防を目的とした施設」の割合が高くなっている。

10 医療について

現在、病院・医院（診察所、クリニック）に8割強が通院しており、「月1回程度」の頻度と約4割が回答している。

「かかりつけ医」がいると6割半ばが回答しており、「かかりつけ医」に求めることとして「気兼ねなく話せる」、「必要時に的確な医療機関を紹介してくれる」、「自身の病歴等を把握している」の割合が高くなっている。

自宅で療養する場合の不安や課題等について、「家族への介護負担」、「病状急変時の対応が不安」、「経済的な負担」の割合が高くなっている。

最期を迎える場所として、半数以上が「自宅」を望んでおり、人生の最終段階における医療やケアについて、家族等まわりの信頼する人たちと話し合っていると3割強が回答している。

Ⅲ 調査結果

Ⅲ 調査結果

1 家族や生活状況について

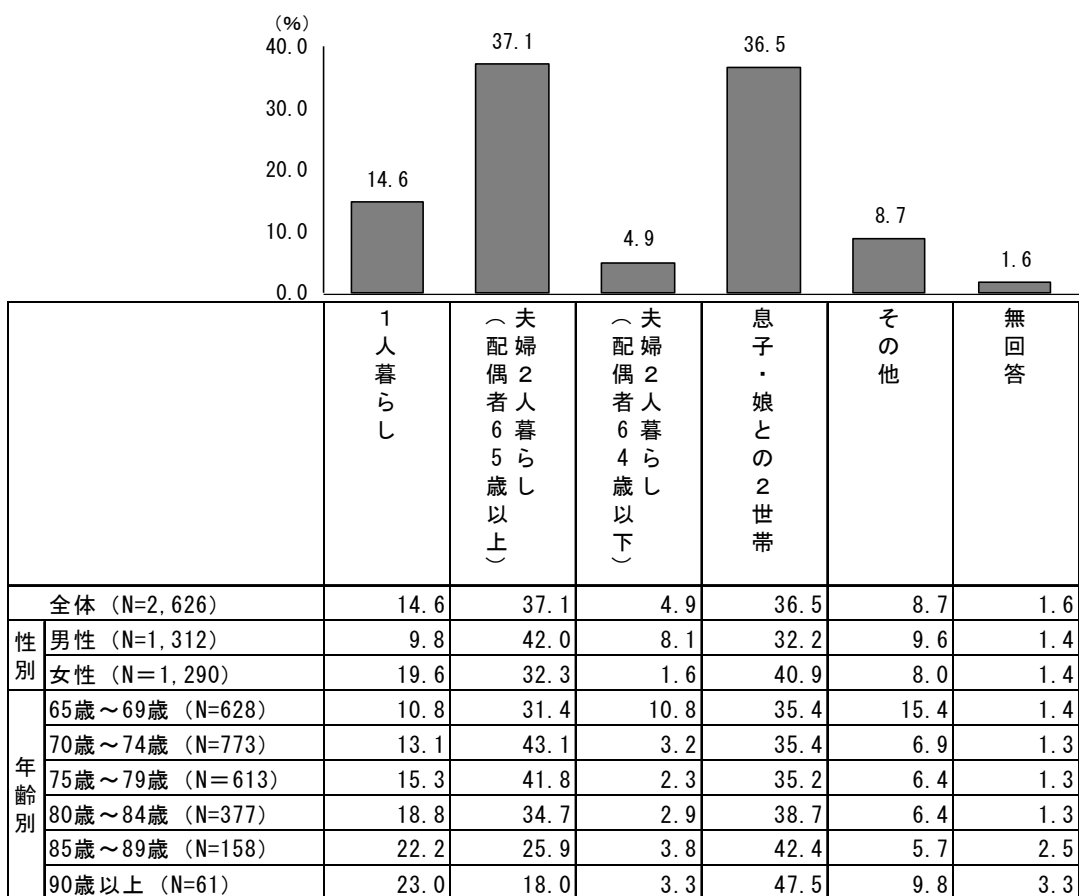
問1 (1) あなたは誰と一緒に暮らしていますか。(いくつでも)

誰と一緒に暮らしているかについてみると、「1人暮らし」が14.6%、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が37.1%、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」が4.9%、「息子・娘との2世帯」が36.5%となっている。

男女別にみると、女性は「1人暮らし」が19.6%と男性と比べて高くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「1人暮らし」、「息子・娘との2世帯」が高い傾向にある。

図表1(1)-1同居状況



図表1(1)-2同居状況【圏域別】

	1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との2世帯	その他	無回答
総曲輪、愛宕、安野屋、八人町、 五番町、柳町、清水町、星井町 (N=136)	21.3	43.4	2.9	25.7	6.6	2.2
東部、山室 (N=169)	22.5	40.2	3.6	27.8	7.7	0.0
西田地方、堀川、光陽 (N=141)	23.4	39.0	2.8	27.7	8.5	2.1
堀川南、蜷川 (N=147)	19.0	44.2	4.8	28.6	5.4	0.7
奥田、奥田北 (N=136)	14.0	42.6	2.2	33.8	8.1	1.5
桜谷、五福、神明 (N=134)	20.1	35.8	3.7	36.6	6.7	2.2
岩瀬、荻浦、大広田、浜黒崎 (N=146)	15.1	41.8	2.7	38.4	4.1	0.7
針原、豊田 (N=143)	10.5	37.8	6.3	37.8	10.5	1.4
広田、新庄、新庄北 (N=139)	15.8	36.7	5.8	38.1	2.9	0.7
藤ノ木、山室中部 (N=127)	8.7	40.2	4.7	41.7	7.1	0.0
太田、新保、熊野、月岡 (N=151)	11.3	29.8	6.6	47.0	6.6	2.6
四方、八幡、草島、倉垣 (N=148)	11.5	34.5	7.4	37.8	10.8	3.4
呉羽、長岡、寒江、古沢、老田、 池多 (N=144)	12.5	36.1	6.9	38.2	9.7	0.7
水橋中部、水橋西部、水橋東部、 三郷、上条 (N=151)	17.2	31.1	3.3	42.4	8.6	0.7
大沢野地域、細入地域 (N=151)	10.6	42.4	5.3	30.5	15.9	1.3
大山地域 (N=141)	12.1	34.0	4.3	40.4	10.6	0.7
八尾地域、山田地域 (N=154)	9.1	27.3	5.8	45.5	15.6	2.6
婦中地域 (N=144)	7.6	34.0	6.3	42.4	11.8	1.4

問1（1）において家族等と同居されている方のみ回答

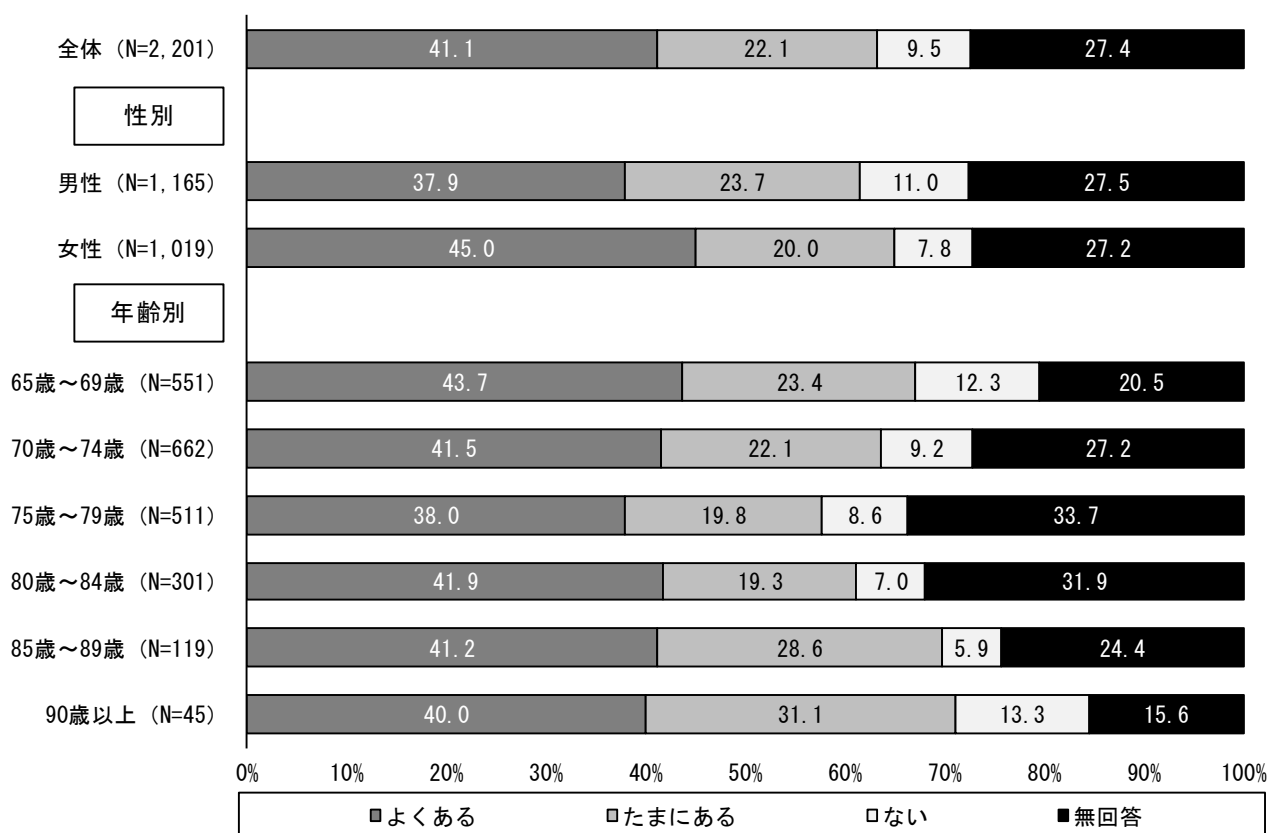
問1（1）①日中、高齢者（65歳以上）のみになることがありますか。

日中、高齢者（65歳以上）のみになることがあるかについてみると、「よくある」が41.1%、「たまにある」が22.1%、「ない」が9.5%となっている。

男女別にみると、女性は「よくある」が45.0%と男性と比べて高くなっている。

年齢別にみると、75歳以上では年代が高いほど『ある（「よくある」と「たまにある」を合算した割合）』が高くなっている。

図表1(1)①日中、高齢者のみになることがあるか



問1（1）において家族等と同居されている方のみ回答

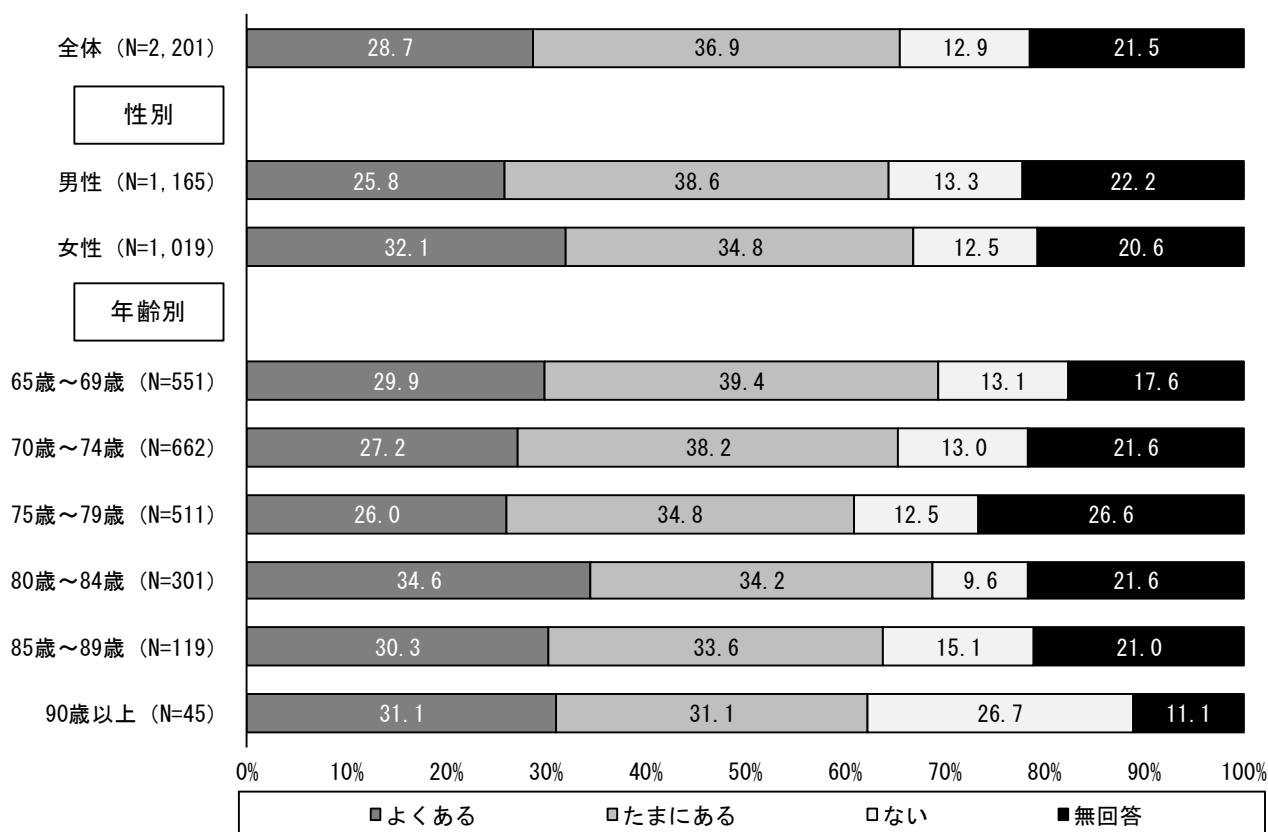
問1（1）②日中、一人になることがありますか。

日中、一人になることがあるかについてみると、「よくある」が28.7%、「たまにある」が36.9%、「ない」が12.9%となっている。

男女別にみると、女性は「よくある」が32.1%と男性と比べて高くなっている。

年齢別にみると、「90歳以上」は「ない」が26.7%と他の年代と比べて高くなっている。

図表1(1)②日中、一人になることがあるか



問1 (2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

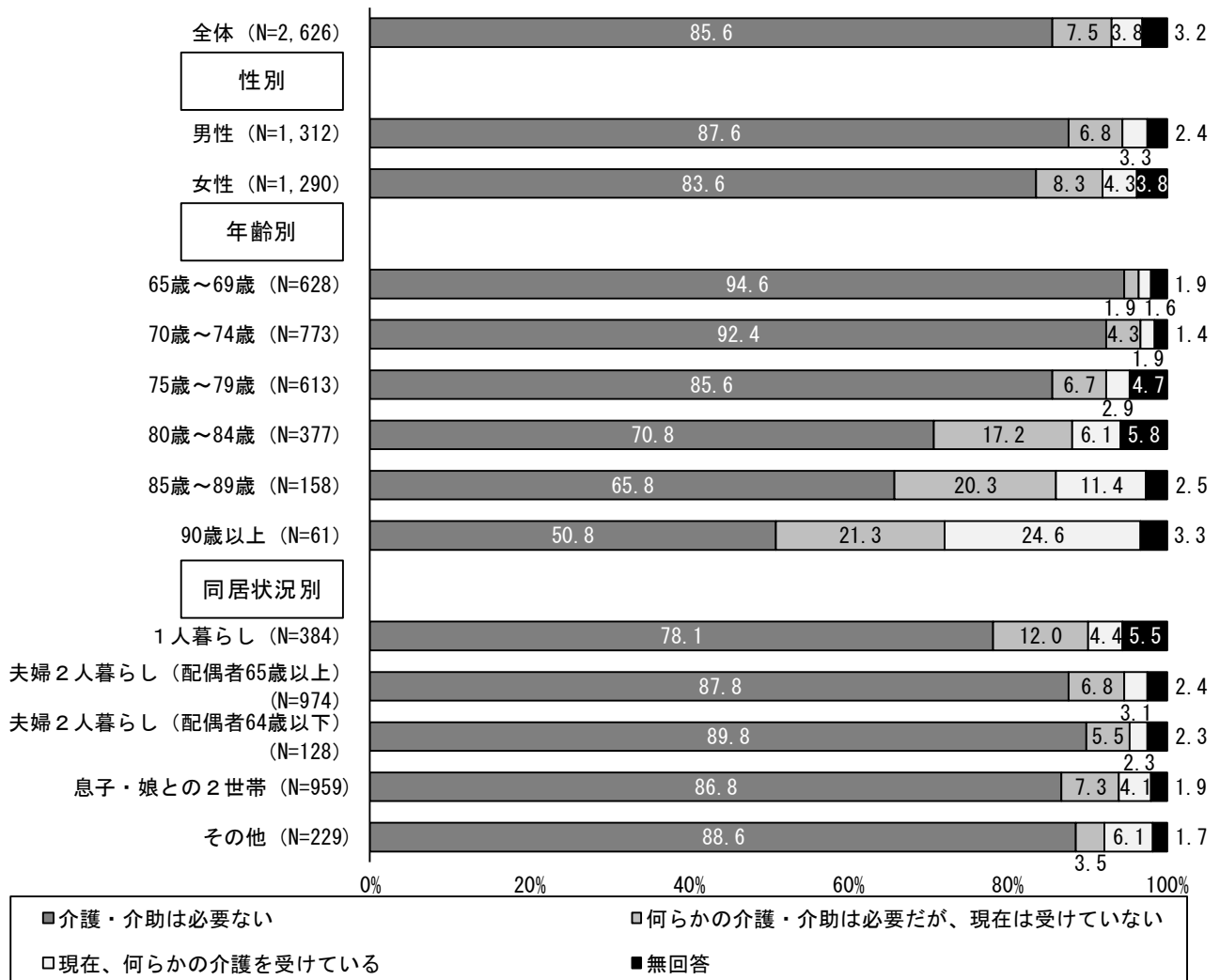
普段の生活で介護・介助が必要かについてみると、「介護・介助は必要ない」が85.6%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が7.5%、「現在、何らかの介護を受けている」が3.8%となっている。

男女別にみると、男性は「介護・介助は必要ない」が87.6%と女性と比べて高くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「現在、何らかの介護を受けている」が高い傾向にあり、「90歳以上」では「現在、何らかの介護を受けている」が24.6%と特に高くなっている。

同居状況別にみると、「1人暮らし」は他の同居状況に比べて「介護・介助は必要ない」が低くなっている。

図表1(2) 普段の生活での介護・介助の必要性



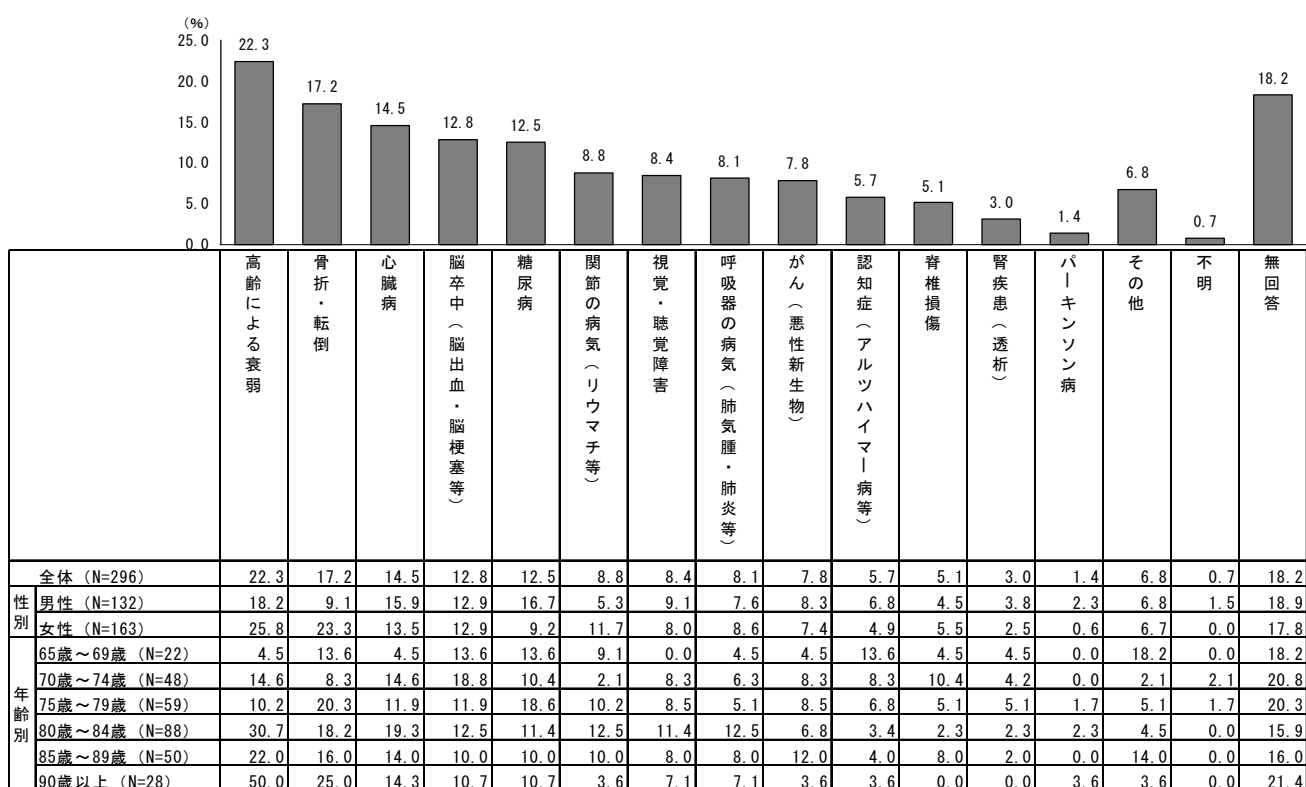
問1(2)で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「現在、何らかの介護を受けている」と回答された方のみ回答

問1(2)①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(いくつでも)

介護・介助が必要になった主な原因についてみると、「高齢による衰弱」が22.3%と最も高く、次いで「骨折・転倒」(17.2%)、「心臓病」(14.5%)の順となっている。

男女別にみると、男性は「糖尿病」が女性と比べて高く、女性は「高齢による衰弱」、「骨折・転倒」、「関節の病気(リウマチ等)」が男性と比べて高くなっている。

図表1(2)①介護・介助が必要になった主な原因



問1(2)で「現在、何らかの介護を受けている」と回答された方のみ回答

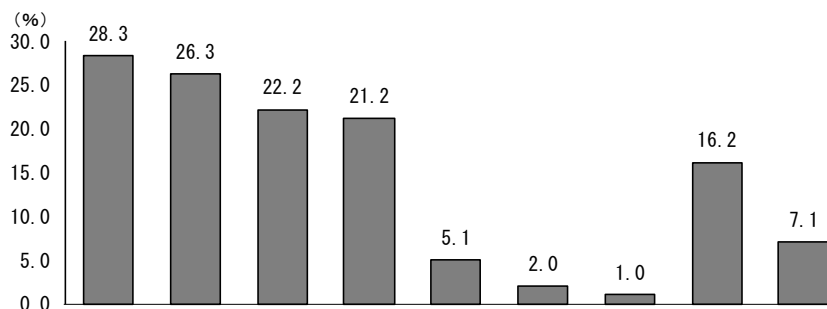
問1(2)②主にどなたの介護を受けていますか(いくつでも)

主な介護・介助者についてみると、「配偶者(夫・妻)」が28.3%と最も高く、次いで「息子」(26.3%)、「介護サービスのヘルパー」(22.2%)の順となっている。

男女別にみると、女性は「配偶者(夫・妻)」、「その他」以外のすべてが男性と比べて高く、特に「息子」が39.3%と高くなっている。

年齢別にみると、75歳以上では年代が高いほど「配偶者(夫・妻)」が低く、90歳以上では0.0%となっている。「孫」、「子の配偶者」、「兄弟・姉妹」は79歳以下では0.0%となっている。

図表1(2)②主な介護・介助者



		配偶者(夫・妻)	息子	介護サービスのヘルパー	娘	孫	子の配偶者	兄弟・姉妹	その他	無回答
全体 (N=296)		28.3	26.3	22.2	21.2	5.1	2.0	1.0	16.2	7.1
性別	男性 (N=132)	37.2	9.3	16.3	18.6	0.0	0.0	0.0	27.9	9.3
	女性 (N=163)	21.4	39.3	26.8	23.2	8.9	3.6	1.8	7.1	5.4
年齢別	65歳～69歳 (N=22)	30.0	30.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	30.0	20.0
	70歳～74歳 (N=48)	40.0	13.3	13.3	13.3	0.0	0.0	0.0	26.7	13.3
	75歳～79歳 (N=59)	50.0	11.1	11.1	27.8	0.0	0.0	0.0	22.2	5.6
	80歳～84歳 (N=88)	30.4	26.1	26.1	17.4	13.0	4.3	4.3	8.7	4.3
	85歳～89歳 (N=50)	16.7	33.3	27.8	33.3	5.6	0.0	0.0	5.6	5.6
90歳以上 (N=28)	0.0	46.7	33.3	20.0	6.7	6.7	0.0	13.3	0.0	

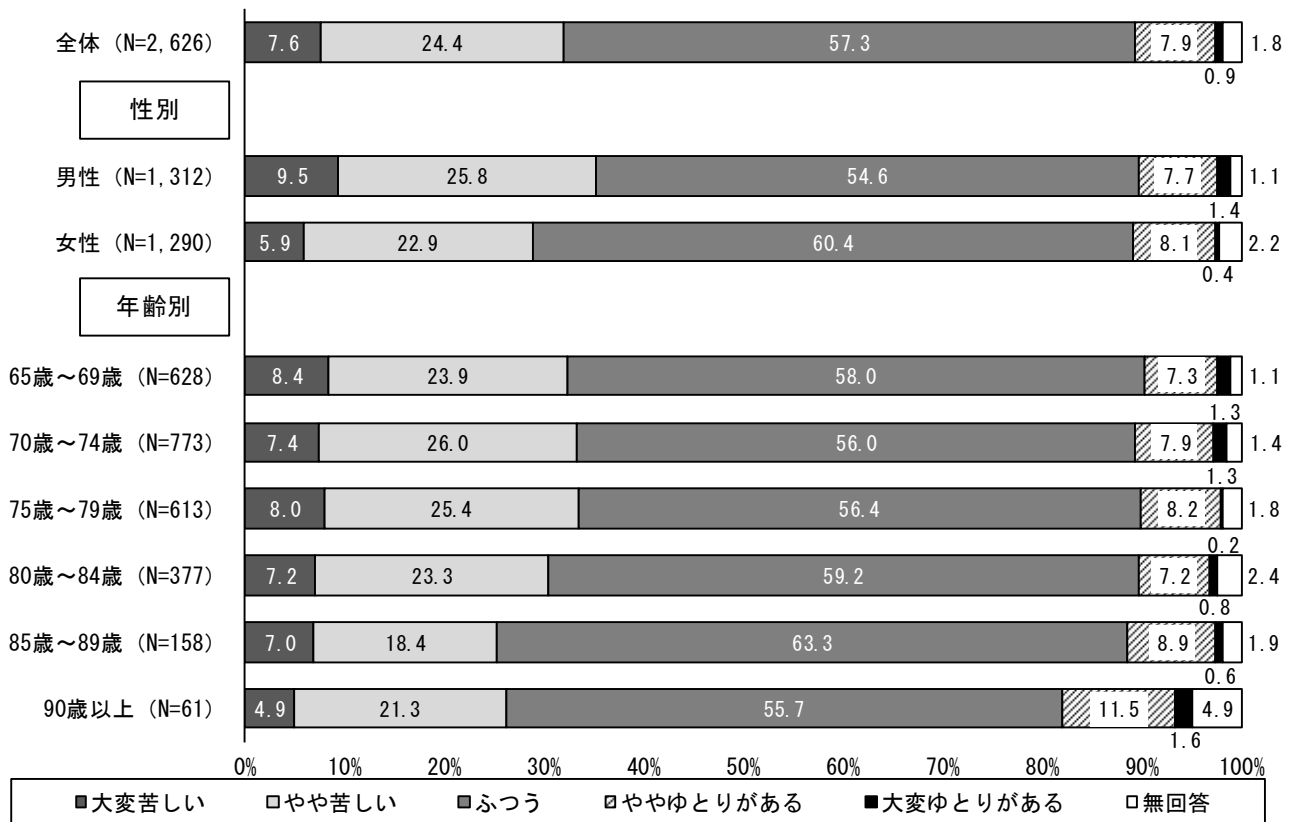
問1 (3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

現在の暮らしの状況を経済的にどう感じているかみると、「ふつう」が57.3%と最も高く、次いで「やや苦しい」(24.4%)、「ややゆとりがある」(7.9%)の順となっている。

男女別にみると、男性は『苦しい(「大変苦しい」と「やや苦しい」を合算した割合)』が35.3%と女性と比べて高くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「ややゆとりがある」が高い傾向にあり、「90歳以上」では11.5%となっている。

図表1(3)現在の経済状況



問1 (4) あなたが、生活の中で不安に思うことはありますか。(いくつでも)

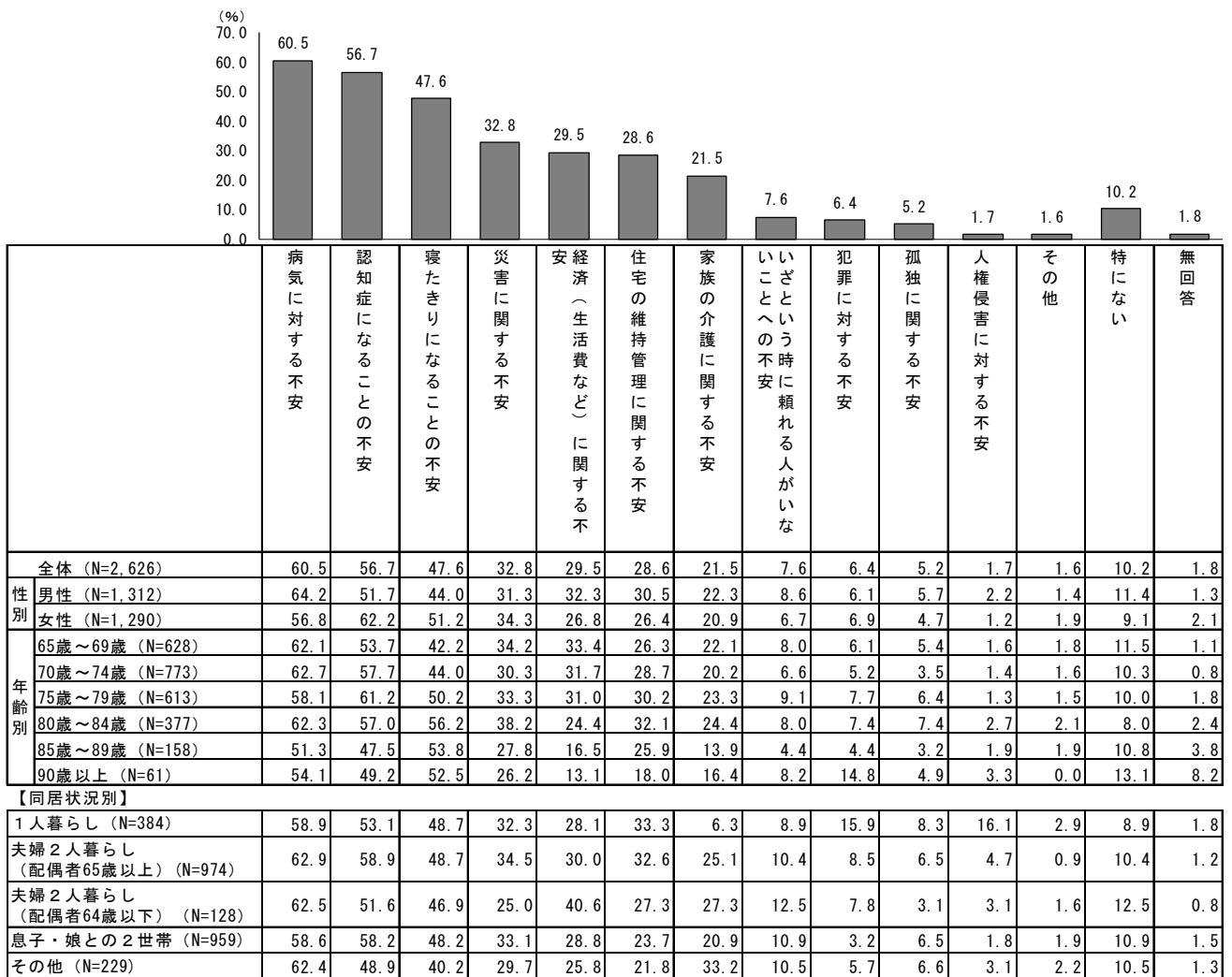
生活の中で不安に思うことについてみると、「病気に対する不安」が60.5%と最も高く、次いで「認知症になることの不安」(56.7%)、「寝たきりになることの不安」(47.6%)の順となっている。

男女別にみると、男性は「病気に対する不安」、「経済(生活費など)に関する不安」、「住宅の維持管理に関する不安」が女性と比べて高く、女性は「認知症になることの不安」、「寝たきりになることの不安」が男性と比べて高くなっている。

年齢別にみると、すべての年代の上位3項目は全体同様に「病気に対する不安」、「認知症になることの不安」、「寝たきりになることの不安」となっている。「経済(生活費など)に関する不安」は、年代が高いほど、低くなっている。

同居状況別にみると、すべての同居状況で上位3項目は全体同様に「病気に対する不安」、「認知症になることの不安」、「寝たきりになることの不安」となっている。「1人暮らし」は「家族の介護に関する不安」が特に低くなっている。

図表1(4)生活の中で不安に思うこと



問1 (5) 現在のお住まいで困っていることはありますか。(いくつでも)

現在の住まいで困っていることについてみると、「特に困っていることはない」が37.6%と最も高く、次いで、「住宅の修繕などの維持・管理」(25.1%)、「冬期の除雪」(22.0%)の順となっている。

男女別にみると、男性は「住宅の修繕などの維持・管理」が女性と比べて高く、女性は「生活が不便(交通の便が悪い、近くにスーパーがない等)」が男性と比べて高くなっている。

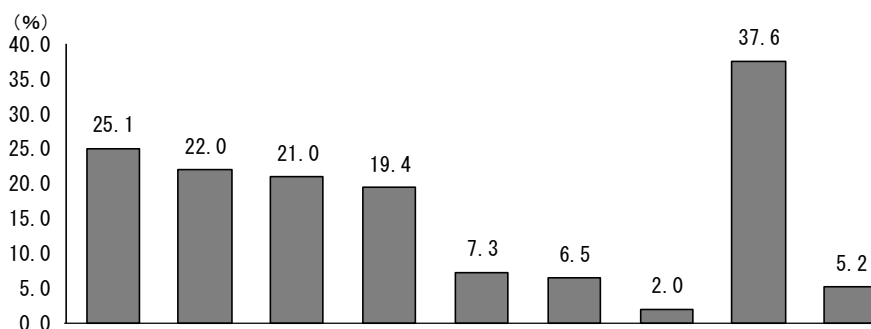
年齢別にみると、年代が高いほど「玄関や敷居等の段差」が高い傾向にある。

同居状況別にみると、「夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)」は他の同居状況に比べて「特に困っていることはない」が低く、「住宅の修繕などの維持・管理」が高くなっている、

住居の形態別にみると、一戸建て(持家、民間賃貸住宅)は、他の住居の形態に比べて「特に困っていることはない」が低くなっている。

地域別にみると、「大沢野地域・細入地域」、「大山地域」は他の地域と比べて「特に困っていることはない」が低く、「大沢野地域・細入地域」は「冬期の除雪」、「大山地域」は「生活が不便(交通の便が悪い、近くにスーパーがない等)」が高くなっている。

図表1(5)現在の住まいで困っていること



		住宅の修繕などの維持・管理	冬期の除雪	庭木の手入れや除草	生活が不便（交通の便が悪い、近づくにスリパーがない等）	玄関や敷居等の段差	近くに医療機関や介護保険施設などがない	その他	特に困っていることはない	無回答
全体 (N=2,626)		25.1	22.0	21.0	19.4	7.3	6.5	2.0	37.6	5.2
性別	男性 (N=1,312)	29.3	22.6	20.7	17.7	6.4	5.8	1.8	39.3	3.4
	女性 (N=1,290)	20.6	21.4	21.4	21.4	8.1	7.3	2.2	35.8	6.9
年齢別	65歳～69歳 (N=628)	29.5	18.8	19.4	16.7	6.8	4.8	1.8	42.8	2.9
	70歳～74歳 (N=773)	25.1	19.1	21.3	17.9	5.7	4.7	1.6	40.6	4.5
	75歳～79歳 (N=613)	24.8	25.4	20.2	20.2	7.7	6.5	2.6	34.6	5.7
	80歳～84歳 (N=377)	23.1	28.6	26.0	23.6	8.8	10.3	2.1	27.3	8.2
	85歳～89歳 (N=158)	19.0	22.2	21.5	25.3	9.5	13.3	2.5	36.7	5.1
	90歳以上 (N=61)	13.1	18.0	13.1	19.7	14.8	6.6	3.3	41.0	9.8
同居状況別	1人暮らし (N=384)	25.3	29.4	25.5	15.9	7.3	5.7	3.4	33.6	5.7
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上） (N=974)	27.1	24.8	20.3	22.0	8.3	6.6	1.3	38.5	3.0
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下） (N=128)	33.6	25.8	19.5	22.7	6.3	7.0	1.6	30.5	4.7
	息子・娘との2世帯 (N=959)	22.7	16.3	20.5	19.0	7.1	6.9	2.2	40.3	4.6
	その他 (N=229)	23.6	20.1	20.1	17.9	3.9	6.6	2.6	39.3	7.4
住居の形態別	持家（一戸建て） (N=2,375)	26.8	23.2	22.7	20.5	7.4	6.7	1.9	36.0	4.2
	持家（集合住宅） (N=60)	8.3	6.7	5.0	6.7	3.3	6.7	1.7	68.3	5.0
	公営賃貸住宅 (N=55)	10.9	14.5	0.0	14.5	3.6	0.0	5.5	52.7	7.3
	民間賃貸住宅（一戸建て） (N=22)	9.1	18.2	13.6	13.6	18.2	4.5	9.1	36.4	9.1
	民間賃貸住宅（集合住宅） (N=48)	4.2	14.6	2.1	2.1	6.3	0.0	2.1	66.7	6.3
	借間 (N=8)	12.5	12.5	12.5	0.0	25.0	0.0	0.0	62.5	12.5
	有料老人ホーム、ケアハウス、サービス付き高齢者向け住宅 (N=9)	22.2	0.0	22.2	11.1	22.2	22.2	0.0	55.6	0.0
その他 (N=21)	14.3	0.0	9.5	14.3	4.8	14.3	0.0	42.9	23.8	
【地域別】										
富山地域 (N=2,012)		25.6	21.0	21.8	16.9	7.3	4.2	2.2	2.2	5.0
大沢野地域・細入地域 (N=151)		27.2	35.1	19.2	31.8	6.0	18.5	3.3	3.3	4.0
大山地域 (N=141)		20.6	24.8	19.9	51.1	9.9	14.9	1.4	1.4	2.8
八尾地域・山田地域 (N=154)		22.1	21.4	12.3	20.1	7.8	15.6	0.0	0.0	7.1
婦中地域 (N=144)		23.6	22.9	25.0	10.4	5.6	6.9	1.4	1.4	6.3

問1 (6) お住まいは、次のどれにあたりますか。

住居の形態についてみると、「持ち家（一戸建て）」が9割を占めている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が高いほど「有料老人ホーム、ケアハウス、サービス付き高齢者向け住宅」は高く、74歳以下が0.0%であるのに対して「90歳以上」では4.9%となっている。

図表1(6)住居の形態

	持家 （一戸建て）	持家 （集合住宅）	公営 賃貸住宅	民間 賃貸住宅 （一戸建て）	民間 賃貸住宅 （集合住宅）	借 間	有 料 老 人 ホ ー ム 、 ケ ア ハ ウ ス 、 サ ー ビ ス 付 き 高 齢 者 向 け 住 宅	そ の 他	無 回 答
全体 (N=2,626)	90.4	2.3	2.1	0.8	1.8	0.3	0.3	0.8	1.1
性別									
男性 (N=1,312)	90.7	2.4	1.4	0.8	2.3	0.3	0.4	0.8	0.8
女性 (N=1,290)	90.4	2.2	2.7	0.9	1.3	0.3	0.3	0.9	1.1
年齢別									
65歳～69歳 (N=628)	90.6	2.5	2.1	1.0	2.5	0.2	0.0	0.3	0.8
70歳～74歳 (N=773)	89.8	2.8	2.3	1.0	1.9	0.6	0.0	0.6	0.8
75歳～79歳 (N=613)	91.4	1.5	2.1	1.0	1.6	0.2	0.3	1.0	1.0
80歳～84歳 (N=377)	89.9	2.7	1.9	0.5	1.6	0.3	0.5	1.1	1.6
85歳～89歳 (N=158)	91.8	1.3	2.5	0.0	0.6	0.0	1.3	1.9	0.6
90歳以上 (N=61)	90.2	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	4.9	1.6	1.6

2 からだを動かすことについて

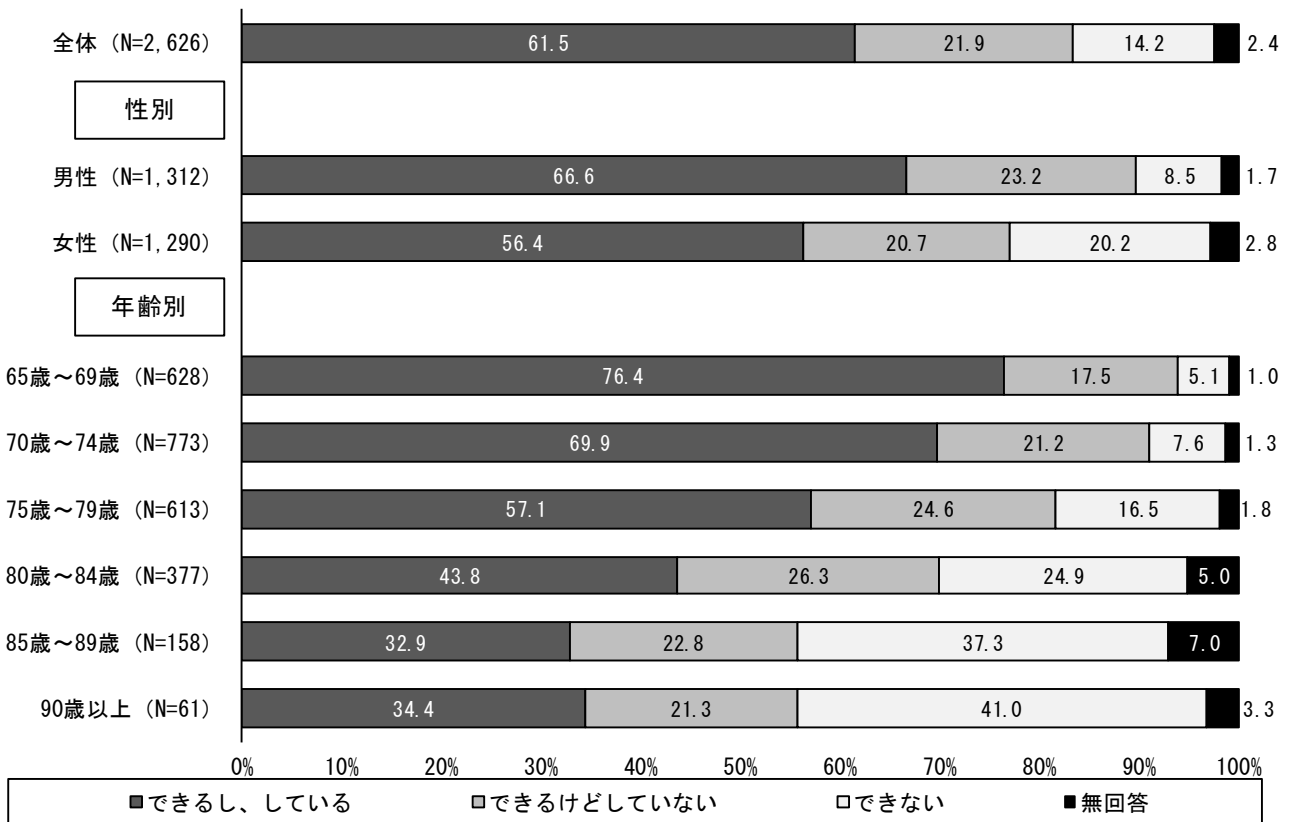
問2 (1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについてみると、「できるし、している」が61.5%、「できるけどしていない」が21.9%、「できない」が14.2%となっている。

男女別にみると、男性は「できるし、している」が66.6%と女性と比べて高くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「できるし、している」が低い傾向にあり、「65歳～69歳」では76.4%だが、「85歳～89歳」では32.9%と最も低くなっている。

図表2(1)階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか



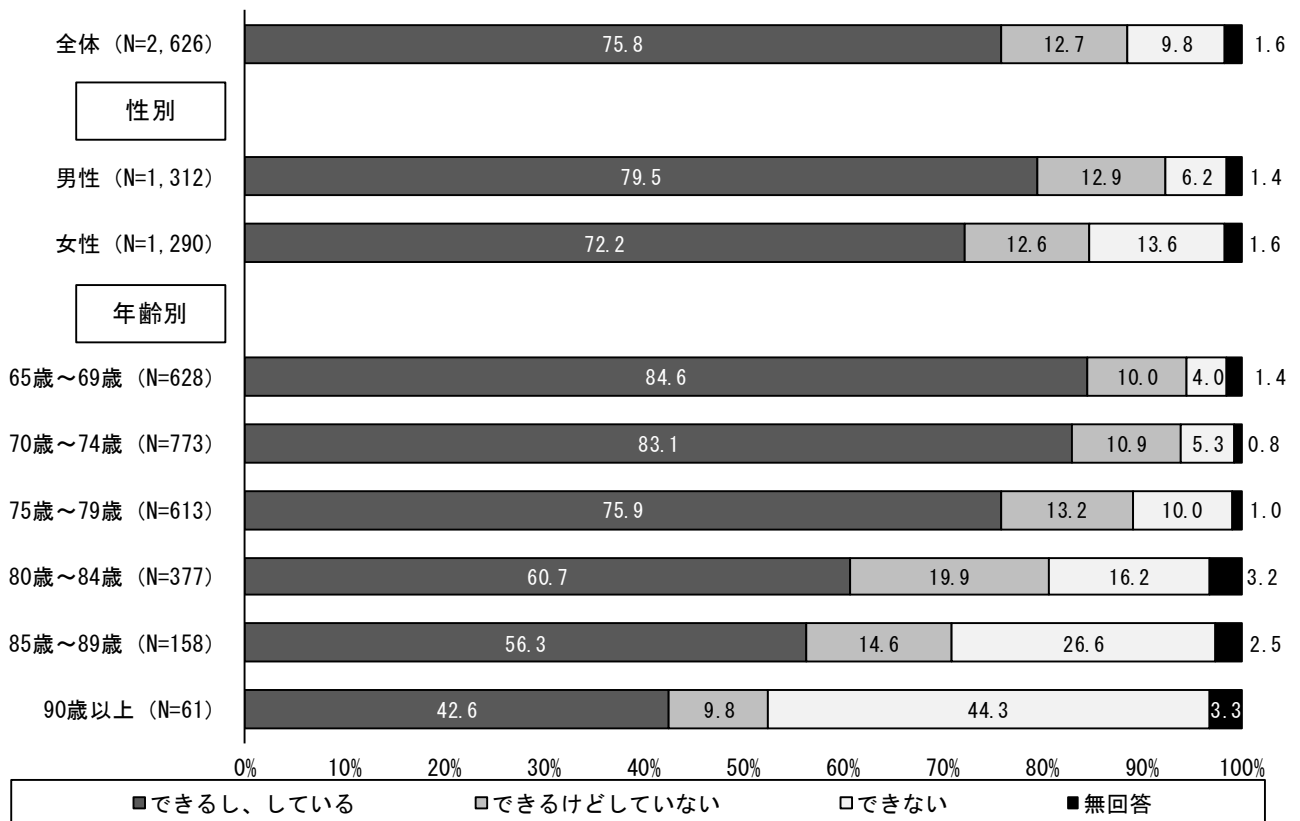
問2 (2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

何もつかまらずに椅子から立ち上がっているかについてみると、「できるし、している」が75.8%、「できるけどしていない」が12.7%、「できない」が9.8%となっている。

男女別にみると、男性は「できるし、している」が79.5%と女性と比べて高くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「できるし、している」が低く、「65歳～69歳」では84.6%だが、「90歳以上」では42.6%となっている。

図表2(2)何もつかまらずに椅子から立ち上がっているか



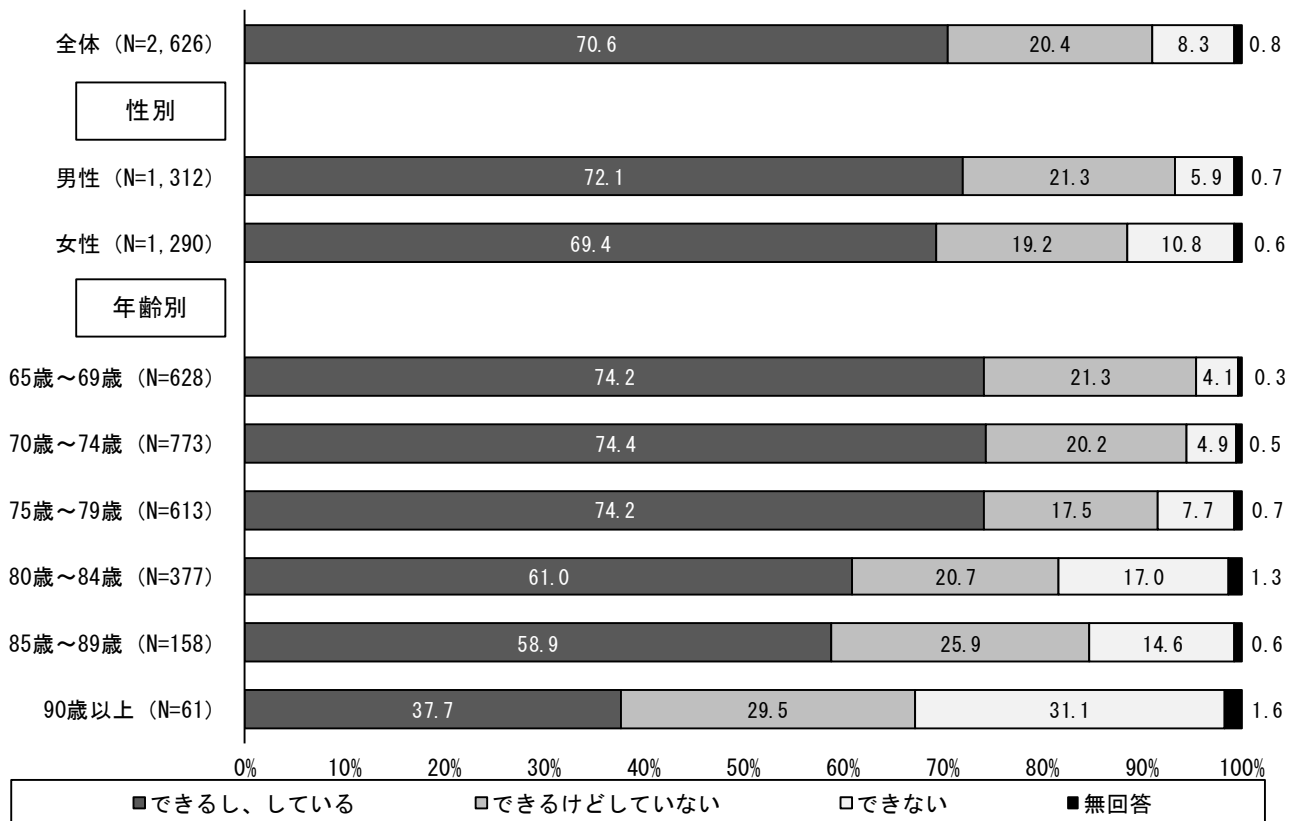
問2 (3) 15分位続けてあるいていますか。

15分位続けて歩いているかについてみると、「できるし、している」が70.6%、「できるけどしていない」が20.4%、「できない」が8.3%となっている。

男女別にみると、男性は「できない」が女性と比べて低くなっている。

年齢別にみると、「できるし、している」は80歳未満では約74%で推移しているが、「80歳～84歳」から減少傾向となり、「90歳以上」では37.7%となっている。

図表2(3)15分位続けて歩いているか



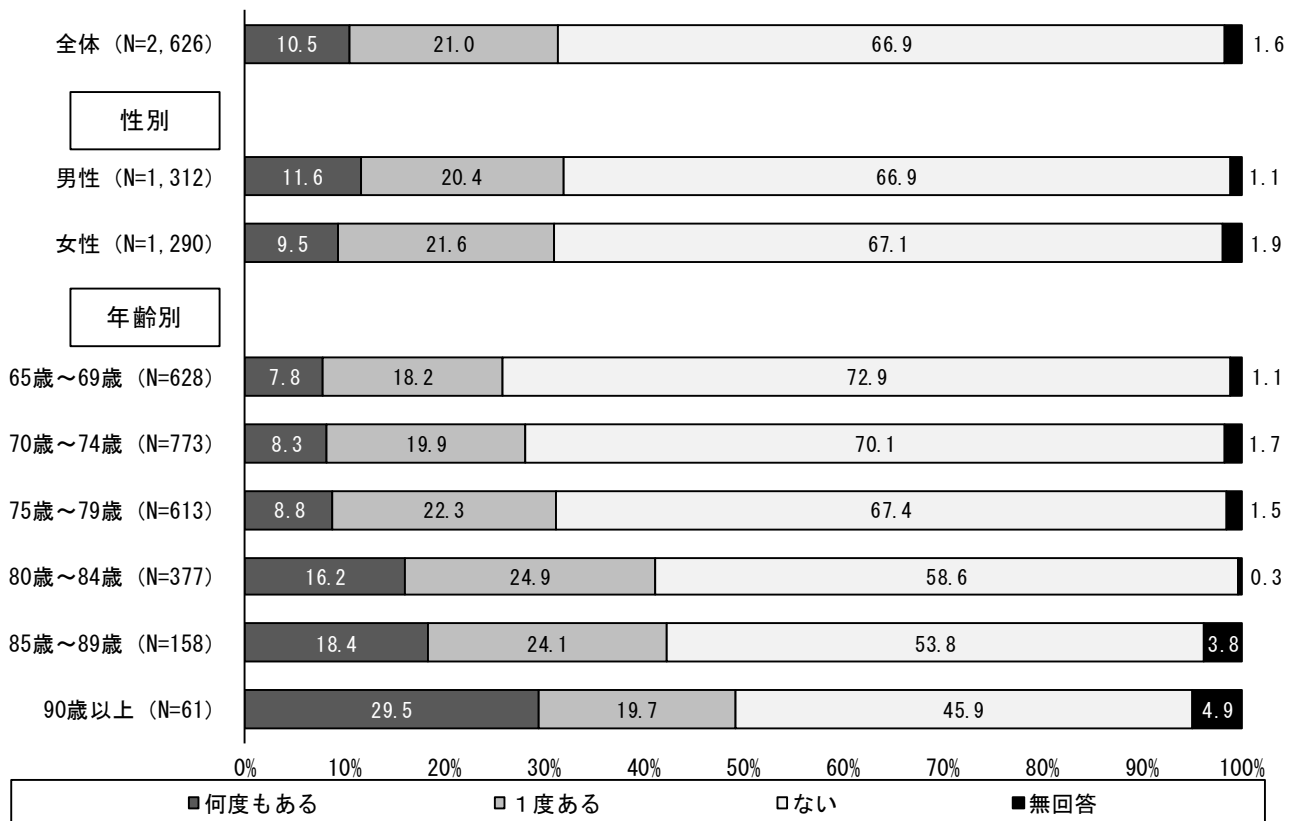
問2 (4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。

過去1年間の転んだ経験についてみると、「何度もある」が10.5%、「1度ある」が21.0%、「ない」が66.9%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が高いほど「何度もある」が高く、「65～69歳」では7.8%だが、「90歳以上」では29.5%となっている。

図表2(4)過去1年間の転んだ経験



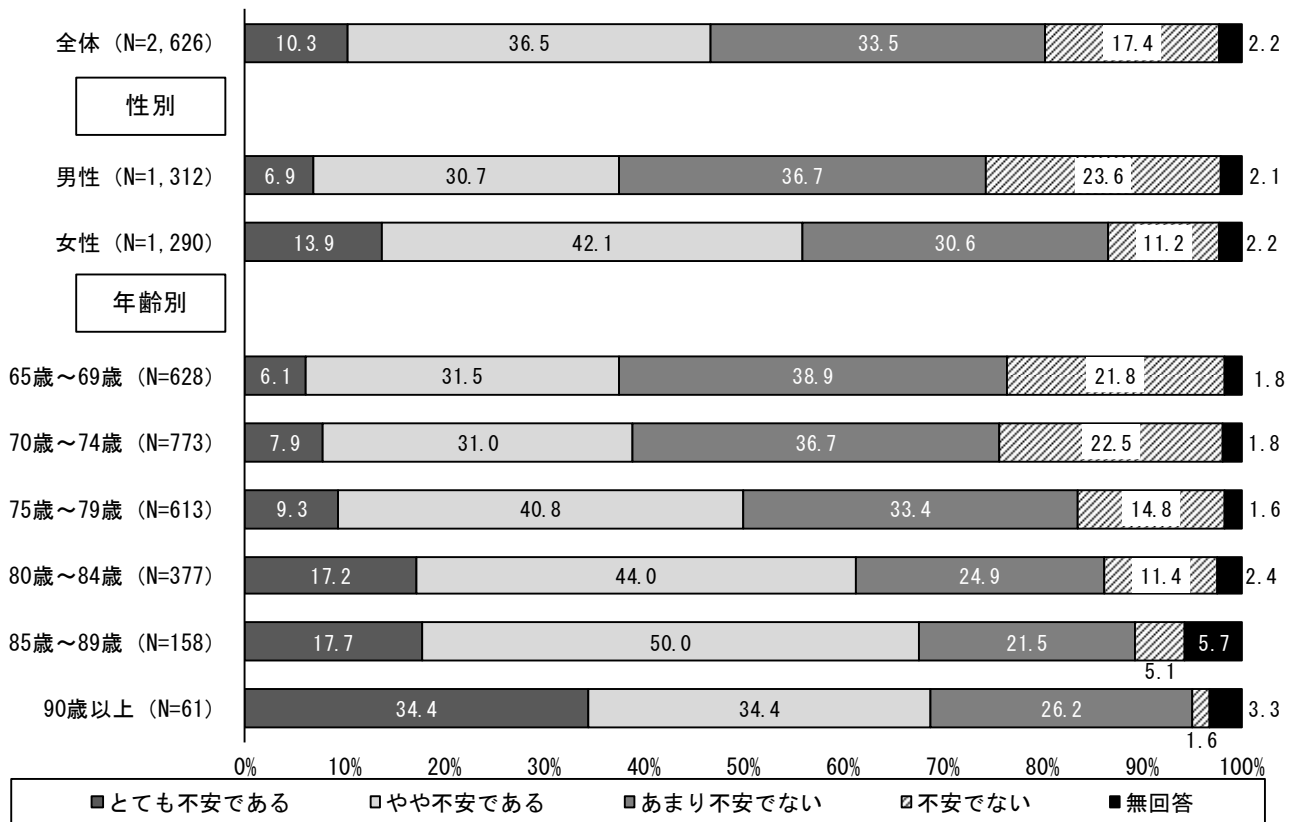
問2 (5) 転倒に対する不安は大きいですか。

転倒に対する不安についてみると、「とても不安である」が10.3%、「やや不安である」が36.5%、「あまり不安でない」が33.5%、「不安でない」が17.4%となっている。

男女別にみると、女性は『不安である（「とても不安である」と「やや不安である」を合算した割合）』が56.0%と男性と比べて高くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど『不安である』が高く、「90歳以上」では「とても不安である」が34.4%と他の年代と比べて特に高くなっている。

図表2(5) 転倒に対する不安



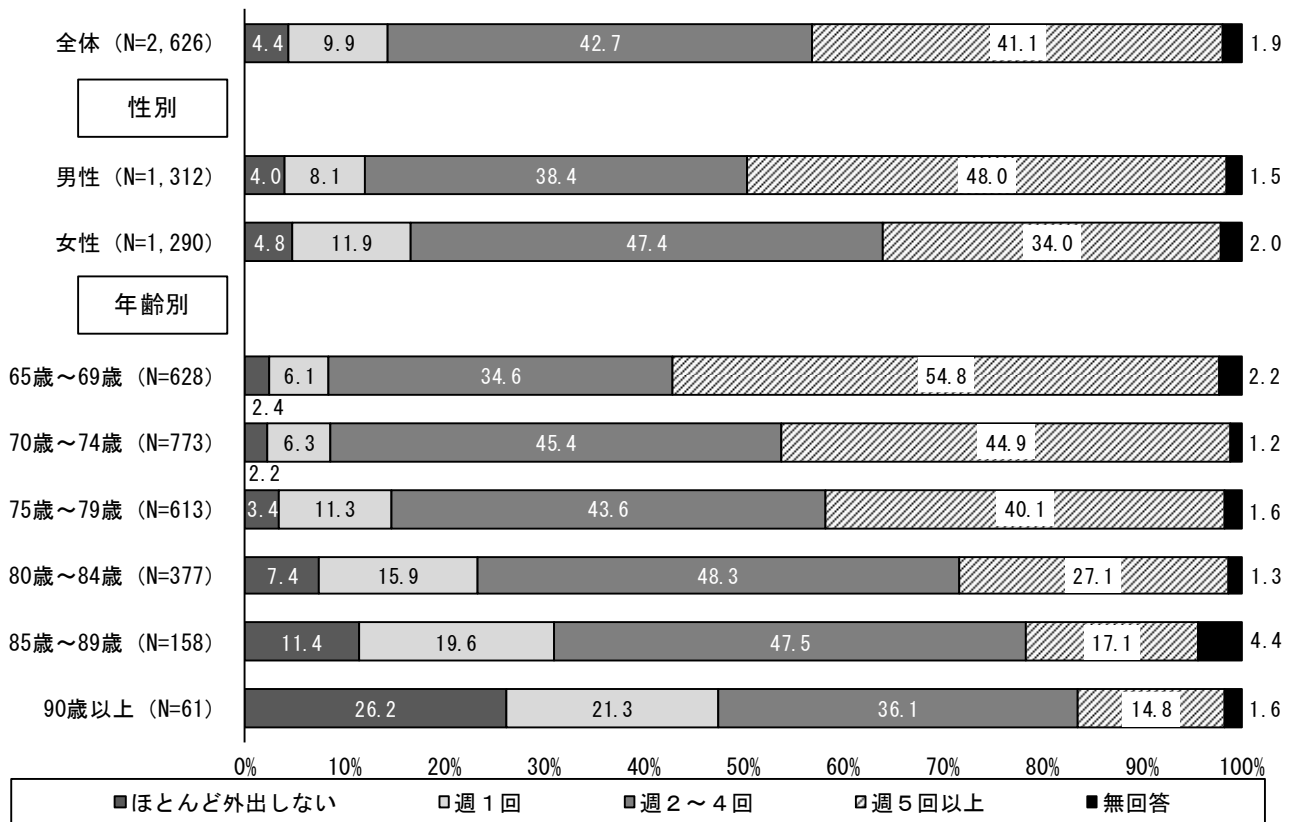
問2 (6) 週に1回以上は外出していますか。

外出頻度についてみると、「ほとんど外出しない」が4.4%、「週1回」が9.9%、「週2～4回」が42.7%、「週5回以上」が41.1%となっています。

男女別にみると、男性は「週5回以上」が48.0%、女性は「週2～4回」が47.4%と最も高くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど外出頻度は減少する傾向となっており、「90歳以上」では「ほとんど外出しない」が26.2%と特に高くなっている。

図表2(6)外出頻度



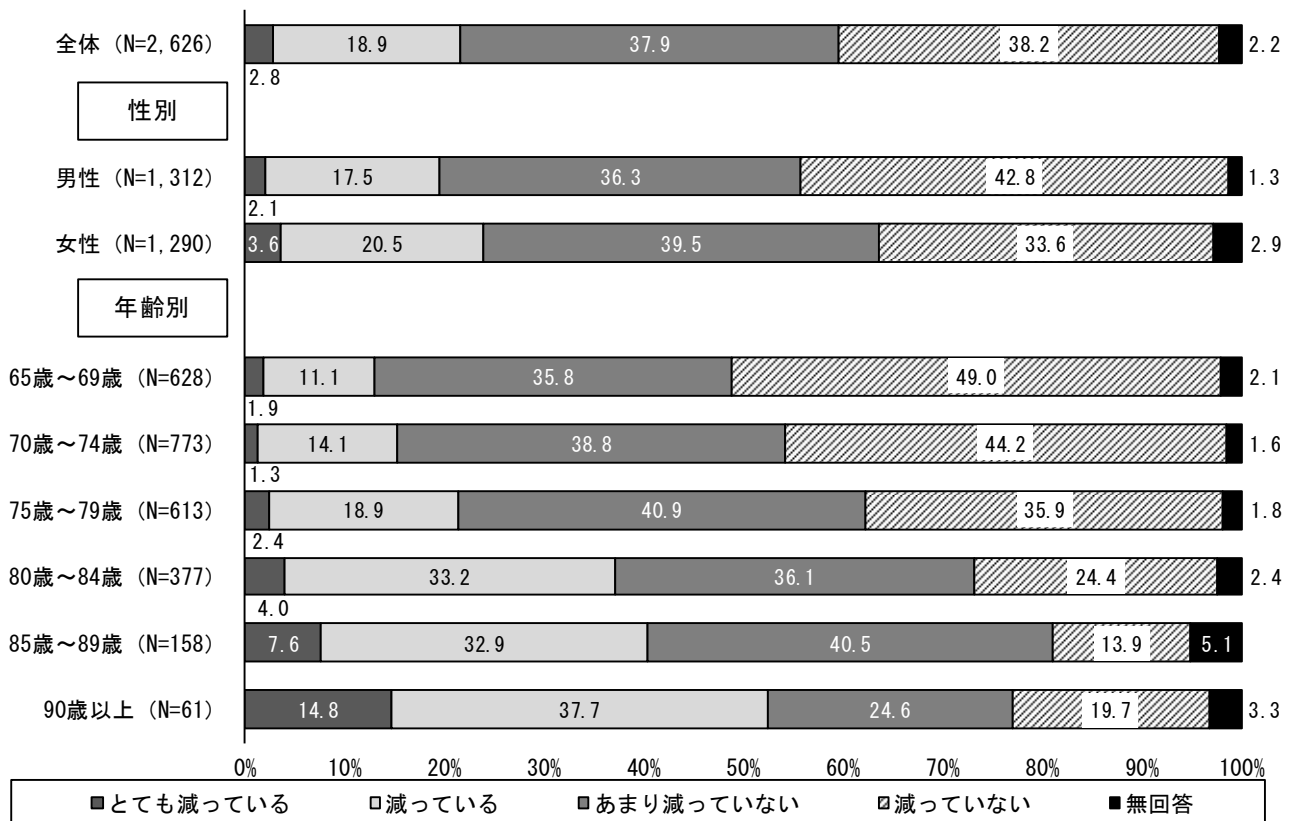
問2 (7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

昨年と比較した外出頻度についてみると、「とても減っている」が2.8%、「減っている」が18.9%、「あまり減っていない」が37.9%、「減っていない」が38.2%となっている。

男女別にみると、男性は「減っていない」が42.8%と女性と比べて高くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど『減っている（「とても減っている」と「減っている」を合算した割合）』が高く、「80歳～84歳」から増加傾向が強くなり、「90歳以上」では52.5%となっている。

図表2(7)昨年と比較した外出頻度



問2(7)で「とても減っている」、「減っている」と回答された方のみ回答

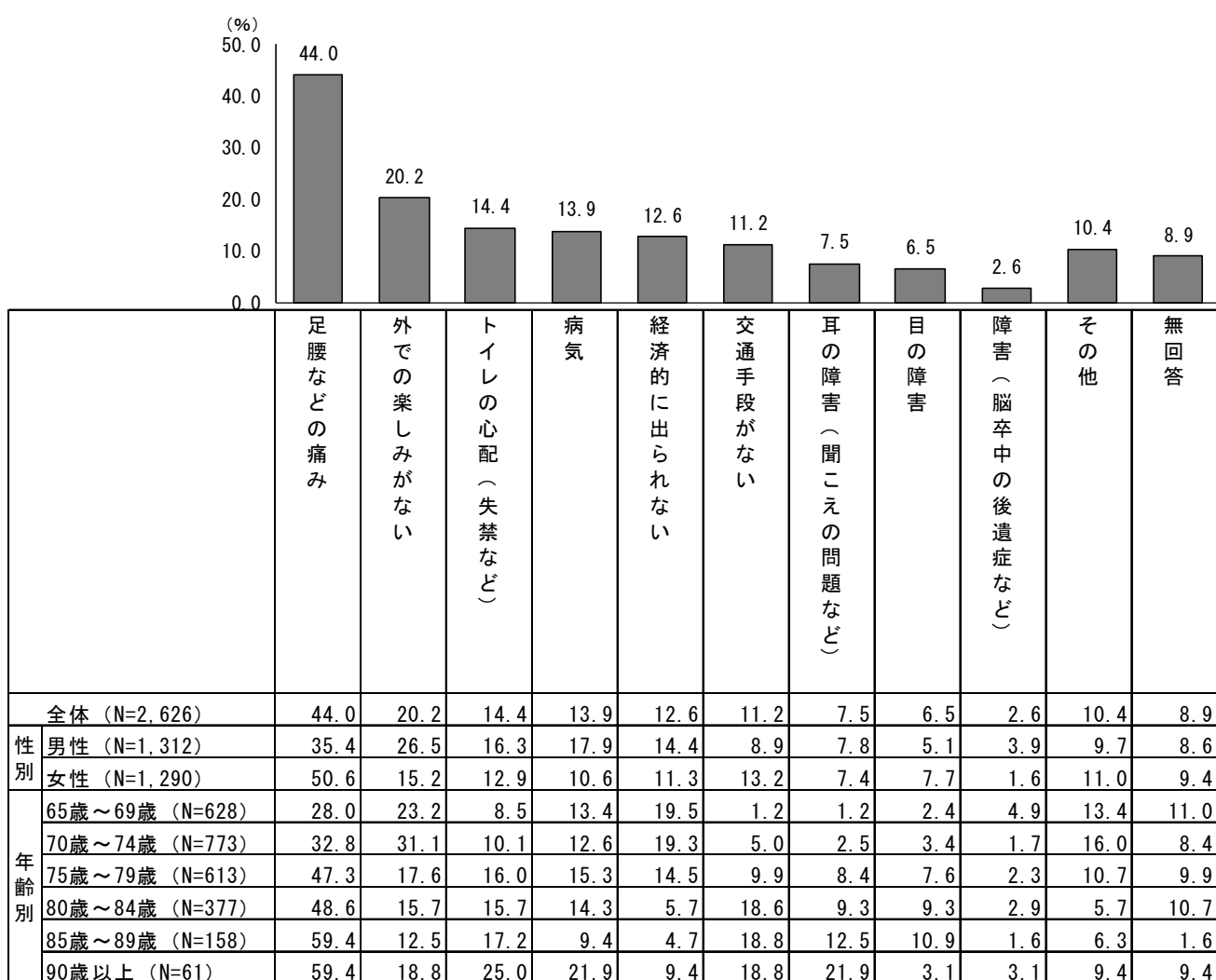
問2(7)①外出の回数が減っている理由は、次のどれですか。(いくつでも)

外出回数が減っている理由についてみると、「足腰などの痛み」が44.0%と最も高く、次いで「外での楽しみがない」(20.2%)、「トイレの心配(失禁など)」(14.4%)の順となっている。

男女別にみると、男性は「外での楽しみがない」、「病気」が女性と比べて高く、女性は「足腰などの痛み」、「交通手段がない」が男性と比べて高くなっている。

年齢別にみると、「足腰などの痛み」、「トイレの心配」、「耳の障害(聞こえの問題など)」は年代が高いほど、高い傾向にある。

図表2(7)① 外出回数が減っている理由



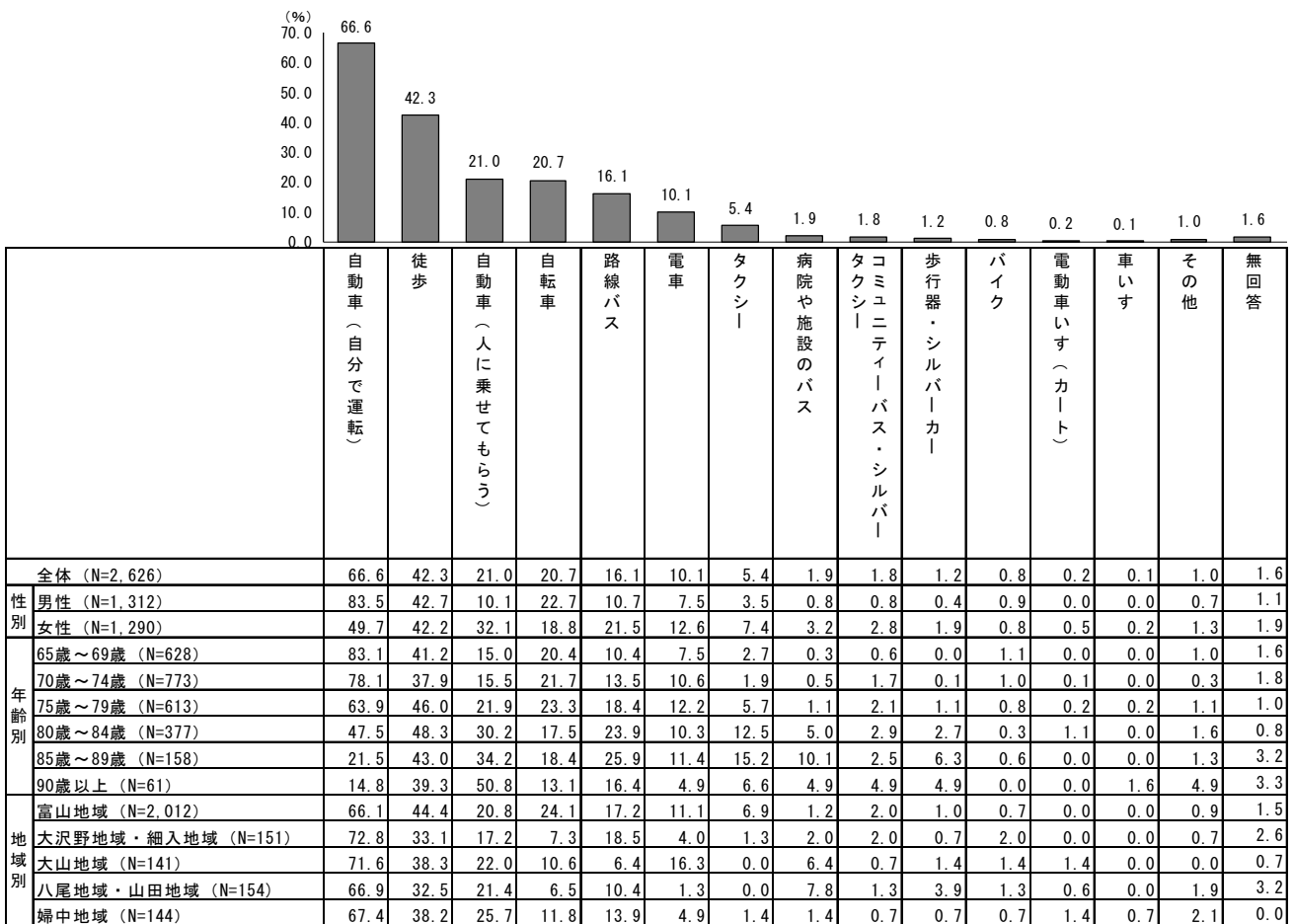
問2 (8) 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも)

外出する際の移動手段についてみると、「自動車(自分で運転)」が66.6%と最も高く、次いで「徒歩」(42.3%)、「自動車(人に乗せてもらう)」(21.0%)の順となっている。

男女別にみると、男性は「自動車(自分で運転)」が83.5%と特に高く、女性は「自動車(人に乗せてもらう)」、「路線バス」、「電車」が男性と比べて高くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「自動車(自分で運転)」は低く、「自動車(人に乗せてもらう)」が高くなっている。また、「90歳以上」を除き、年代が高いほど「路線バス」が高くなっている。

図表2(8)-1 外出する際の移動手段



図表2(8)-2外出する際の移動手段【圏域別】

	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす (カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	コミュニティーバス・シルバーバス	その他	無回答
総曲輪、愛宕、安野屋、八人町、 五番町、柳町、清水町、星井町 (N=136)	67.6	29.4	0.0	52.9	25.0	15.4	17.6	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	5.1	0.0	1.5
東部、山室 (N=169)	49.1	37.3	0.0	62.1	17.2	5.3	23.7	0.0	0.0	0.0	1.8	8.3	4.1	0.0	2.4
西田地方、堀川、光陽 (N=141)	59.6	34.8	0.0	61.7	19.9	17.0	27.7	0.7	0.0	0.0	1.4	13.5	5.7	2.1	0.0
堀川南、蟻川 (N=147)	46.9	27.2	2.7	68.0	19.7	18.4	23.8	0.7	0.0	0.0	0.0	8.2	0.0	0.7	1.4
奥田、奥田北 (N=136)	47.1	33.1	0.7	63.2	22.1	15.4	9.6	2.2	0.0	0.0	0.7	5.1	0.7	1.5	1.5
桜谷、五福、神明 (N=134)	44.8	17.9	0.7	59.7	23.1	11.9	26.1	3.0	0.0	0.0	1.5	9.0	1.5	0.0	0.7
岩瀬、荻浦、大広田、浜黒崎 (N=146)	41.1	17.8	0.7	67.8	16.4	22.6	12.3	1.4	0.0	0.0	0.7	4.8	1.4	1.4	0.7
針原、豊田 (N=143)	41.3	23.8	0.7	72.0	23.1	11.2	13.3	2.1	0.0	0.0	0.7	6.3	0.0	2.1	0.0
広田、新庄、新庄北 (N=139)	42.4	21.6	0.7	64.0	20.1	11.5	10.1	0.0	0.0	0.0	2.2	6.5	1.4	0.7	2.2
藤ノ木、山室中部 (N=127)	45.7	23.6	1.6	74.8	15.7	0.8	22.0	0.0	0.0	0.0	1.6	7.1	0.8	1.6	3.1
太田、新保、熊野、月岡 (N=151)	31.1	14.6	1.3	71.5	26.5	9.3	19.2	2.0	0.0	0.0	0.0	3.3	0.7	0.0	1.3
四方、八幡、草島、倉垣 (N=148)	35.1	20.3	0.0	64.2	21.6	6.8	14.2	2.0	0.0	0.0	0.7	4.1	1.4	0.7	3.4
呉羽、長岡、寒江、古沢、老田、 池多 (N=144)	38.2	16.0	0.0	72.2	24.3	2.1	13.9	0.7	0.0	0.0	0.7	3.5	4.2	0.7	2.1
水橋中部、水橋西部、水橋東部、 三郷、上条 (N=151)	34.4	18.5	0.7	70.9	16.6	8.6	7.9	2.6	0.7	0.7	2.6	5.3	1.3	2.0	0.7
大沢野地域、細入地域 (N=151)	33.1	7.3	2.0	72.8	17.2	4.0	18.5	2.0	0.0	0.0	0.7	1.3	2.0	0.7	2.6
大山地域 (N=141)	38.3	10.6	1.4	71.6	22.0	16.3	6.4	6.4	0.0	1.4	1.4	0.0	0.7	0.0	0.7
八尾地域、山田地域 (N=154)	32.5	6.5	1.3	66.9	21.4	1.3	10.4	7.8	0.0	0.6	3.9	0.0	1.3	1.9	3.2
埴中地域 (N=144)	38.2	11.8	0.7	67.4	25.7	4.9	13.9	1.4	0.7	1.4	0.7	1.4	0.7	2.1	0.0

3 食べることについて

問3 (1) 身長・体重

平均身長は 158.8cm、平均体重は 58.0kg となっている。

性別で見ると、平均身長は男性 165.3cm、女性 151.9cm、平均体重は男性 63.9kg、女性 51.9kg となっている。

年齢別にみると、年代が高いほど、身長、体重ともに低くなっている。

図表3(1)身長・体重

身長		平均 (cm)
全体 (N=2,531)		158.8
性別	男性 (N=1,279)	165.3
	女性 (N=1,232)	151.9
年齢別	65歳～69歳 (N=611)	162.3
	70歳～74歳 (N=756)	159.7
	75歳～79歳 (N=602)	157.6
	80歳～84歳 (N=354)	155.5
	85歳～89歳 (N=143)	154.2
	90歳以上 (N=52)	152.3

体重		平均 (kg)
全体 (N=2,526)		58.0
性別	男性	63.9
	女性	51.9
年齢別	65歳～69歳 (N=628)	61.2
	70歳～74歳 (N=753)	58.8
	75歳～79歳 (N=605)	56.8
	80歳～84歳 (N=351)	55.4
	85歳～89歳 (N=144)	54.4
	90歳以上 (N=53)	50.9

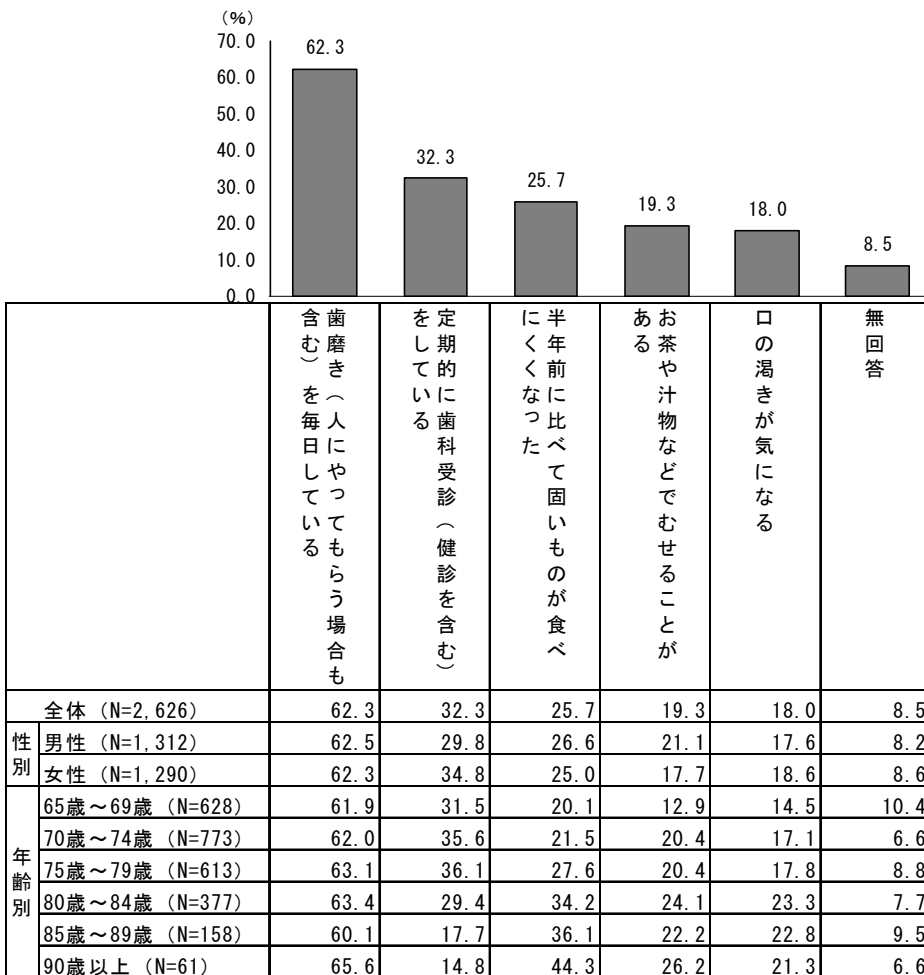
問3 (2) あなたの口腔の状態について、次にあてはまるものはありますか。(いくつでも)

口腔の状態についてみると、「歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日している」が62.3%と最も高く、次いで「定期的に歯科受診(検診を含む)をしている」(32.3%)、「半年前に比べて固いものが食べにくくなった」(25.7%)の順となっている。

男女別にみると、男性は「お茶や汁物などでむせることがある」が女性と比べて高く、女性は「定期的に歯科受診(検診を含む)をしている」が男性と比べて高くなっている。

年齢別にみると、「半年前に比べて固いものが食べにくくなった」、「お茶や汁物などでむせることがある」、「口の渴きが気になる」は年代が高いほど、高い傾向にある。「定期的に歯科受診(検診を含む)をしている」は年代が高いほど、低い傾向にある。

図表3(2)口腔の状態



問3 (3) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。

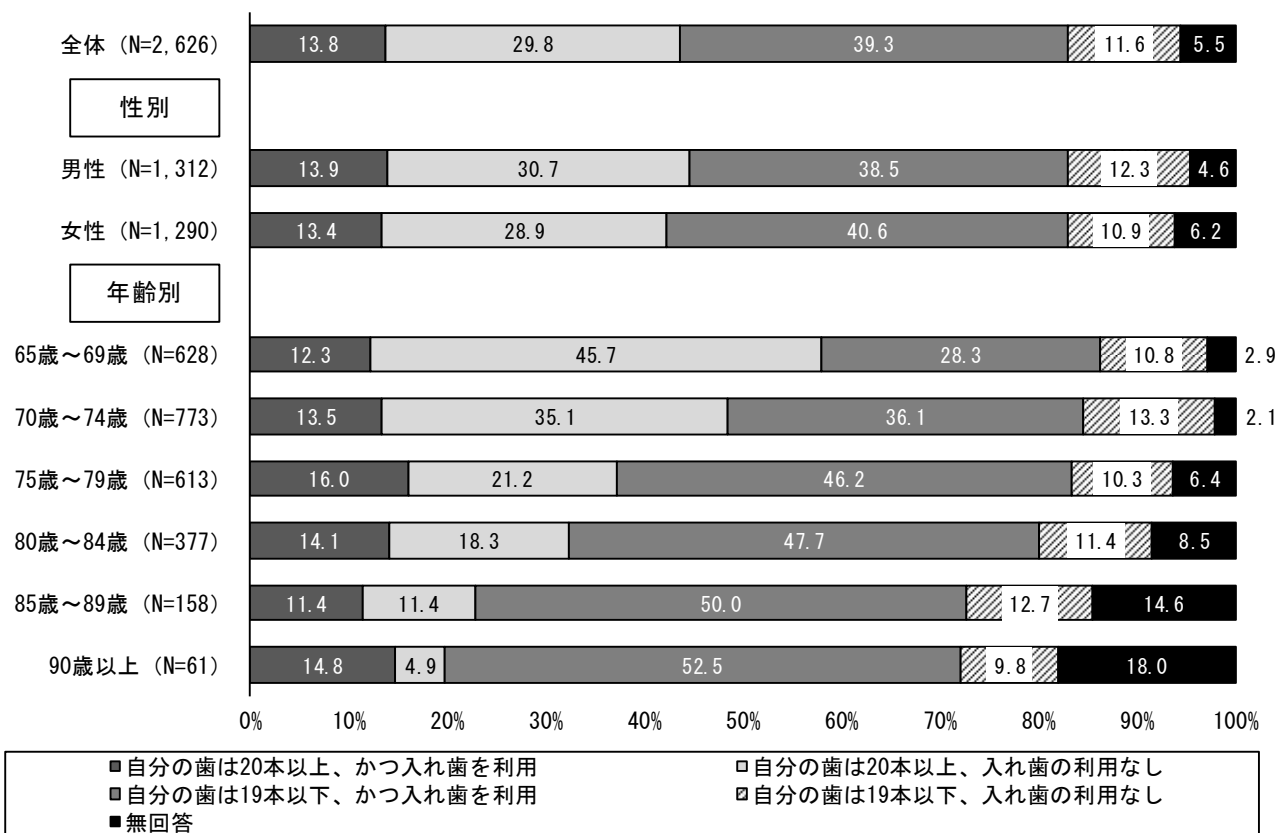
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

歯の数と入れ歯の利用状況についてみると、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が13.8%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯の利用なし」が29.8%、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が39.3%、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯の利用なし」が11.6%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が高いほど「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯の利用なし」が低く、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が高くなっている。

図表3(3) 歯の数と入れ歯の利用状況



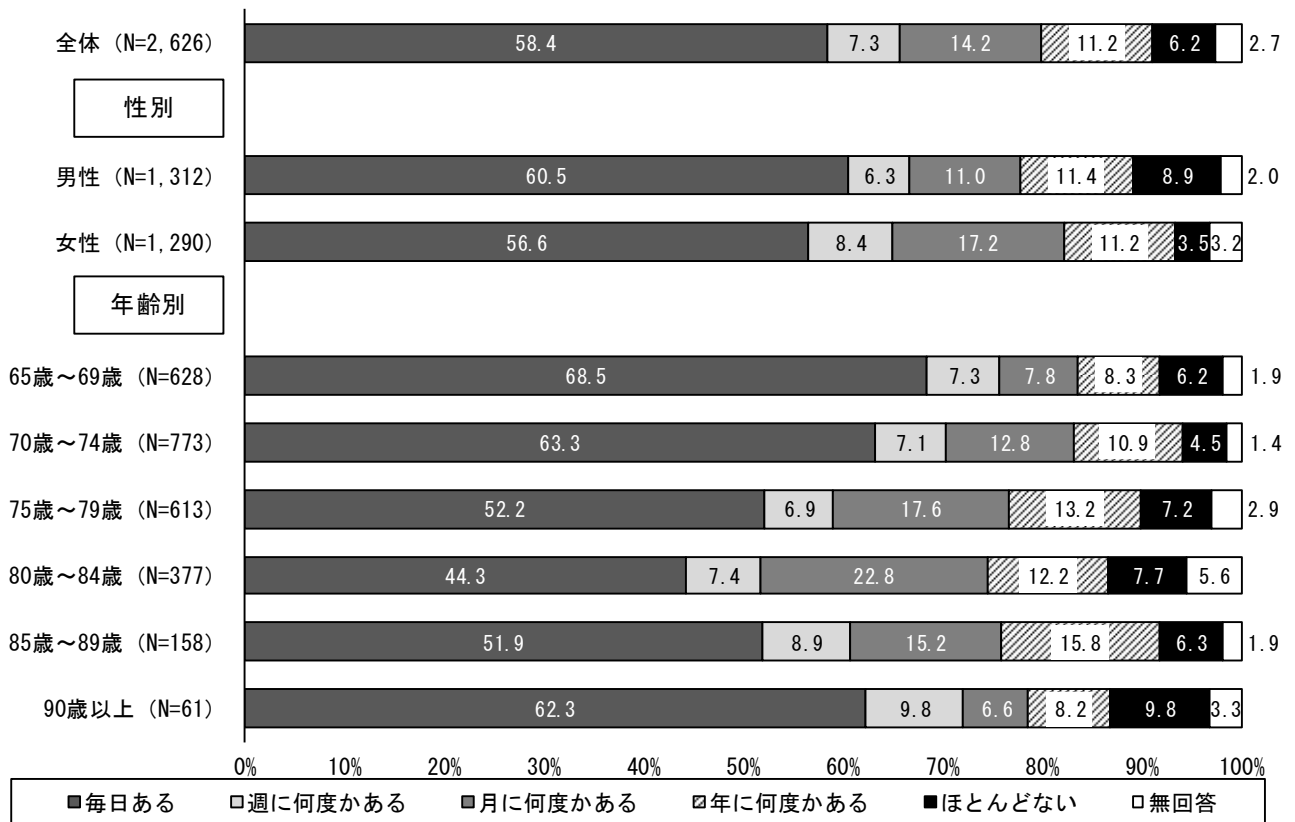
問3 (4) どなたかと食事をとる機会がありますか。

誰かと食事をとる機会についてみると、「毎日ある」が58.4%と最も高く、次いで「月に何度かある」(14.2%)、「年に何度かある」(11.2%)の順となっている。

男女別にみると、男性は「ほとんどない」が女性と比べて高く、女性は「月に何度かある」が男性と比べて高くなっている。

年齢別にみると、「毎日ある」は「65歳～84歳」までは減少傾向にあるが、「85歳以上」では増加傾向にある。

図表3(4) 誰かと食事をとる機会



4 毎日の生活について

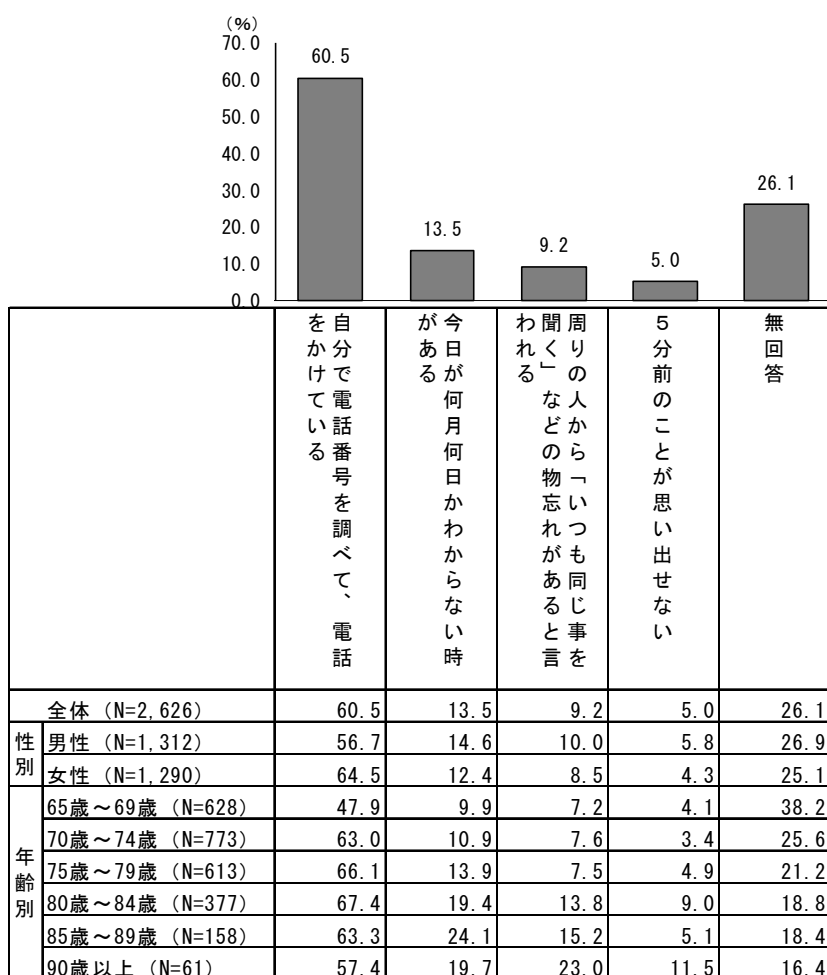
問4 (1) 物忘れについて、次に当てはまるものはありますか。(いくつでも)

物忘れについてみると、「自分で電話番号を調べて、電話をかけている」が60.5%、「今日が何月何日かわからない時がある」が13.5%、「周りの人から『いつも同じ事を聞く』などの物忘れがあるとされる」が9.2%、「5分前のことが思い出せない」が5.0%となっている。

男女別にみると、女性は「自分で電話番号を調べて、電話をかけている」が64.5%と男性と比べて高くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「周りの人から『いつも同じ事を聞く』などの物忘れがあるとされる」が高い傾向にある。

図表4(1)物忘れについて



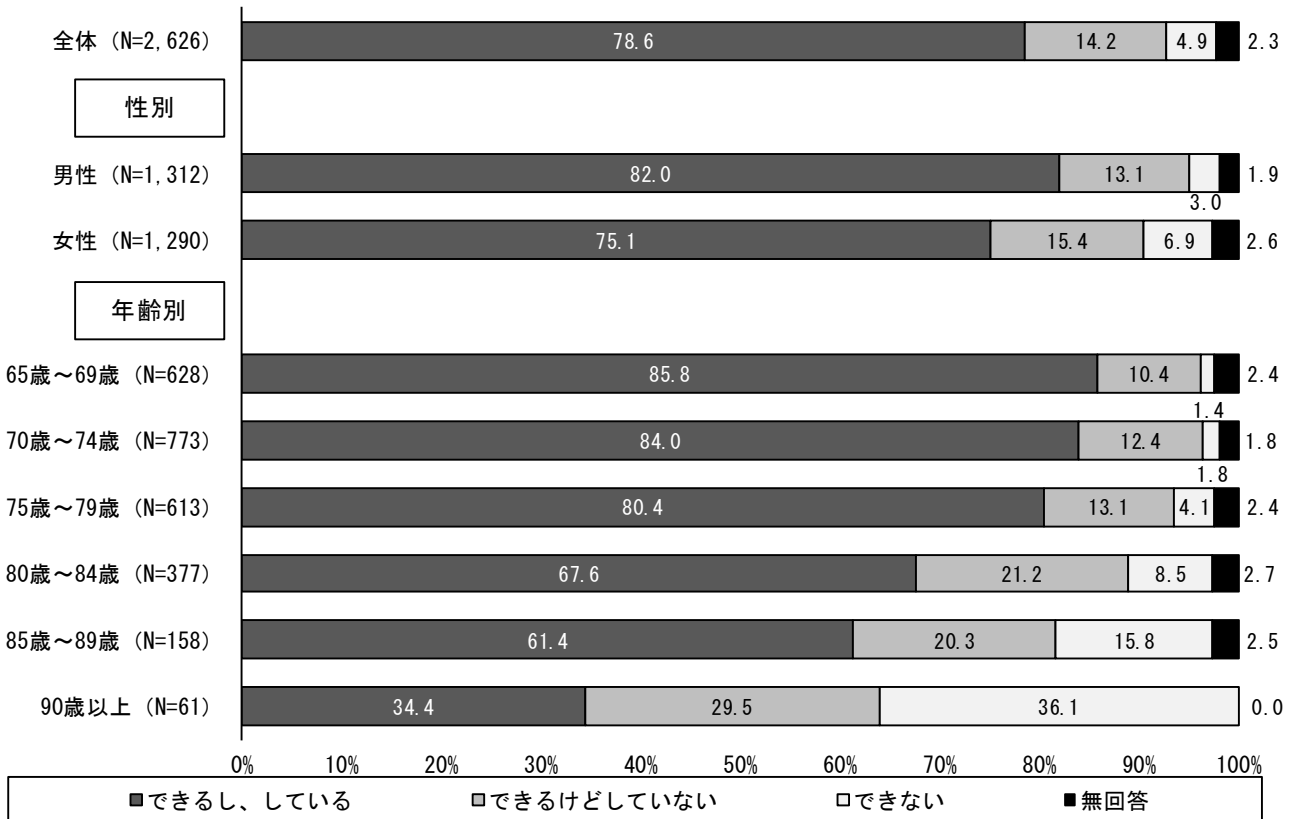
問4 (2) バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)

乗り物を使って1人で外出しているかについてみると、「できるし、している」が78.6%、「できるけどしていない」が14.2%、「できない」が4.9%となっている。

男女別にみると、男性は「できるし、している」が82.0%と女性と比べて高くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「できるし、している」が低く、「できない」が高くなっている。

図表4(2) 乗り物を使って1人で外出しているか



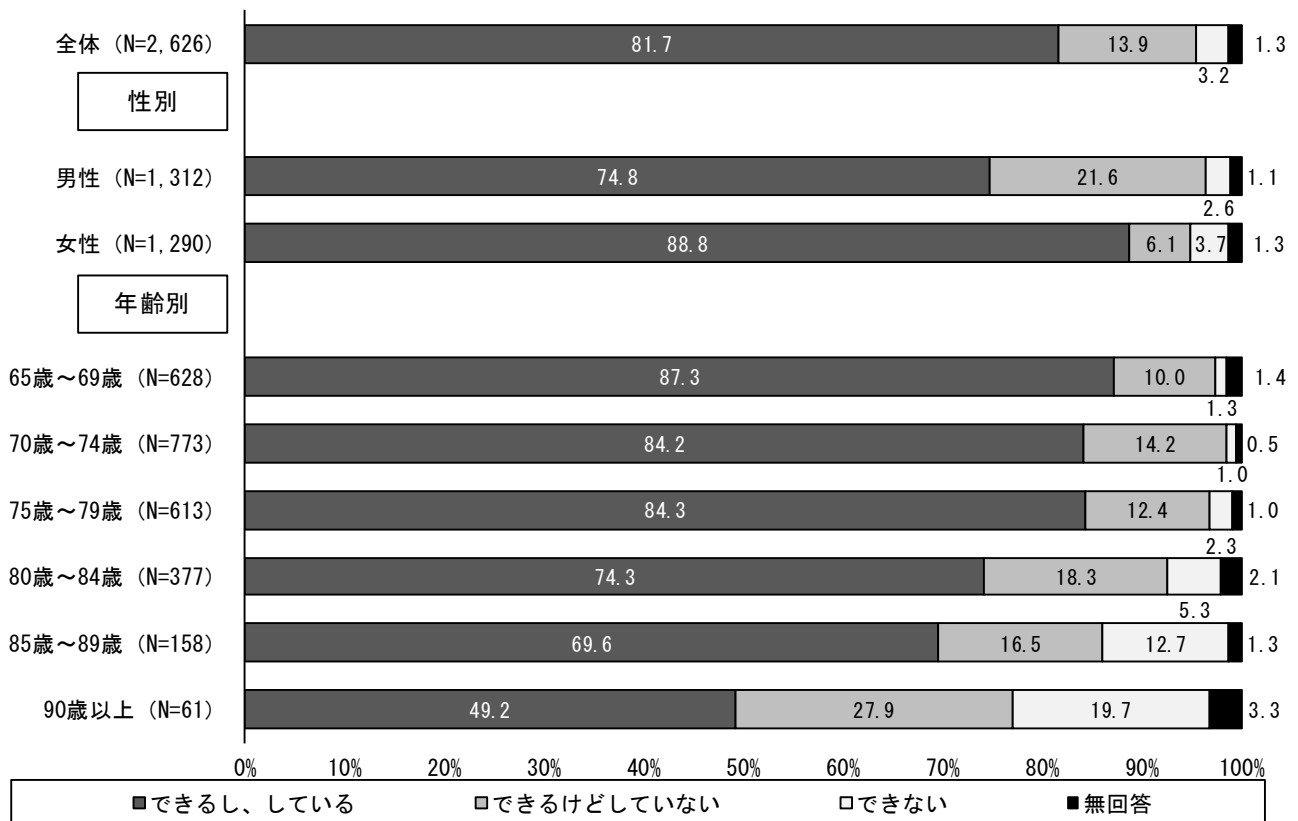
問4 (3) 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。

自分で食品・日用品の買い物をしているかについてみると、「できるし、している」が81.7%、「できるけどしていない」が13.9%、「できない」が3.2%となっている。

男女別にみると、女性は「できるし、している」が88.8%と男性と比べて高くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「できるし、している」が低い傾向にあり、「できない」が高くなっている。

図表4(3) 自分で食品・日用品の買い物をしているか



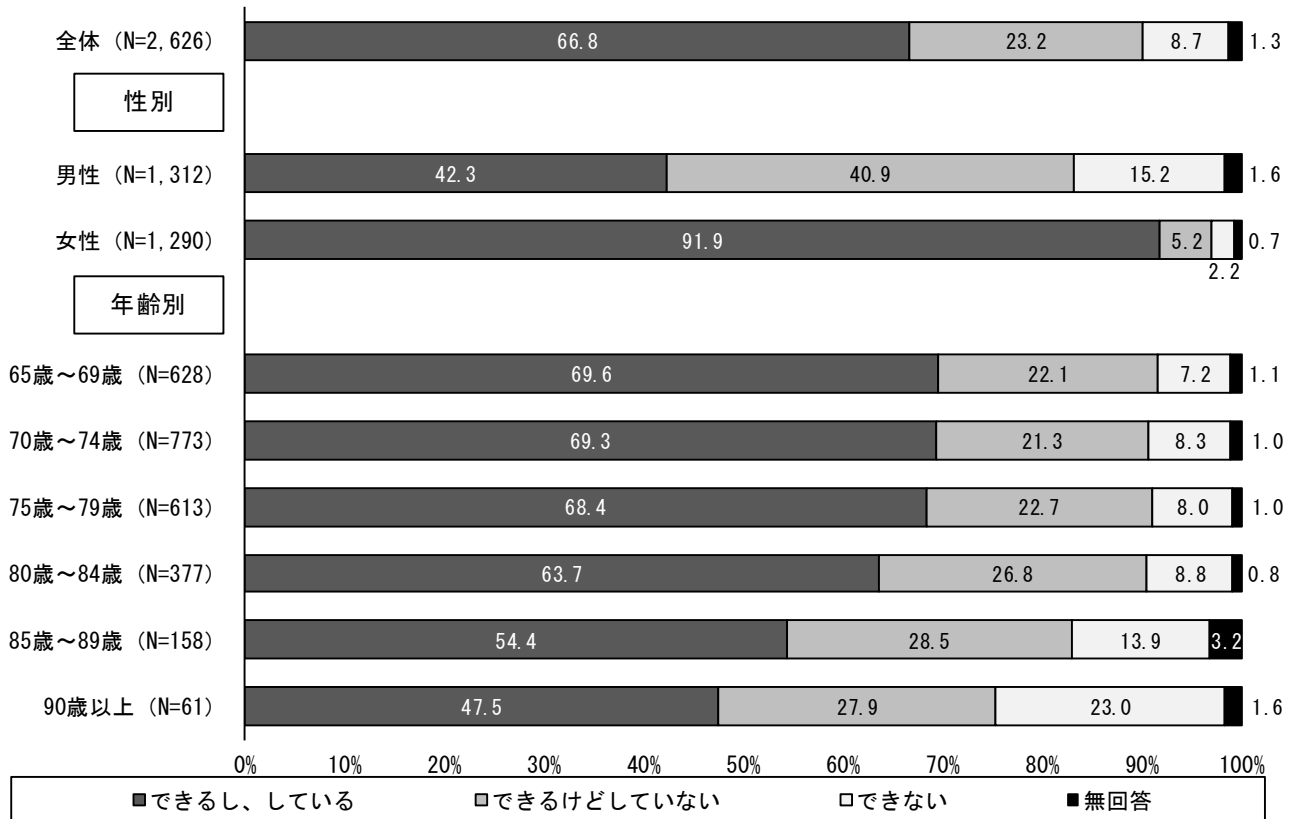
問4 (4) 自分で食事の用意をしていますか。

自分で食事の用意をしているかについてみると、「できるし、している」が66.8%、「できるけどしていない」が23.2%、「できない」が8.7%となっている。

男女別にみると、女性は「できるし、している」が91.9%を占めている。

年齢別にみると、年代が高いほど「できるし、している」が低く、「できない」が高い傾向にある。

図表4(4) 自分で食事の用意をしているか



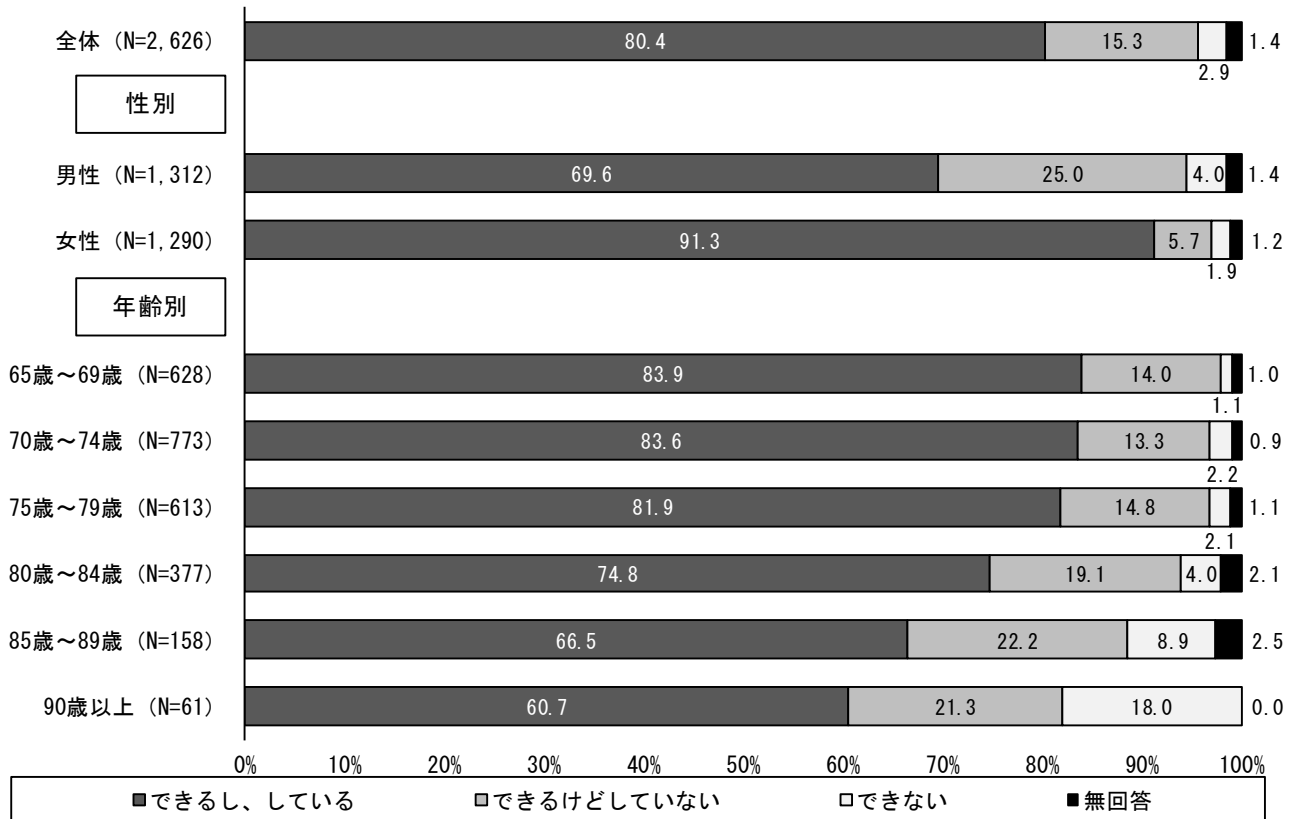
問4 (5) 自分で請求書の支払いをしていますか。

自分で請求書の支払いをしているかについてみると、「できるし、している」が80.4%、「できるけどしていない」が15.3%、「できない」が2.9%となっている。

男女別にみると、女性は「できるし、している」が91.3%を占め、男性と比べて高くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「できるし、している」が低く、「できない」が高い傾向にある。

図表4(5) 自分で請求書の支払いをしているか

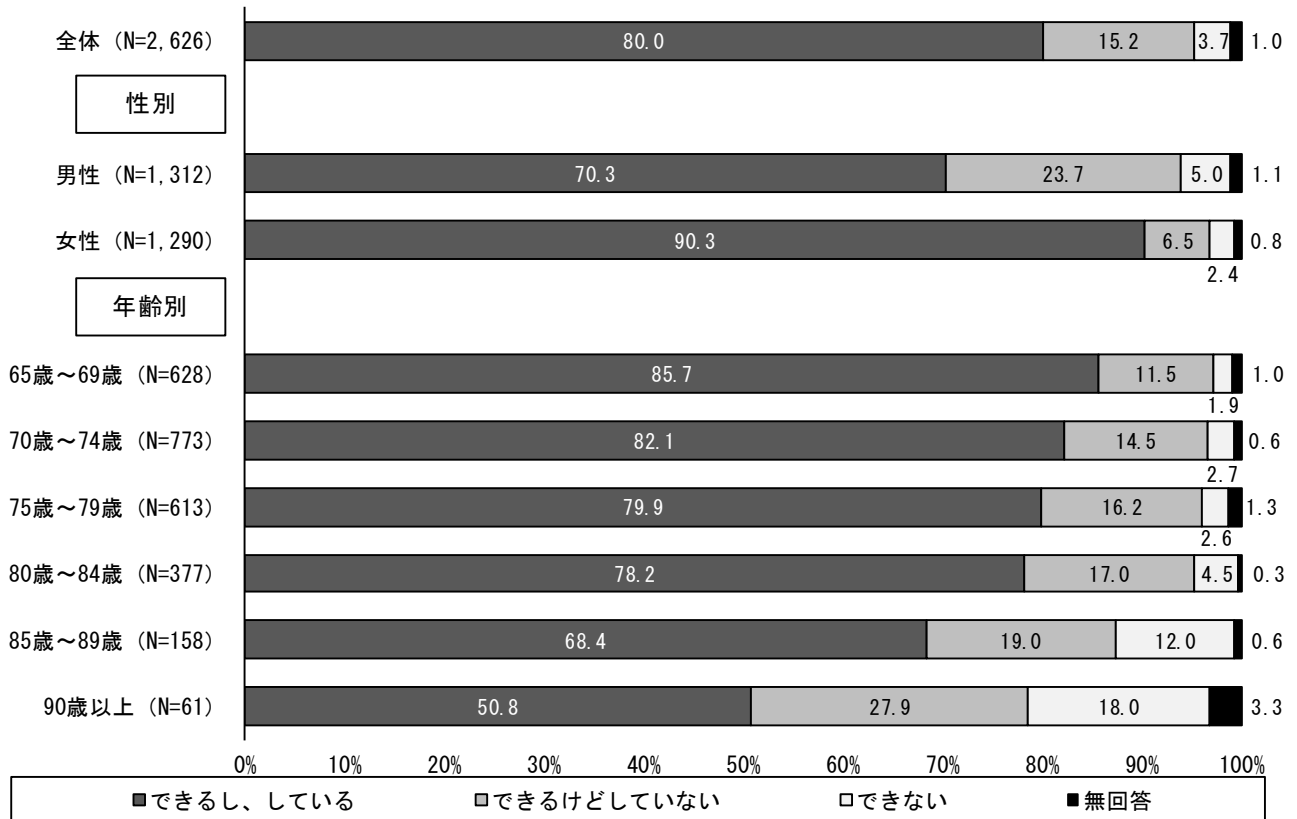


問4 (6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。

自分で預貯金の出し入れをしているかについてみると、「できるし、している」が80.0%、「できるけどしていない」が15.2%、「できない」が3.7%となっている。

男女別にみると、女性は「できるし、している」が約9割を占め、男性と比べて高くなっている。
年齢別にみると、年代が高いほど「できるし、している」が低く、「できない」が高い傾向にある。

図表4(6) 自分で預貯金の出し入れをしているか



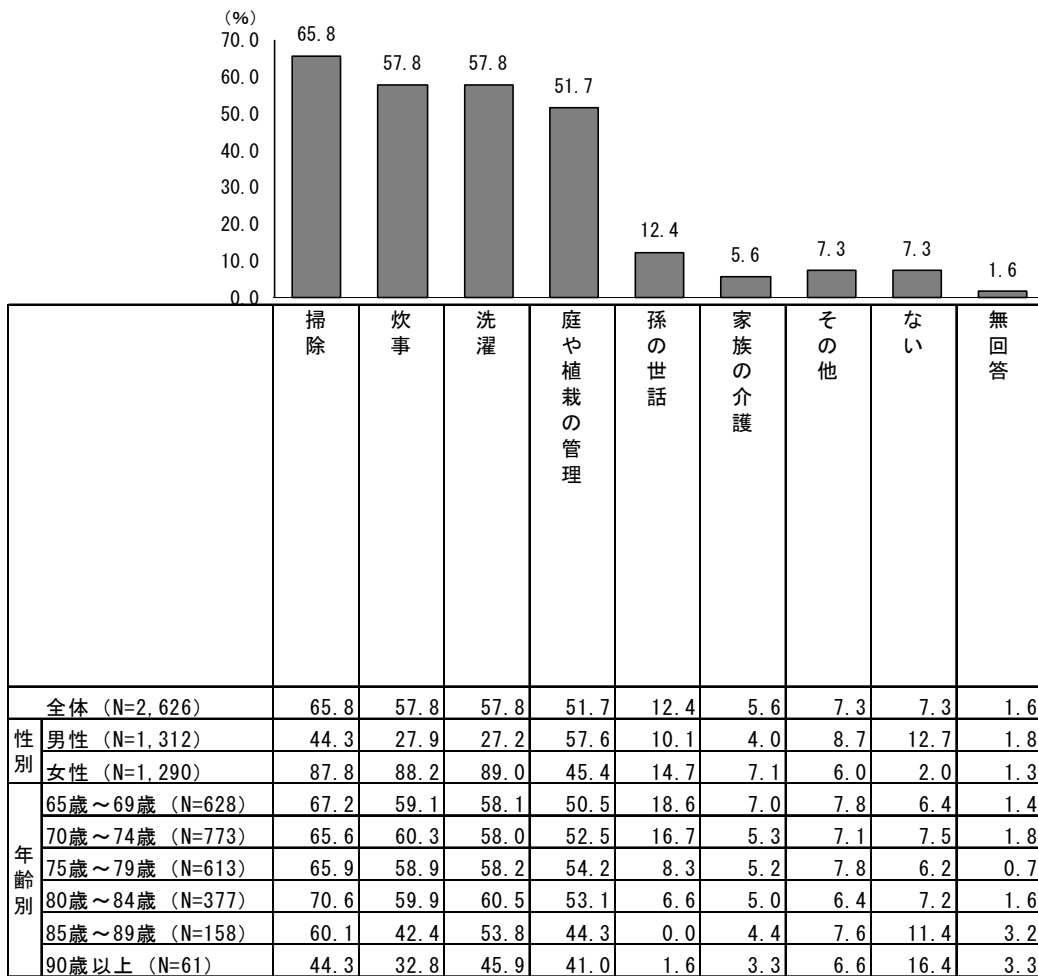
問4 (7) 家庭内で何か役割はありますか。(いくつでも)

家庭内での役割についてみると、「掃除」が 65.8%、「炊事」、「洗濯」(57.8%)、「庭や植栽の管理」(51.7%) の順となっている。

男女別にみると、男性は「庭や植栽の管理」、「ない」、「その他」が女性と比べて高く、女性は、それ以外の項目すべてが男性と比べて高くなっている。

年齢別にみると、85歳以上の家庭内での役割は、すべてにおいて他の年代と比べて低く、「ない」が高くなっている。

図表4(7)家庭内での役割



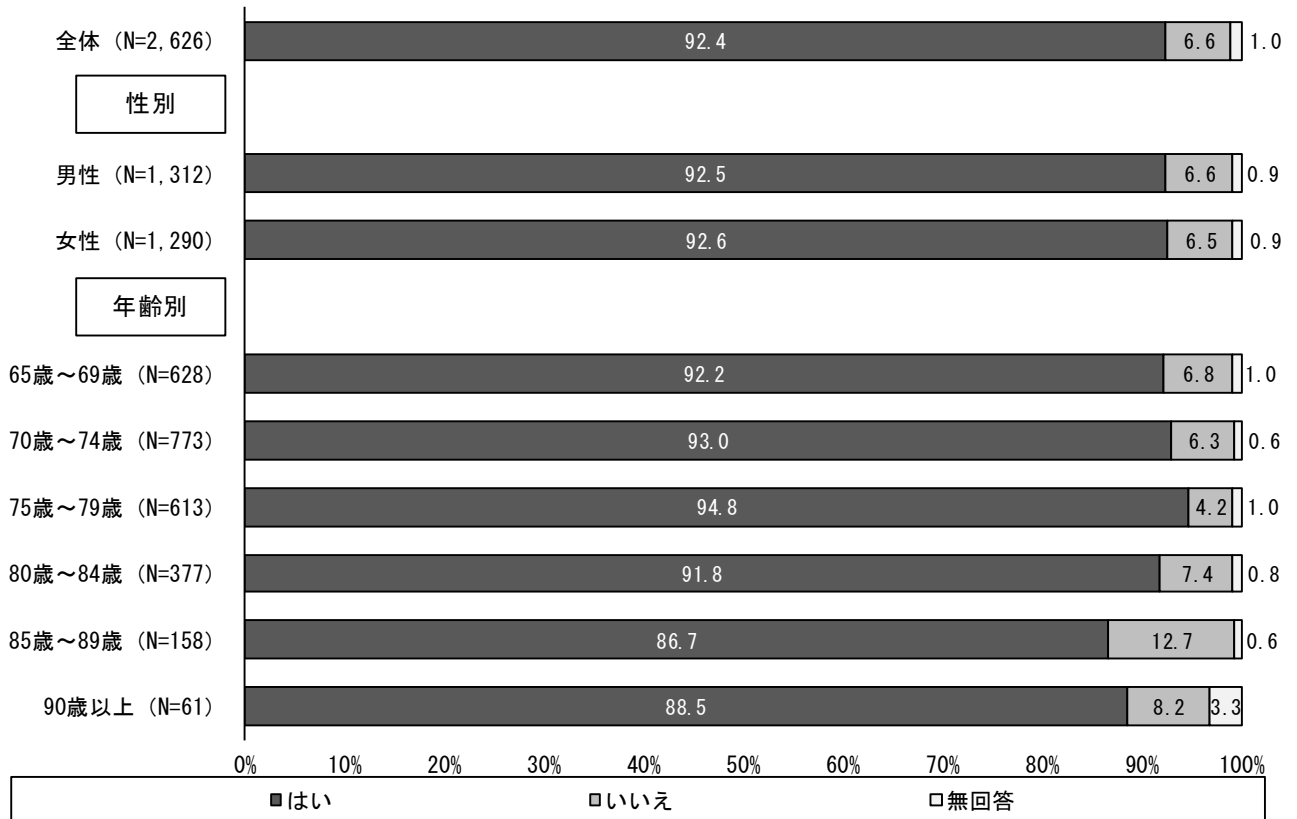
問4 (8) 新聞や本、雑誌を読んでいますか。

新聞や本、雑誌を読んでいるかについてみると、「はい（読んでいる）」が9割以上を占めている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、大きな差はみられないが、85歳以上では「はい（読んでいる）」が9割を下回っている。

図表4(8)新聞や本、雑誌を読んでいるか



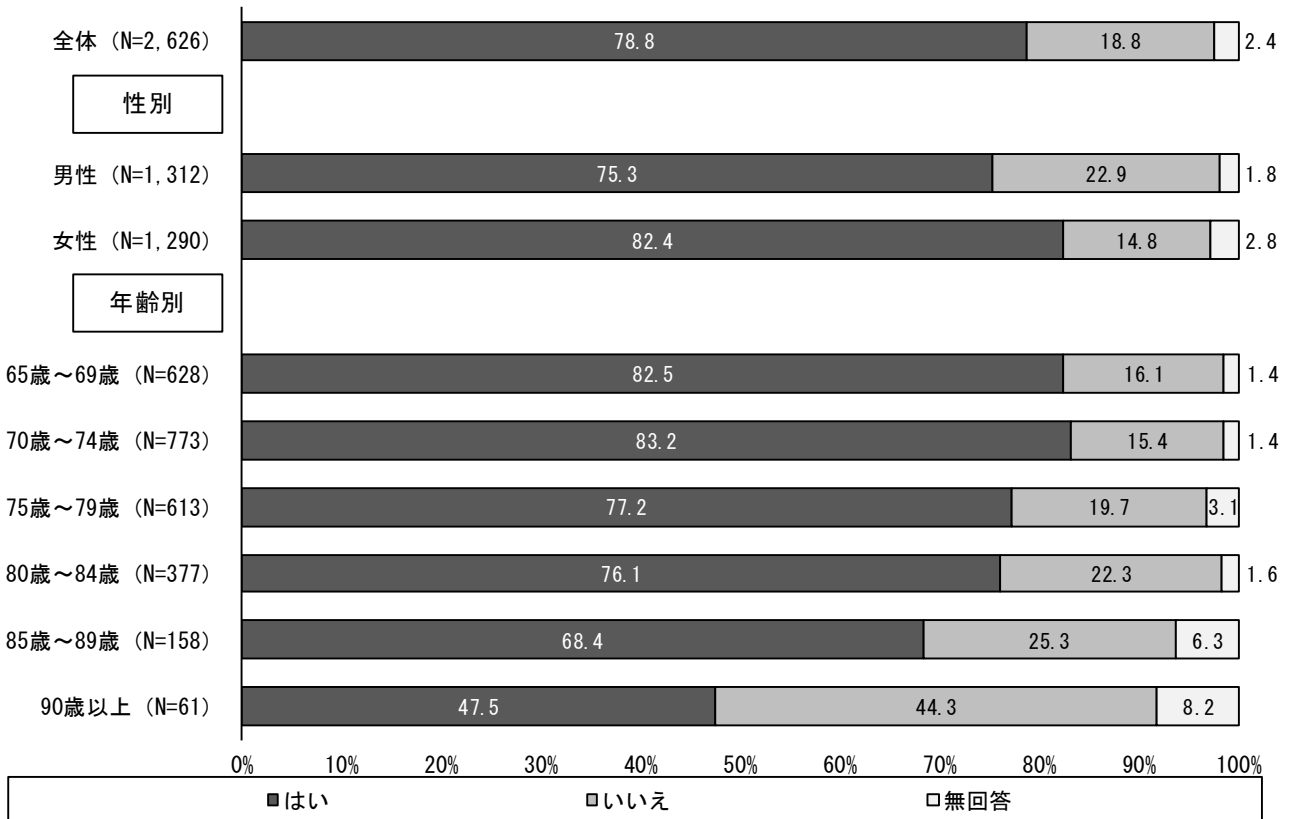
問4 (9) 家族や友人の相談にのっていますか。

家族や友人の相談にのっているかについてみると、「はい(相談にのっている)」が78.8%、「いいえ(相談にのっていない)」が18.8%となっている。

男女別にみると、女性は「はい(相談にのっている)」が82.4%と男性と比べて高くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど、「はい(相談にのっている)」が低い傾向にある。

図表4(9) 家族や友人の相談にのっているか



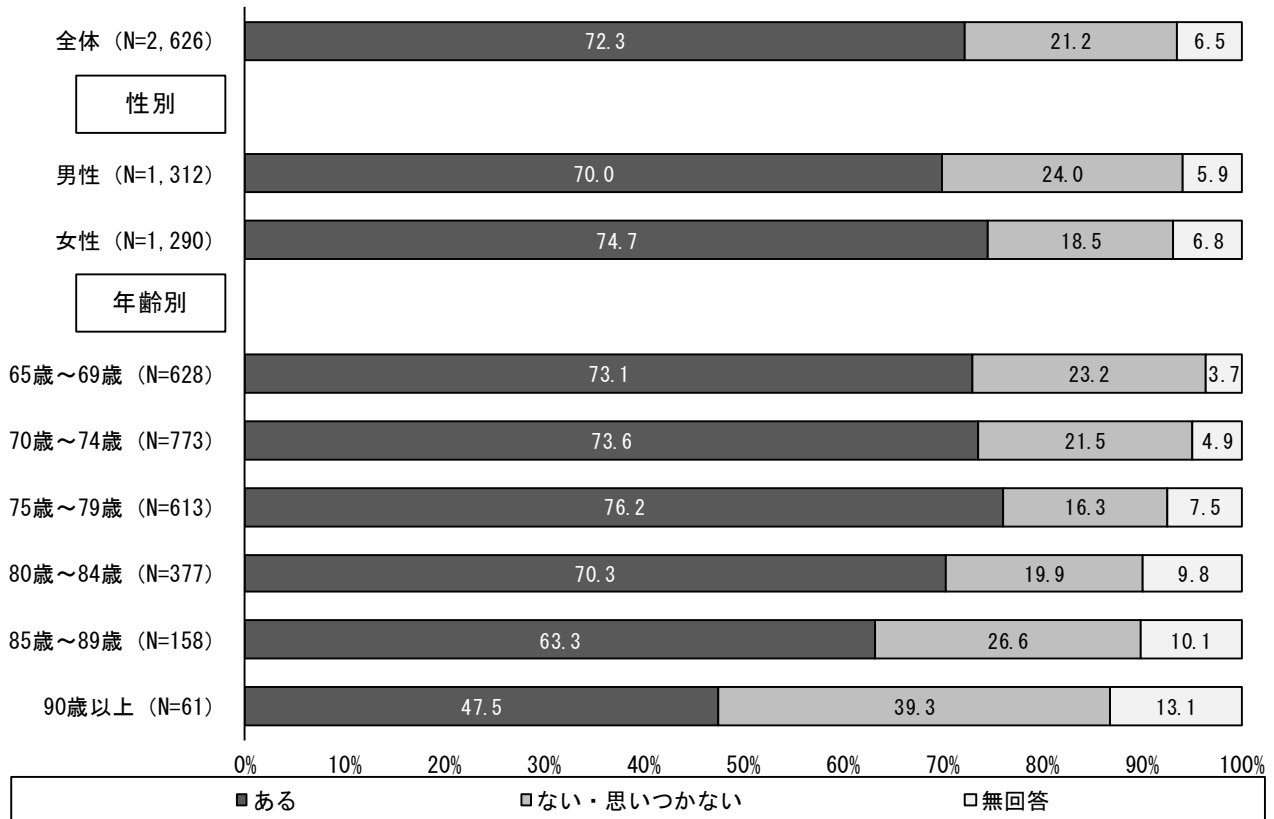
問4 (10) 趣味や生きがいがありますか。

趣味や生きがいについてみると、「ある」が72.3%、「ない・思いつかない」が21.2%となっている。

男女別にみると、女性は「ある」が男性と比べて高くなっている。

年齢別にみると、「65歳～69歳」から「80歳～84歳」では「ある」が7割以上となっているが、85歳以上から減少傾向が強くなり、「90歳以上」では47.5%となっている。

図表4(10)趣味や生きがい



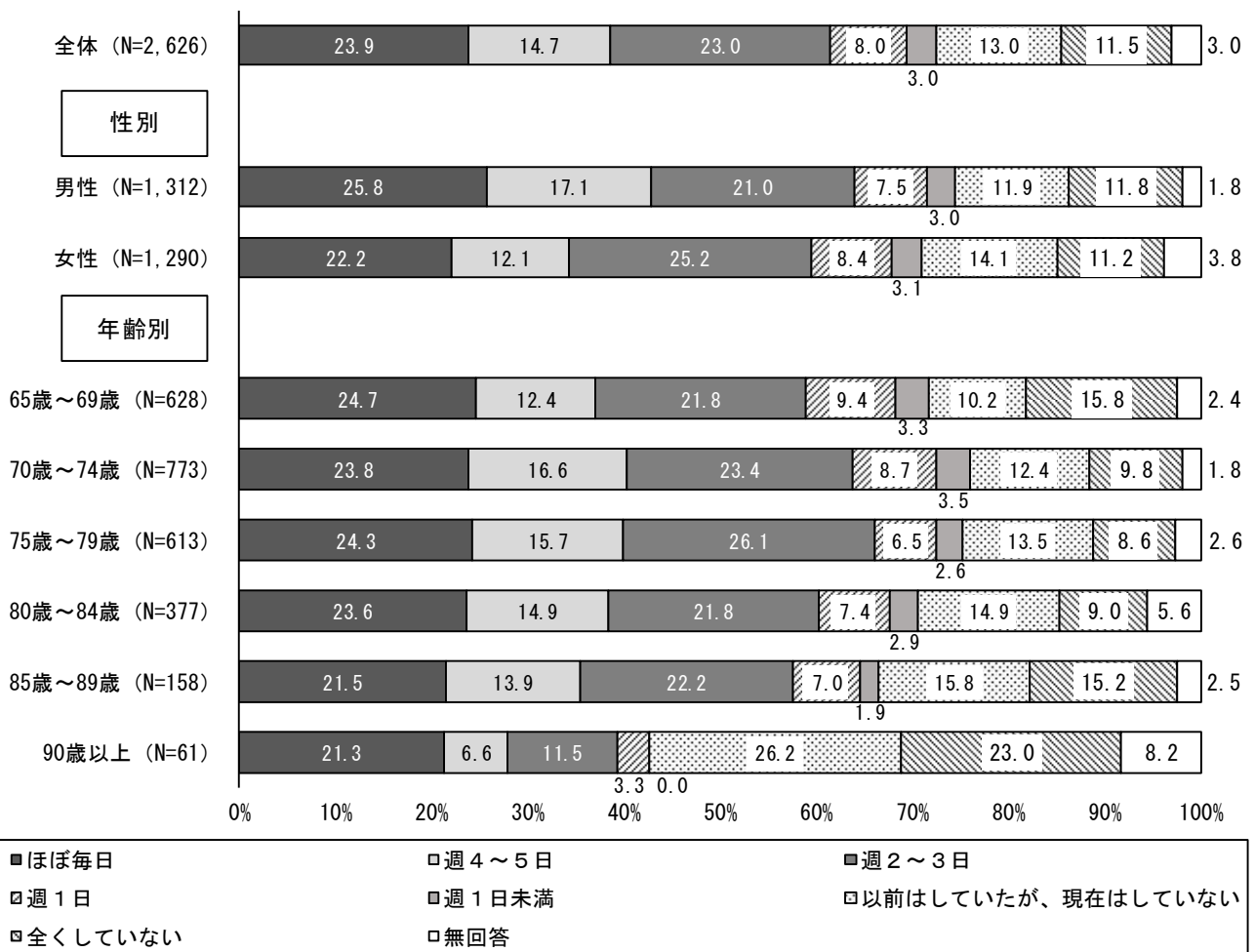
問4 (11) 運動（散歩など軽い運動を含む）はどのくらいの頻度で行っていますか。

運動を行う頻度についてみると、「ほぼ毎日」が23.9%と最も高く、次いで「週2～3日」(23.0%)、「週4～5日」(14.7%)の順となっている。

男女別にみると、男性は「ほぼ毎日」が25.8%と女性と比べて高く、女性は「週2～3日」が25.2%と男性と比べて高くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「以前はしていたが、現在はしていない」が高くなっている。「全くしていない」は「65歳～69歳」、「85歳～89歳」、「90歳以上」で15%以上となっており、「90歳以上」のみ20%を超えている。

図表4(11)運動を行う頻度



5 地域での活動について

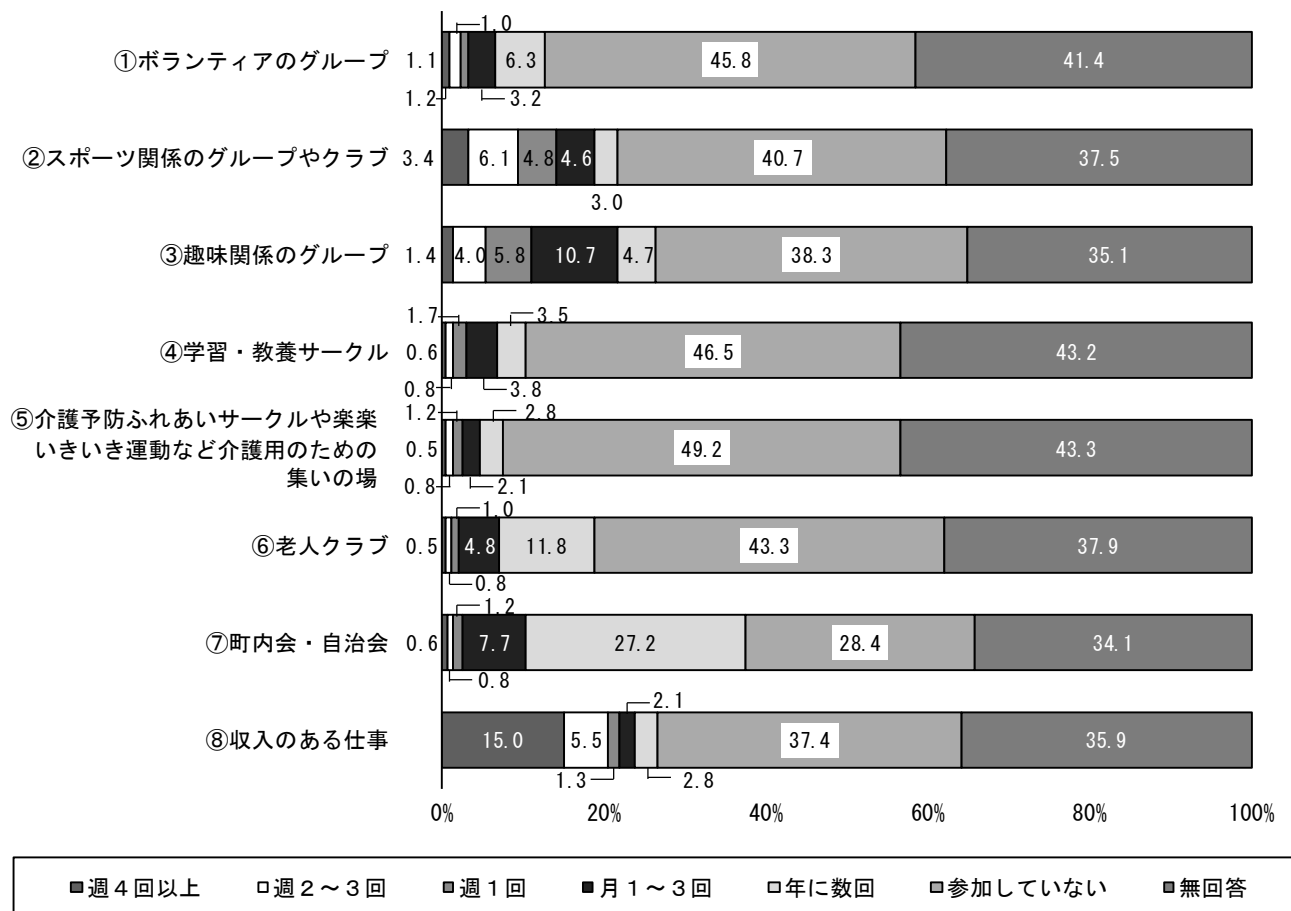
問5 (1) 会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

※①～⑧それぞれに回答してください

すべての会・グループ等で「参加していない」が最も高くなっている。

- ①グループのボランティアについてみると、次いで「年に数回」(6.3%)、「月1～3回」(3.2%)の順となっている。
- ②スポーツ関係のグループやクラブについてみると、次いで「週2～3回」(6.1%)、「週1回」(4.8%)の順となっている。
- ③趣味関係のグループについてみると、「月1～3回」(10.7%)、「週1回」(5.8%)の順となっている。
- ④学習・教養サークルについてみると、「月1～3回」(3.8%)、「年に数回」(3.5%)の順となっている。
- ⑤介護予防ふれあいサークルや楽楽いきいき運動など介護用のための集いの場についてみると、「年に数回」(2.8%)、「月1～3回」(2.1%)の順となっている。
- ⑥老人クラブについてみると、「年に数回」(11.8%)、「月1～3回」(4.8%)の順となっている。
- ⑦町内会・自治会についてみると、「年に数回」(27.2%)、「月1～3回」(7.7%)の順となっている。
- ⑧収入のある仕事についてみると、「週4回以上」(15.0%)、「週2～3回」(5.5%)の順となっている。

図表5(1)会・グループ等の参加頻度(全体 N=2,626)



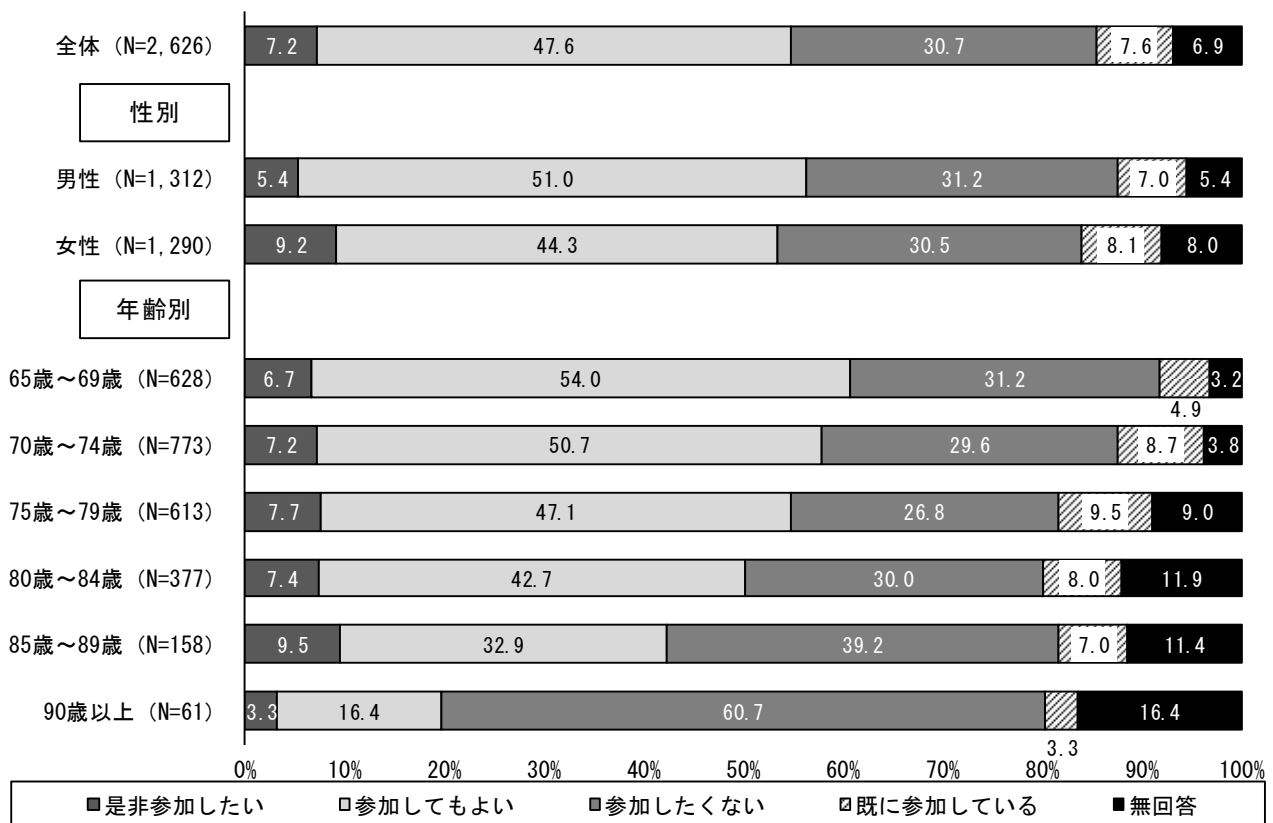
問5(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

地域住民の有志による、いきいきとした地域づくりに参加者としての参加意欲についてみると、「是非参加したい」が7.2%、「参加してもよい」が47.6%、「参加したくない」が30.7%、「既に参加している」が7.6%となっている。

男女別にみると、女性は「是非参加したい」が9.2%と男性と比べて高くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど『参加意欲あり（「是非参加したい」、「参加してもよい」と「既に参加している」を合算した割合）』が低い傾向にあり、「65歳～69歳」では65.6%だが、「90歳以上」では23.0%となっている。

図表5(2) 地域づくり活動への参加意欲(参加者として)



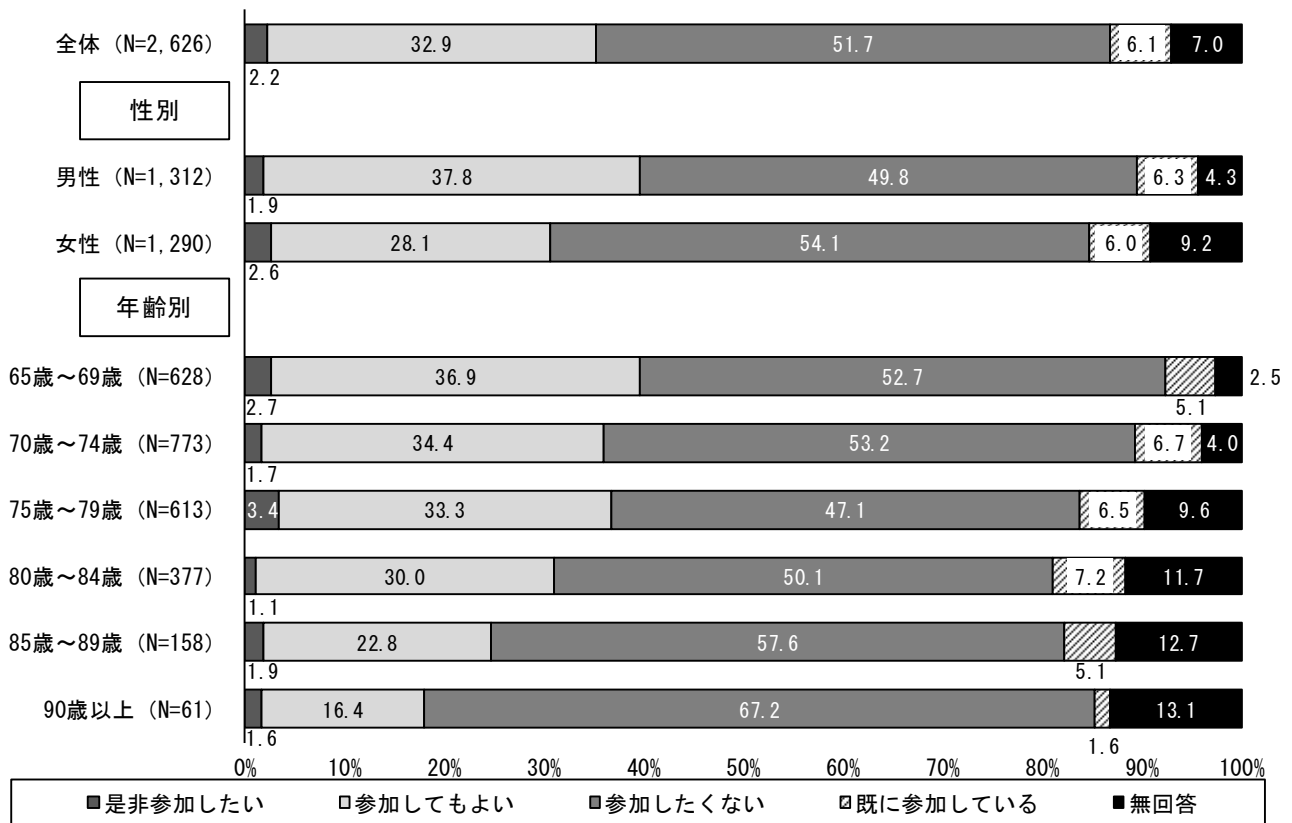
問5(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。

地域住民の有志による、いきいきとした地域づくりに企画・運営(お世話役)としての参加意欲についてみると、「是非参加したい」が2.2%、「参加してもよい」が32.9%、「参加したくない」が51.7%、「既に参加している」が6.1%となっている。

男女別にみると、男性は「参加してもよい」が37.8%と女性と比べて高くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど『参加意欲あり(「是非参加したい」、「参加してもよい」と「既に参加している」を合算した割合)』が低い傾向にあり、「65歳～69歳」では44.7%だが、「90歳以上」では19.6%となっている。

図表5(3) 地域づくり活動への参加意欲(企画・運営(お世話役)として)



6 たすけあいについて

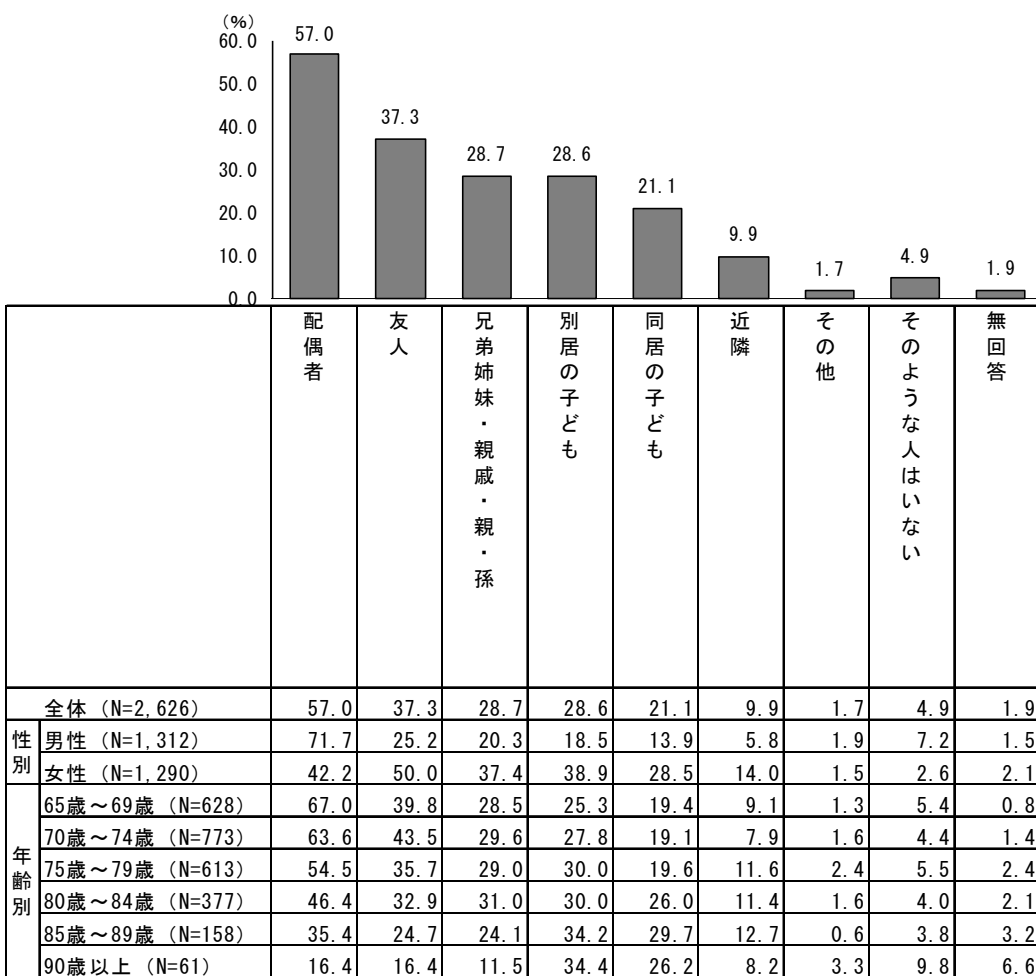
問6 (1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はどなたですか。(いくつでも)

心配事や愚痴を聞いてくれる人についてみると、「配偶者」が57.0%と最も高く、次いで「友人」(37.3%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(28.7%)の順となっている。

男女別にみると、女性は「配偶者」、「そのような人はいない」、「その他」を除くすべてで男性と比べて高く、「友人」が50.0%と最も高くなっている。男性は「配偶者」が71.7%と特に高くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「配偶者」が低く、「別居の子ども」、「同居の子ども」が高い傾向にある。

図表6(1)心配事や愚痴を聞いてくれる人



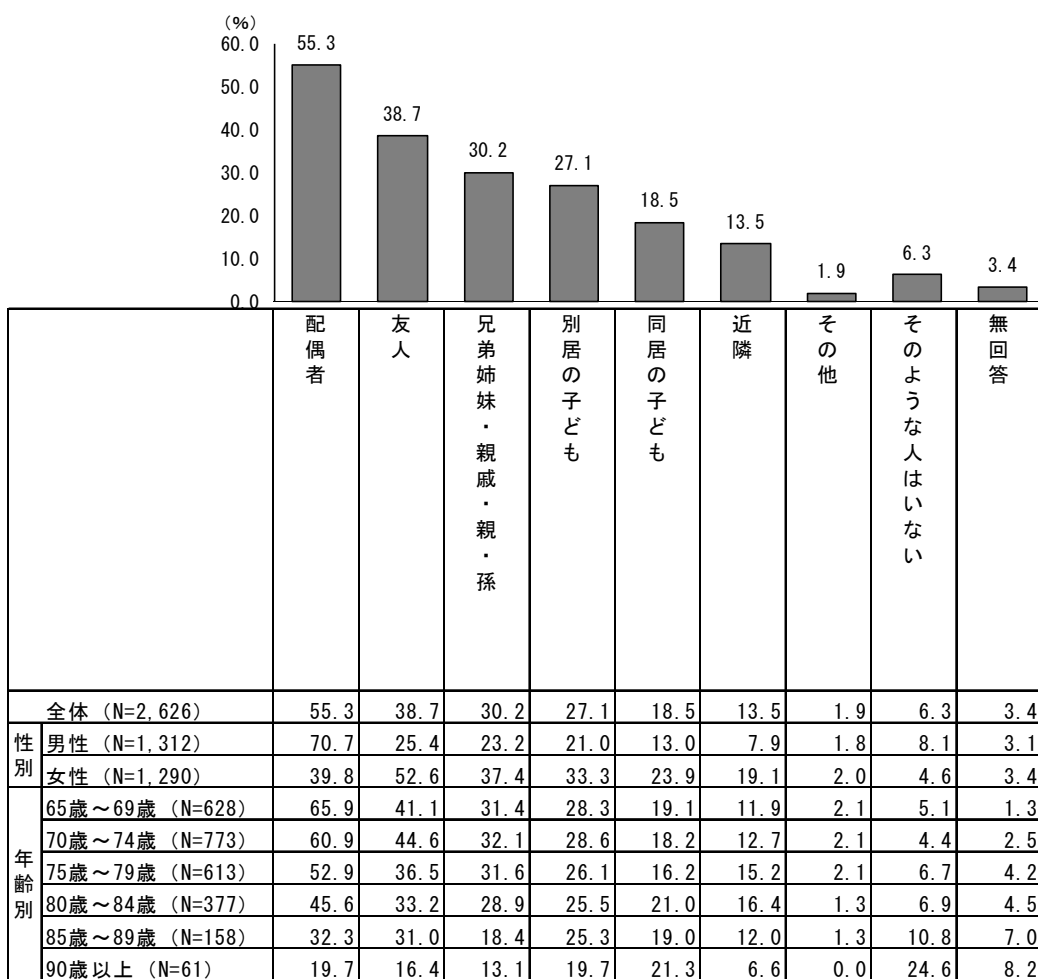
問6 (2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はどなたですか。(いくつでも)

心配事や愚痴を聞いてあげる人をみると、「配偶者」が55.3%と最も高く、次いで「友人」(38.7%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(30.2%)の順となっている。

男女別にみると、女性は「配偶者」、「そのような人はいない」を除くすべてで男性と比べて高く、「友人」が52.6%と最も高くなっている。男性は「配偶者」が70.7%と特に高くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「配偶者」が低く、「そのような人はいない」が高い傾向にある。

図表6(2)心配事や愚痴を聞いてあげる人



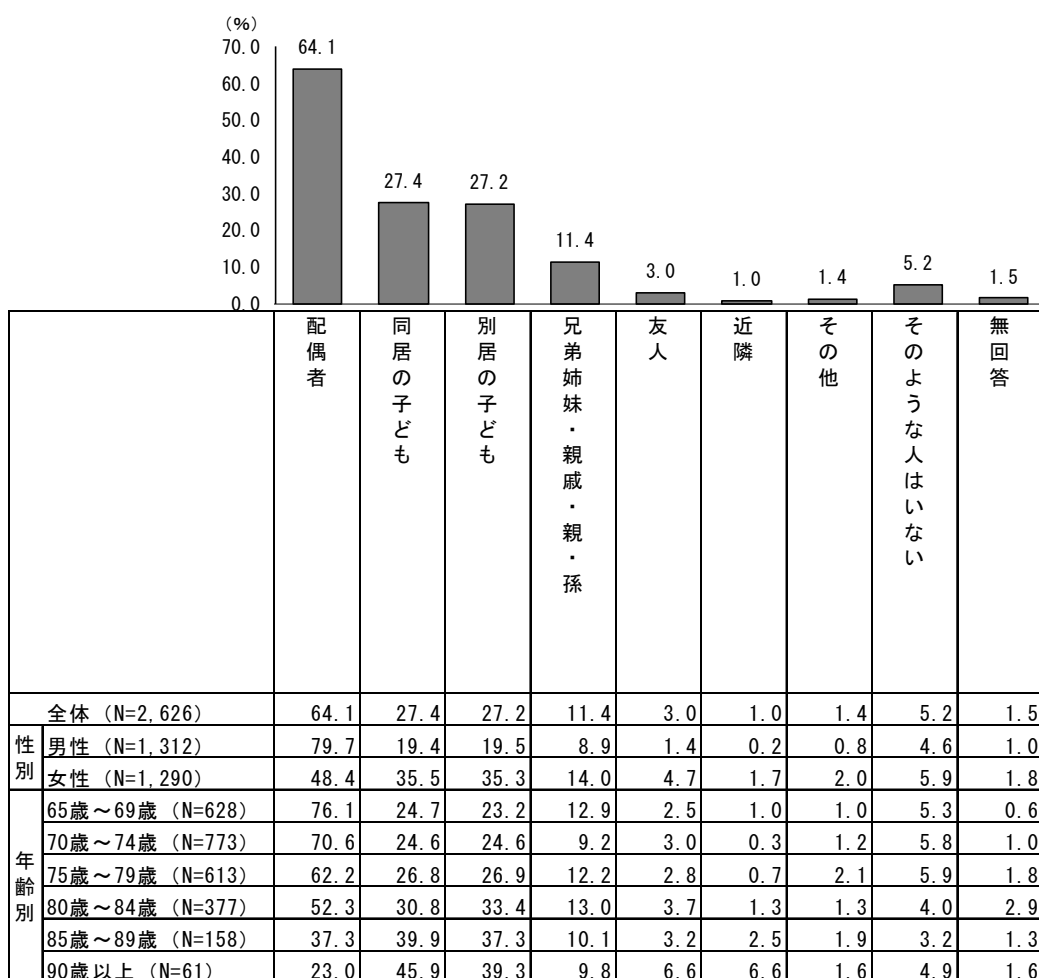
問6 (3) あなたが病気で数日寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。
(いくつでも)

病気のときに看病や世話をしてくれる人についてみると、「配偶者」が64.1%と最も高く、次いで「同居の子ども」(27.4%)、「別居の子ども」(27.2%)の順となっている。

男女別にみると、女性は「配偶者」を除くすべてで男性と比べて高くなっている(最も高いのは「配偶者」の48.4%)。男性は「配偶者」が79.7%と特に高くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「配偶者」が低く、「同居の子ども」、「別居の子ども」が高い傾向にある。

図表6(3)病気のときに看病や世話をしてくれる人



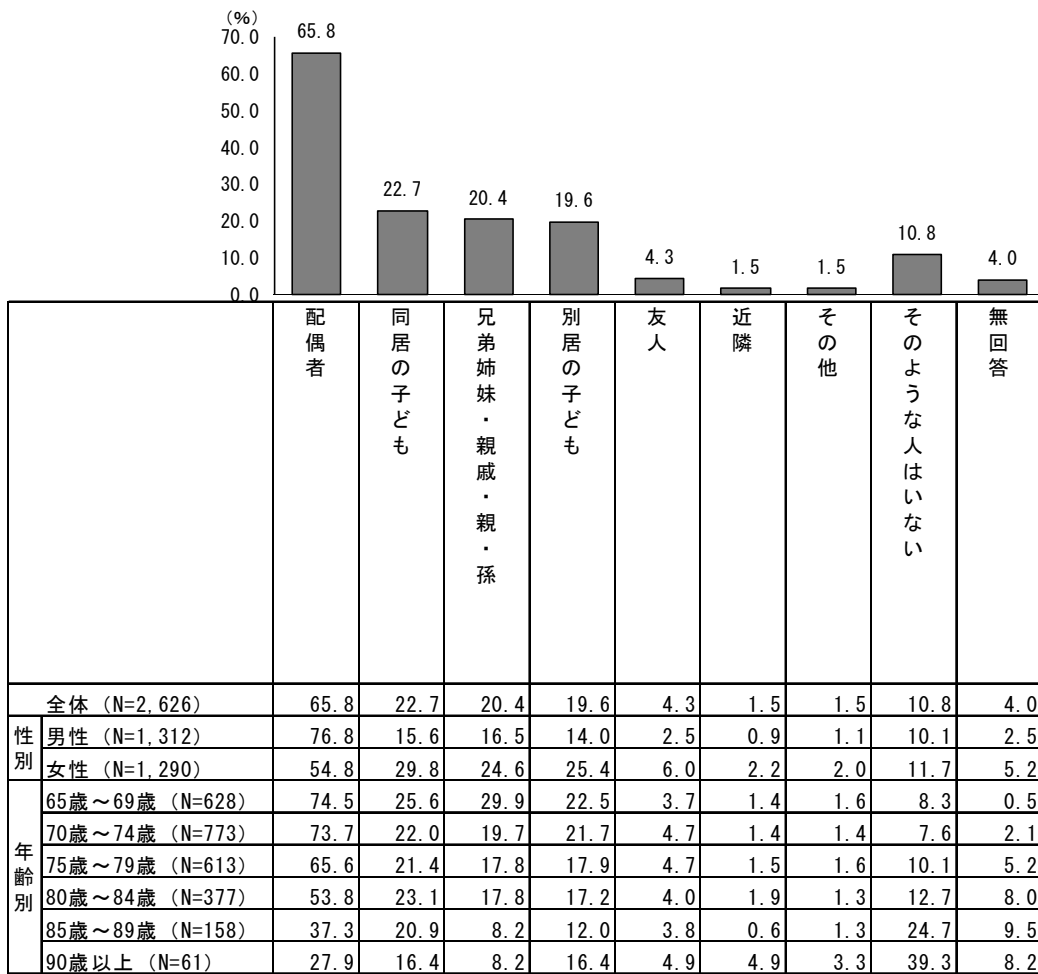
問6 (4) 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人はどなたですか。(いくつでも)

看病や世話をしてあげる人についてみると、「配偶者」が65.8%と最も高く、次いで「同居の子ども」(22.7%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(20.4%)の順となっている。

男女別にみると、女性は「配偶者」を除くすべてで男性と比べて高くなっている(最も高いのは「配偶者」の54.8%)。男性は「配偶者」が76.8%と特に高くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「配偶者」が低く、「そんな人はいない」が高い傾向にある。

図表6(4)看病や世話をしてあげる人



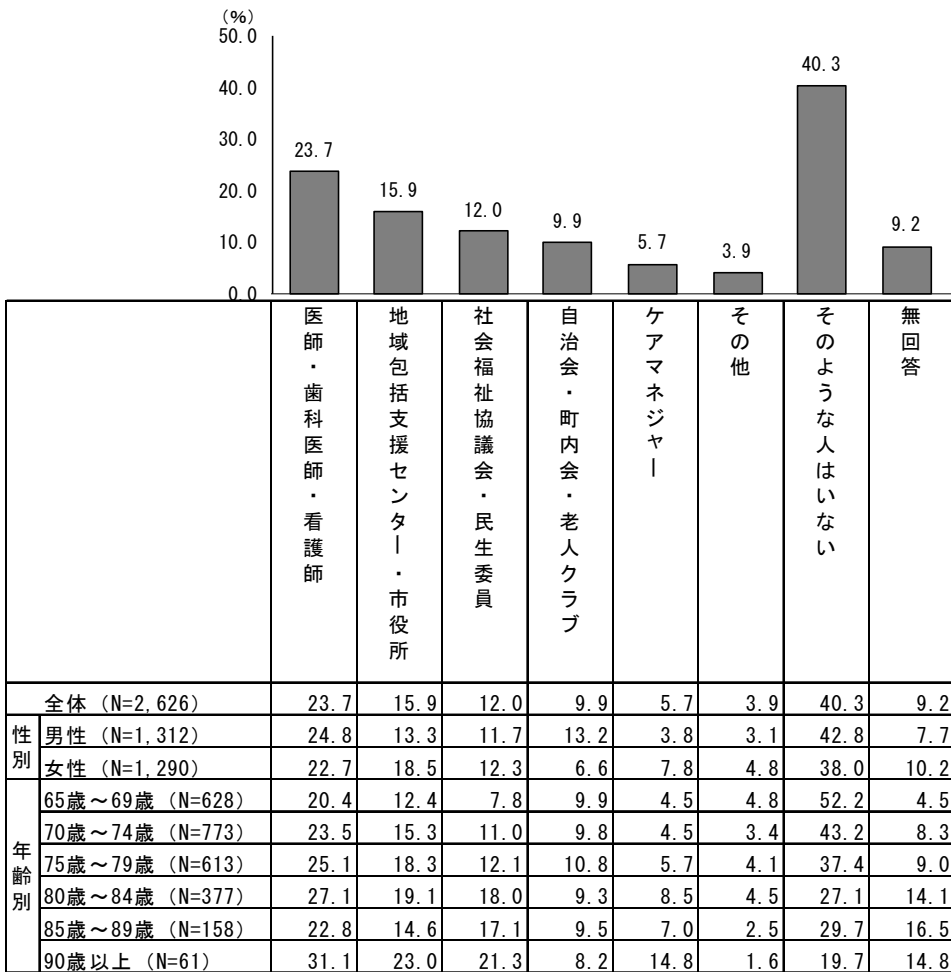
問6 (5) 家族や友人・以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(いくつでも)

家族や友人以外で相談する相手についてみると、「そのような人はいない」が40.3%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」(23.7%)、「地域包括支援センター・市役所」(15.9%)の順となっている。

男女別にみると、男性は「そのような人はいない」、「自治会・町内会・老人クラブ」が女性と比べて高く、女性は「地域包括支援センター・市役所」、「ケアマネジャー」が男性と比べて高くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「そのような人はいない」が低い傾向にあり、「自治会・町内会・老人クラブ」、「その他」を除くすべてが高い傾向にある。

図表6(5)相談相手(家族・友人以外)



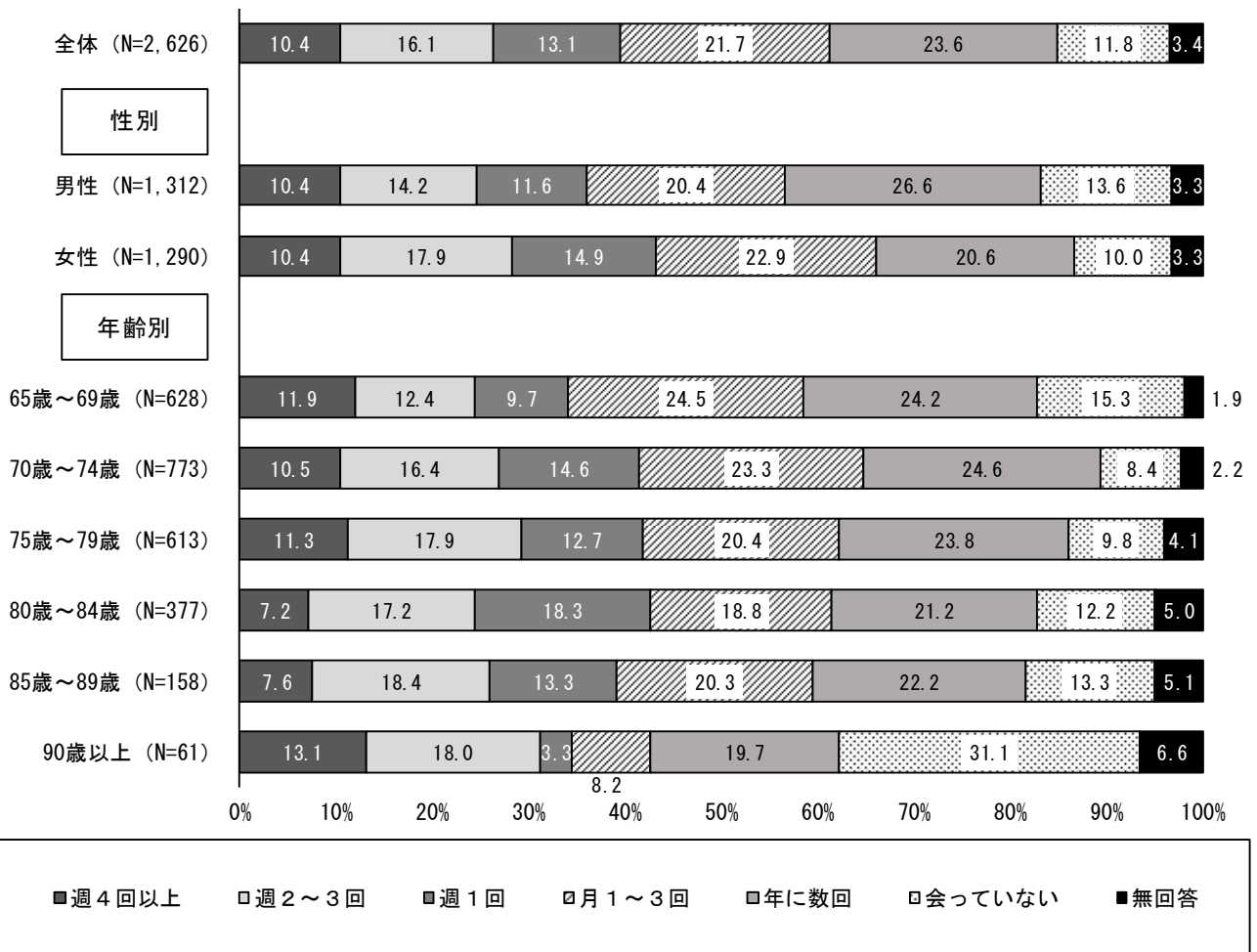
問6 (6) 友人・知人と会う頻度はどのくらいですか。

友人・知人に会う頻度についてみると、「年に数回」が23.6%と最も高く、次いで「月1～3回」(21.7%)、「週2～3回」(16.1%)の順となっている。

男女別にみると、男性は「年に数回」が26.6%と女性と比べて高くなっている。

年齢別にみると、70歳以上では年代が高いほど「会っていない」が高い傾向にあり、「90歳以上」は31.1%と他の年代と比べて特に高くなっている。

図表6(6)友人・知人に会う頻度



7 健康について

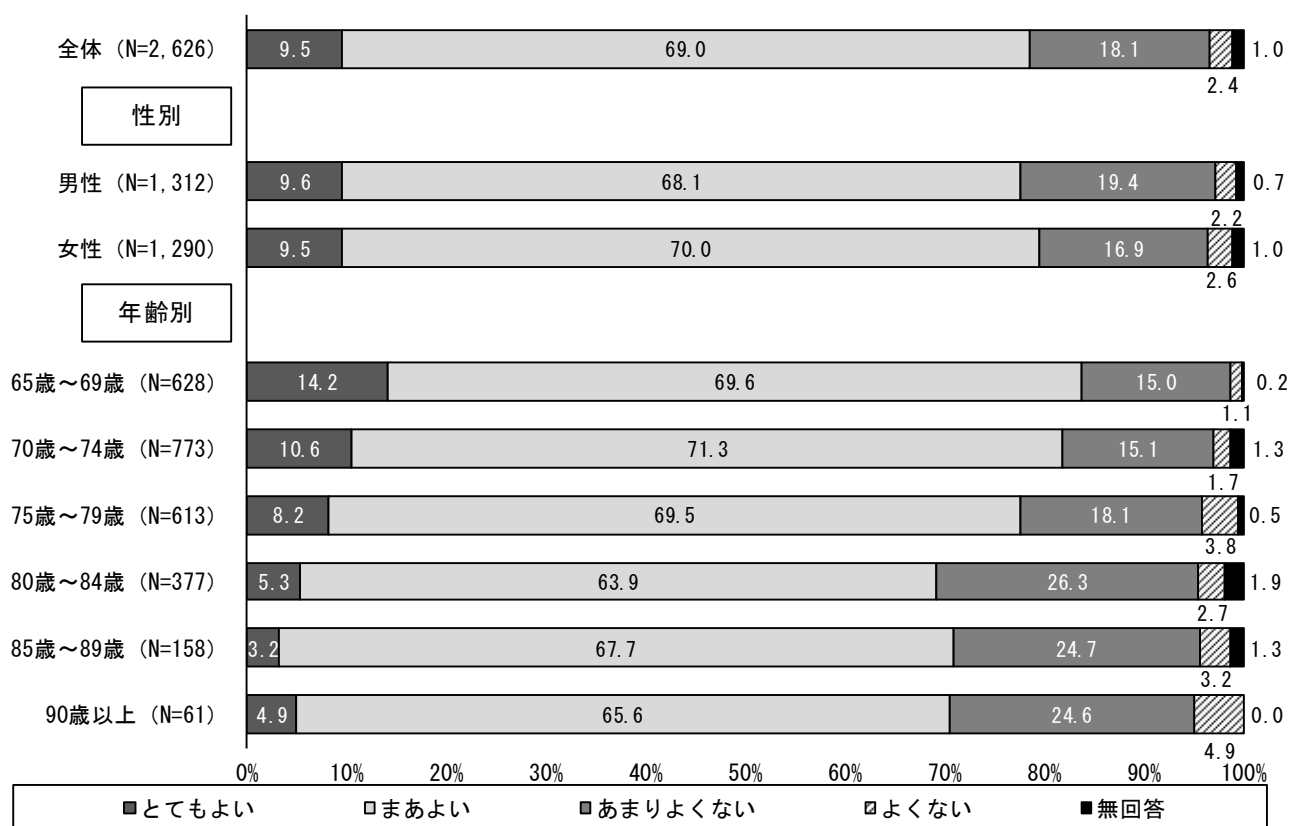
問7 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。

現在の健康状態についてみると、「とてもよい」が9.5%、「まあよい」が69.0%、「あまりよくない」が18.1%、「よくない」が2.4%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が高いほど「よくない」が高い傾向にある。『よい(「とてもよい」と「まあよい」を合算した割合)』は85歳未満では年代が高いほど低くなるが、以降は約7割を維持している。

図表7(1)現在の健康状態



問7 (2) あなたは現在どの程度幸せですか。

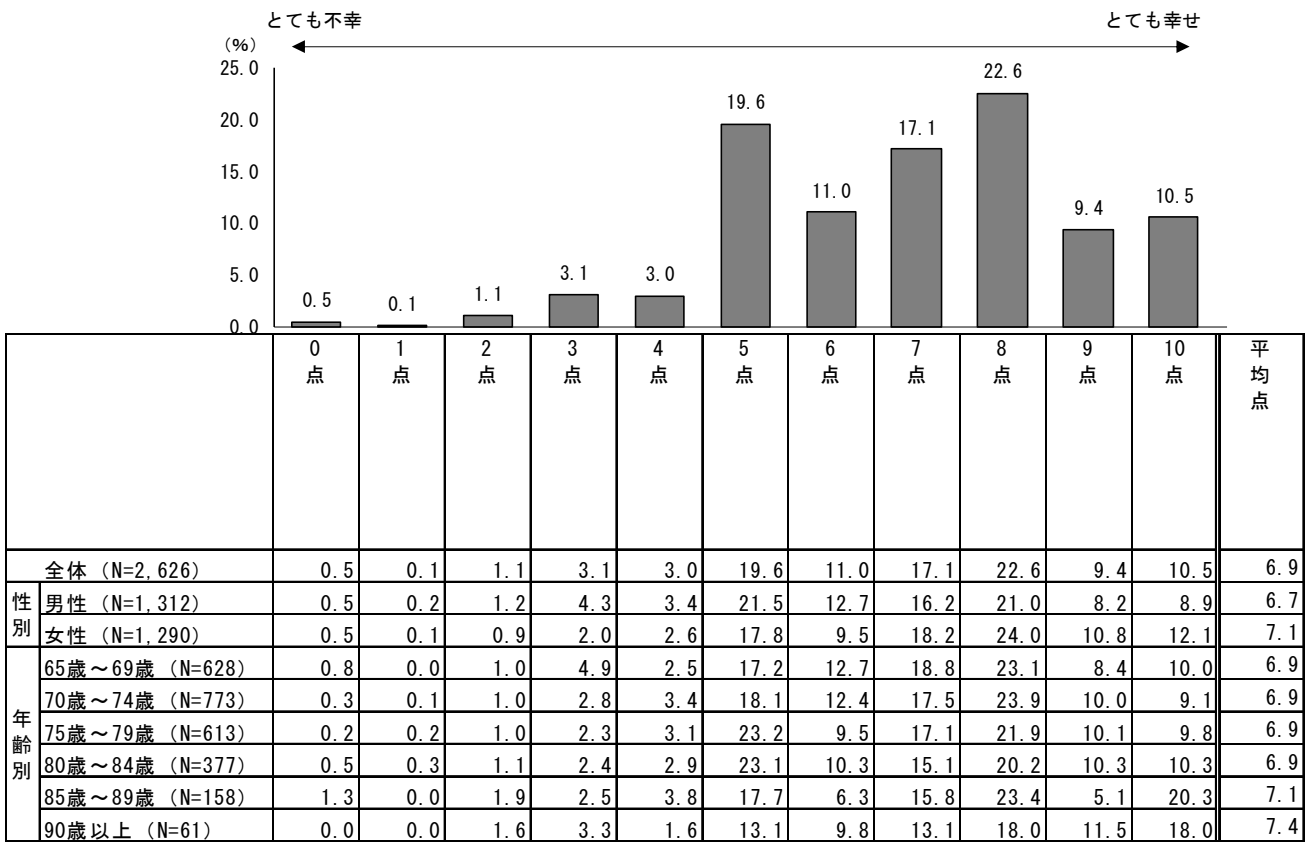
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として点数に○をつけてください)。

現在の幸福度についてみると、「8点」が22.6%と最も高く、次いで「5点」(19.6%)、「7点」(17.1%)の順となっており、平均点は6.9点となっている。

男女別にみると、男性は「5点」が21.5%と最も高く(平均点6.7点)、女性は「8点」が最も高くなっている(平均点7.1点)。

年齢別にみると、80歳以上は他の年代と比べて平均点が若干高く、「10点(とても幸せ)」が他の年代と比べて高くなっている。

図表7(2)現在の幸福度



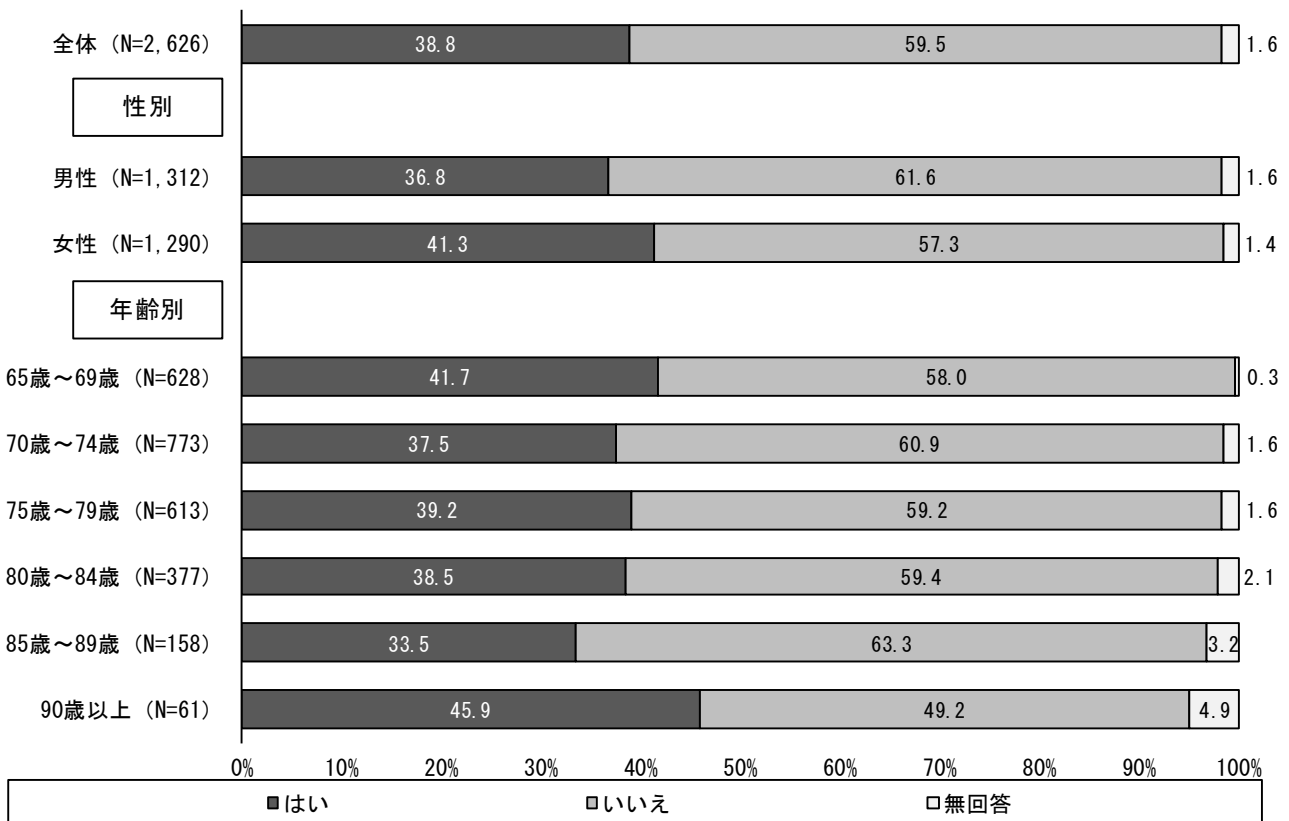
問7 (3) この1か月間、気分が沈んだり、憂鬱になったりすることがありましたか。

最近1か月の間に気分が沈んだり、憂鬱になったりすることがあったかについてみると、「はい(ある)」が38.8%、「いいえ(ない)」が59.5%となっている。

男女別にみると、男性は「はい(ある)」が36.8%と女性と比べて低くなっている。

年齢別にみると、「90歳以上」は「はい(ある)」が他の年代と比べて若干高く、「85歳～89歳」は若干低くなっている。

図表7(3)気分が沈んだり、憂鬱になったりすることの有無(最近1か月)



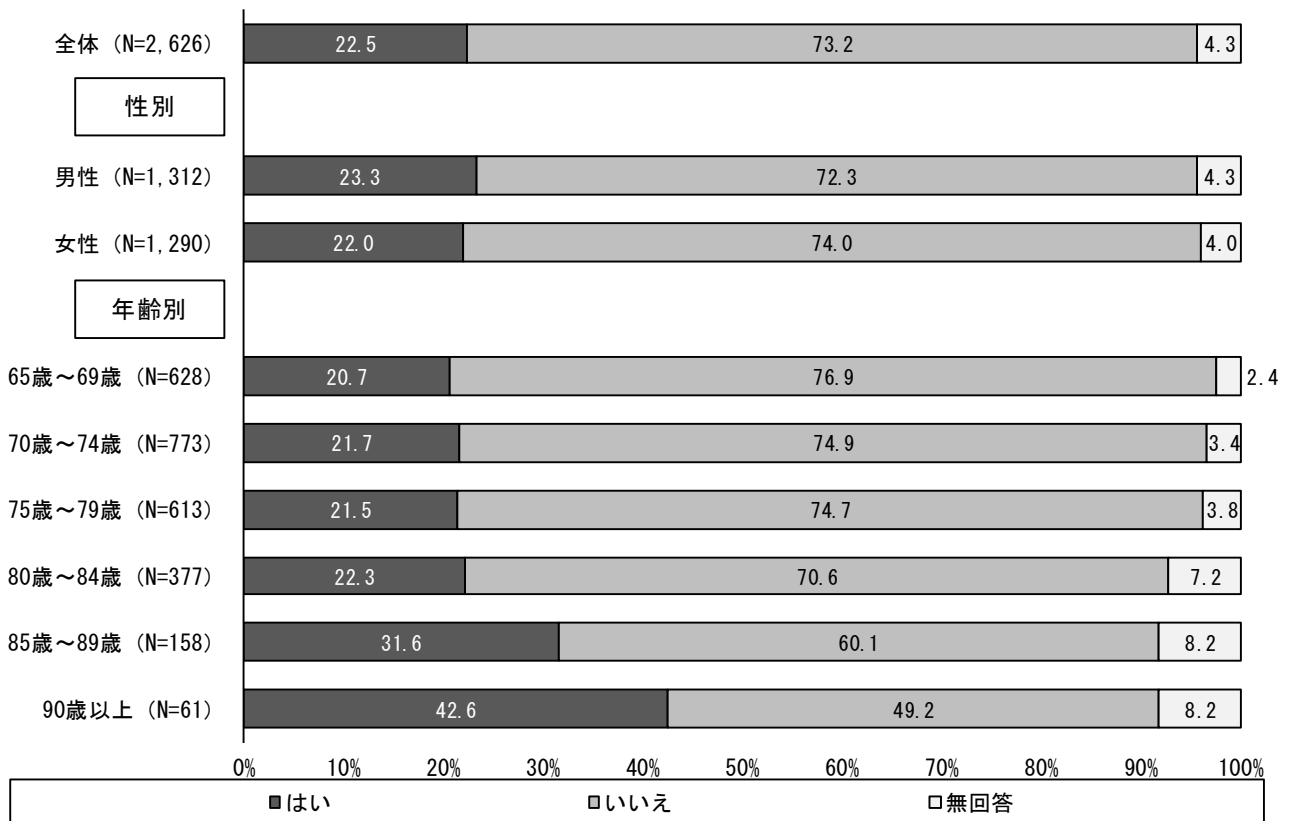
問7(4) この1か月間、どうしても物事に興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがありましたか。

最近1か月の間にどうしても物事に興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがあったかについてみると、「はい(ある)」が22.5%、「いいえ(ない)」が73.2%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、80歳以上は「はい(ある)」が他の年代と比べて高く、「90歳以上」は42.6%と最も高くなっている。

図表7(4)物事に興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じの有無(最近1か月)



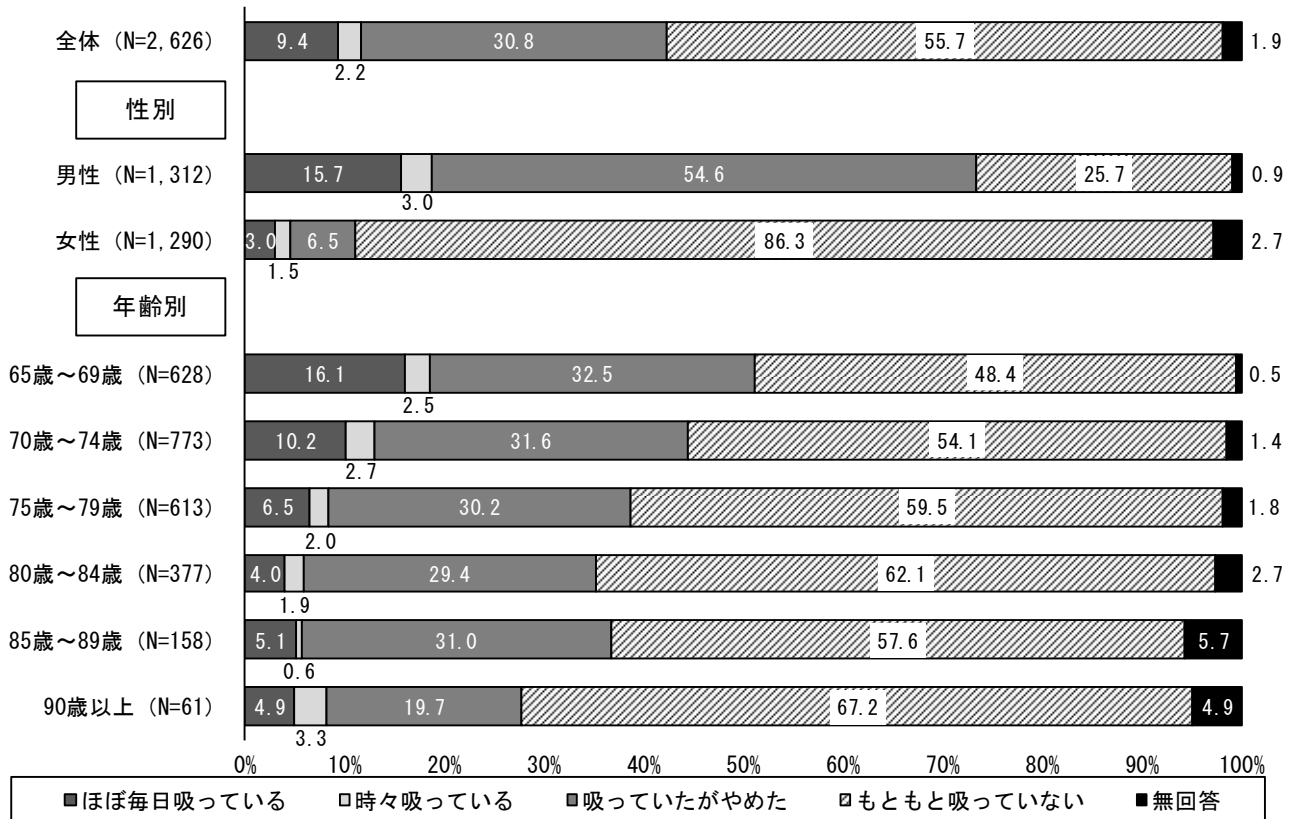
問7 (5) たばこは吸っていますか。

喫煙歴についてみると、「ほぼ毎日吸っている」が9.4%、「時々吸っている」が2.2%「吸っていたがやめた」が30.8%、「もともと吸っていない」が55.7%となっている。

男女別にみると、「もともと吸っていない」は男性が25.7%に対し、女性は86.3%を占めている。

年齢別にみると、年代が高いほど「もともと吸っていない」が高い傾向にある。

図表7(5)喫煙歴



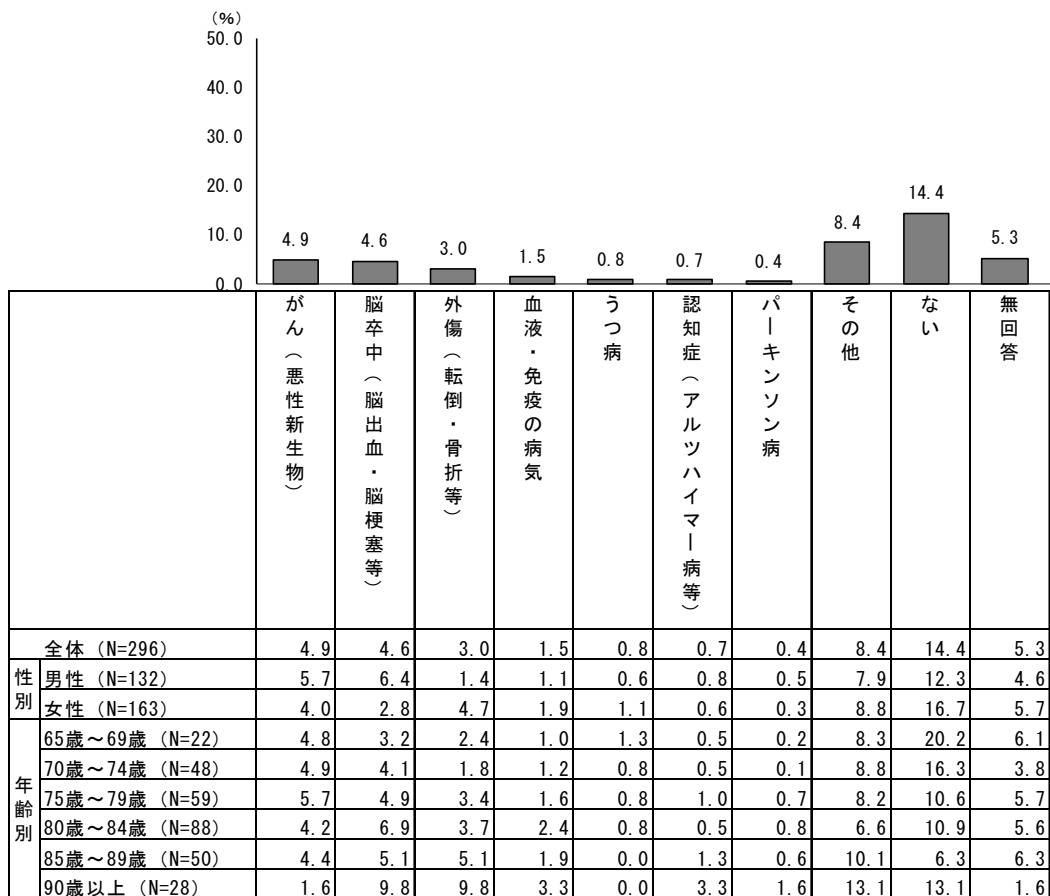
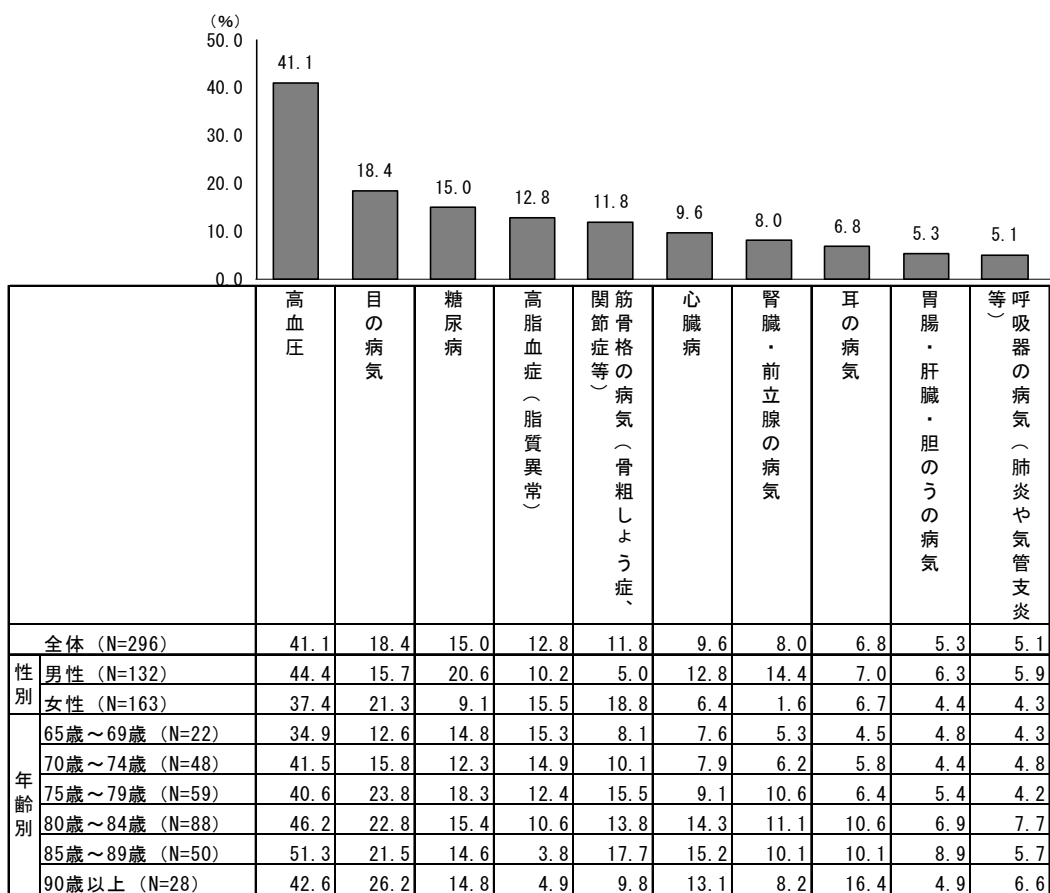
問7 (6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(いくつでも)

現在治療中、または後遺症のある病気の有無についてみると、「高血圧」が41.1%と最も高く、次いで「目の病気」(18.4%)、「糖尿病」(15.0%)、「高脂血症(脂質異常)」(12.8%)の順となっている。一方、「ない」が14.4%となっている。

男女別にみると、男性は「高血圧」、「糖尿病」、「心臓病」、「腎臓・前立腺の病気」が女性と比べて高く、女性は「目の病気」、「高脂血症(脂質異常)」、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」が男性と比べて高くなっている。

年代別にみると、すべての年代で「高血圧」が最も高くなっている。「耳の病気」は年代が高いほど高い傾向にある。

図表7(6)現在治療中、または後遺症のある病気の有無



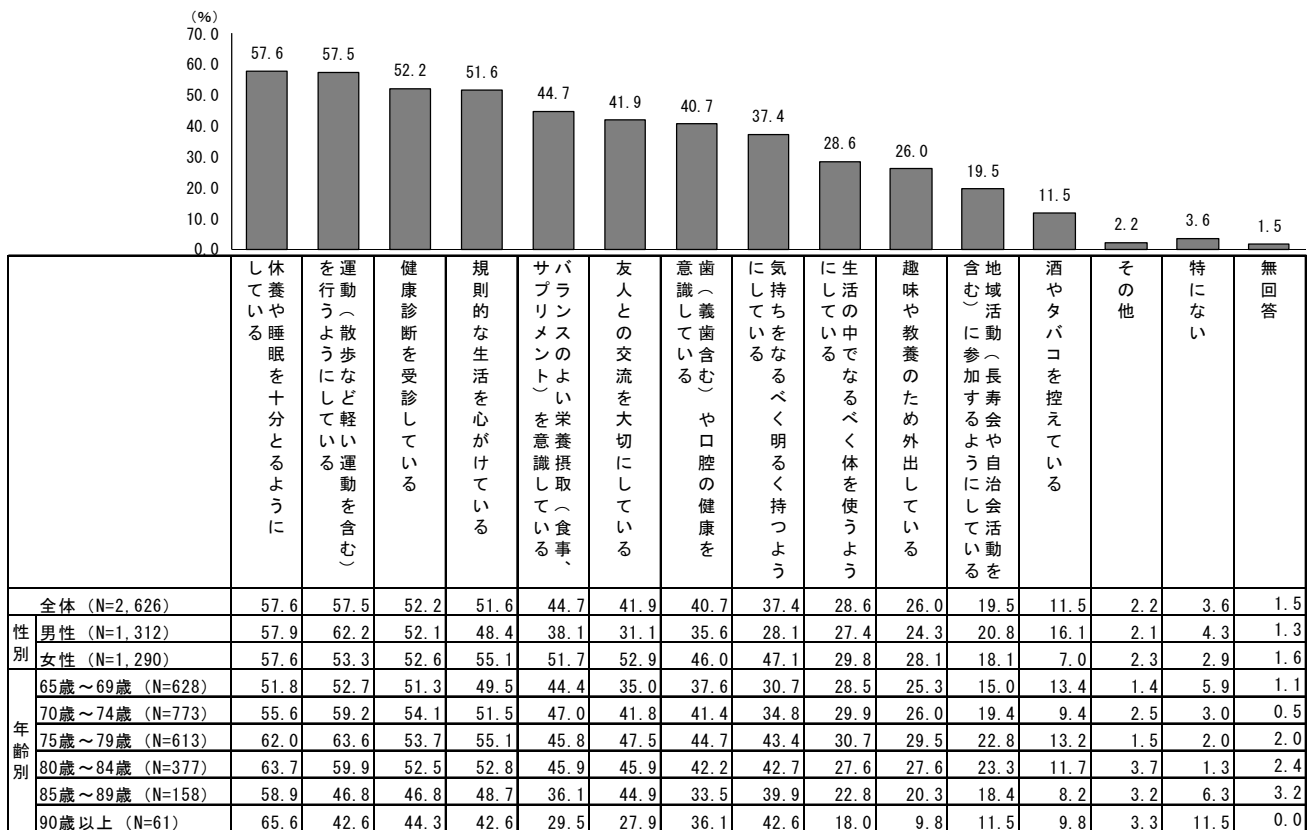
問7 (7) 健康づくりや介護予防のためにどのようなことをしていますか。(いくつでも)

健康づくりや介護予防のための取り組みについてみると、「休養や睡眠を十分とるようにしている」が57.6%と最も高く、次いで「運動(散歩など軽い運動を含む)を行うようにしている」(57.5%)、「健康診断を受診している」(52.2%)、「規則的な生活を心がけている」(51.6%)の順となっている。

男女別にみると、男性は「運動(散歩など軽い運動を含む)を行うようにしている」、「酒やたばこを控えている」が女性と比べて高く、女性は「規則的な生活を心がけている」、「バランスのよい栄養摂取(食事、サプリメント)を意識している」、「友人との交流を大切にしている」、「歯(義歯含む)や口腔の健康を意識している」、「気持ちをなるべく明るく持つようにしている」が男性と比べて高くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「休養や睡眠を十分とるようにしている」が高い傾向にある。

図表7(7)健康づくりや介護予防のための取り組み



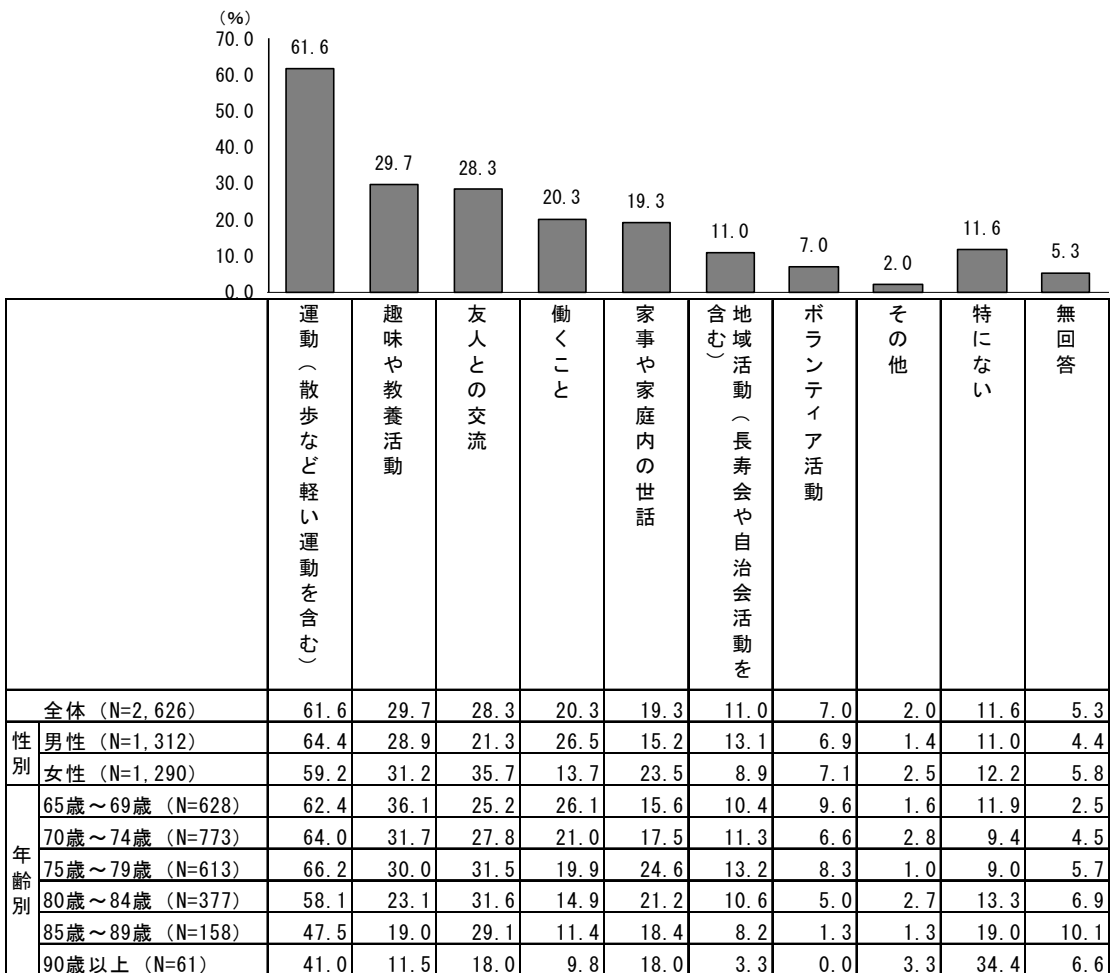
問7 (8) 健康づくりや介護予防のために今後やってみたいことは何ですか。(いくつでも)

健康づくりや介護予防のために今後やってみたいことについてみると、「運動（散歩など軽い運動を含む）」が61.6%と最も高く、次いで「趣味や教養活動」（29.7%）、「友人との交流」（28.3%）の順となっている。

男女別にみると、男性は「運動（散歩など軽い運動を含む）」、「働くこと」、「地域活動（長寿会や自治会活動を含む）」が女性と比べて高く、女性は「友人との交流」、「家事や家庭内の世話」が男性と比べて高くなっている。

年齢別にみると、すべての年代で「運動（散歩など軽い運動を含む）」が最も高くなっている。「90歳以上」は「特にない」が他の年代と比べて特に高くなっている。

図表7(8)健康づくりや介護予防のために今後取り組みたいこと



8 認知症にかかる相談窓口の把握について

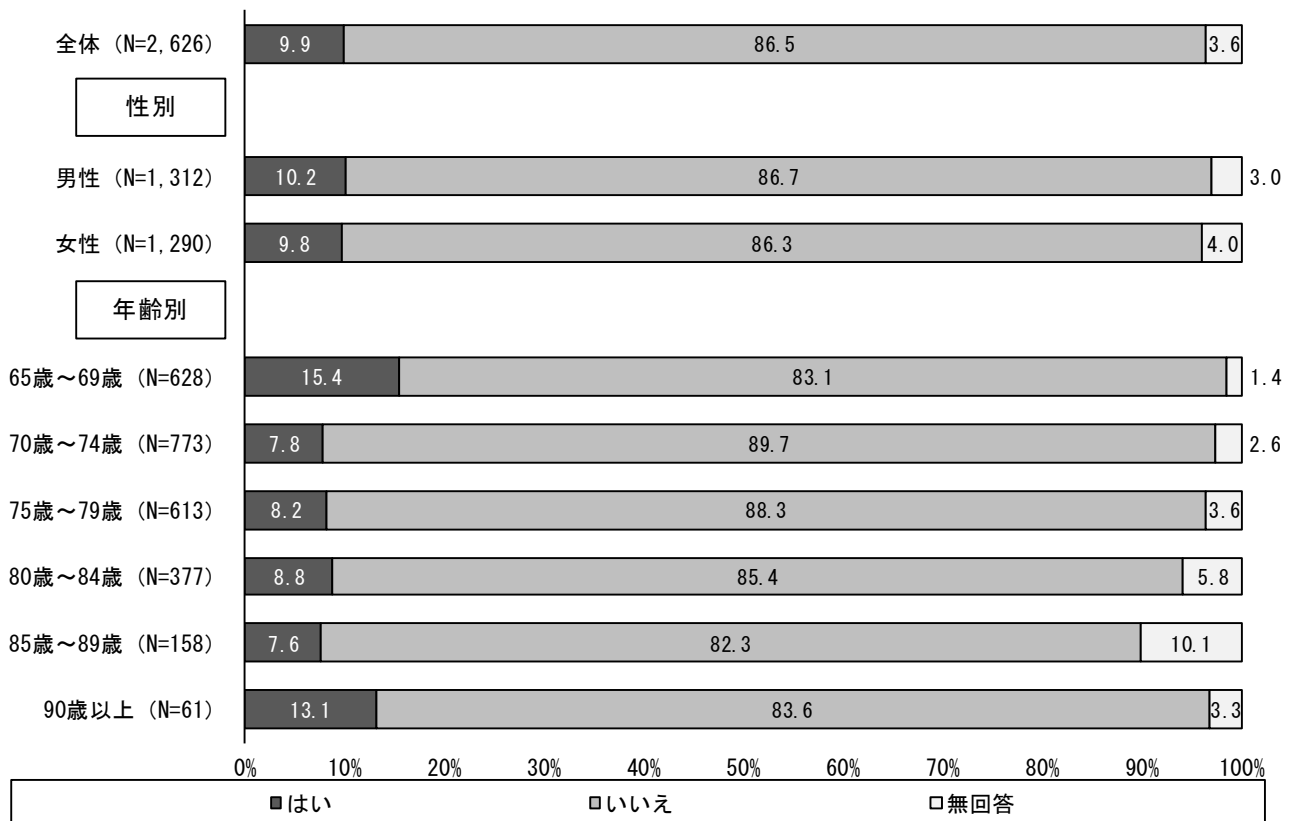
問8 (1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるかについてみると、「はい(いる)」が9.9%、「いいえ(いない)」が86.5%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、「65歳～69歳」、「90歳以上」で「はい(いる)」が他の年代と比べて高くなっている。

図表8(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか



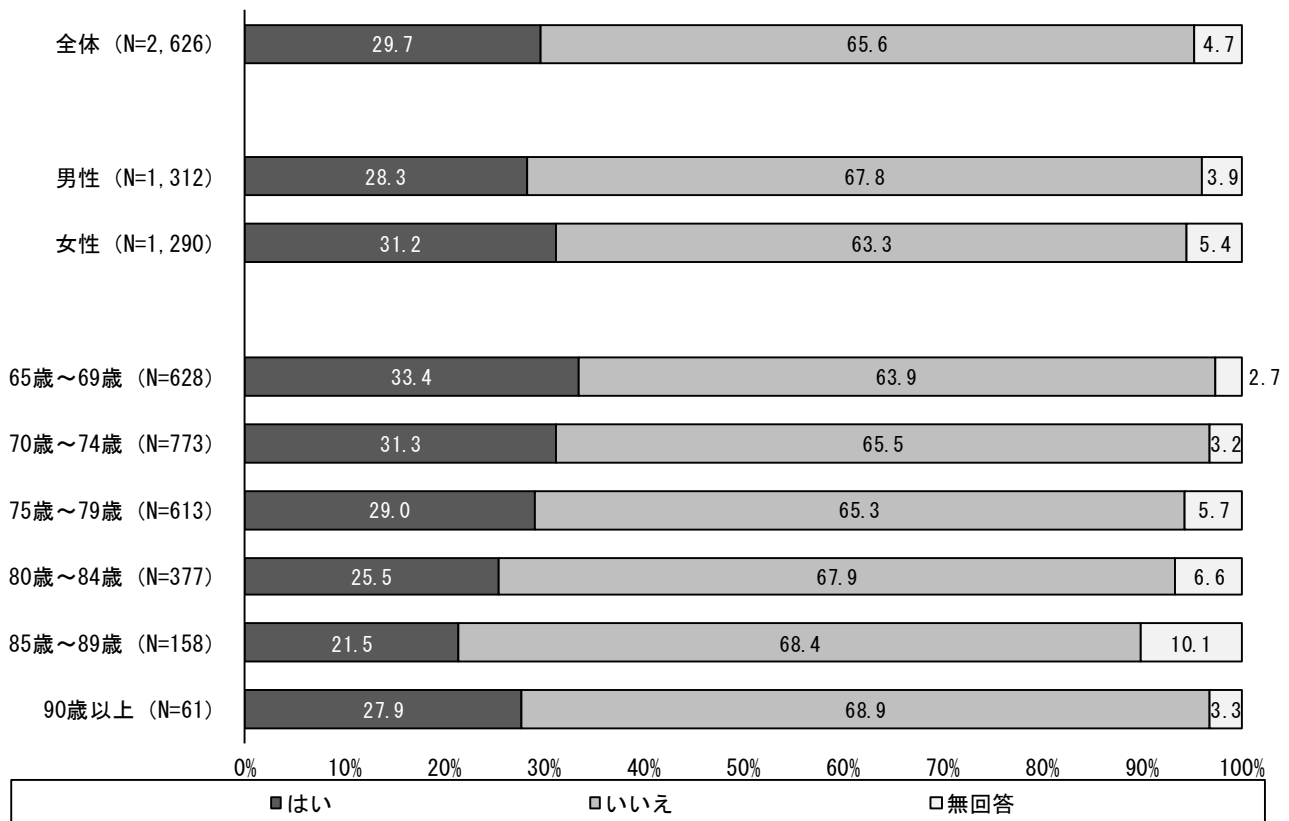
問 8 (2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

認知症に関する相談窓口の認知度についてみると、「はい (知っている)」が 29.7%、「いいえ (知らない)」が 65.6%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年代が高いほど「はい (知っている)」は低い傾向にあるが、「90 歳以上」は 27.9%と認知度が若干高くなっている。

図表8(2) 認知症に関する相談窓口の認知度



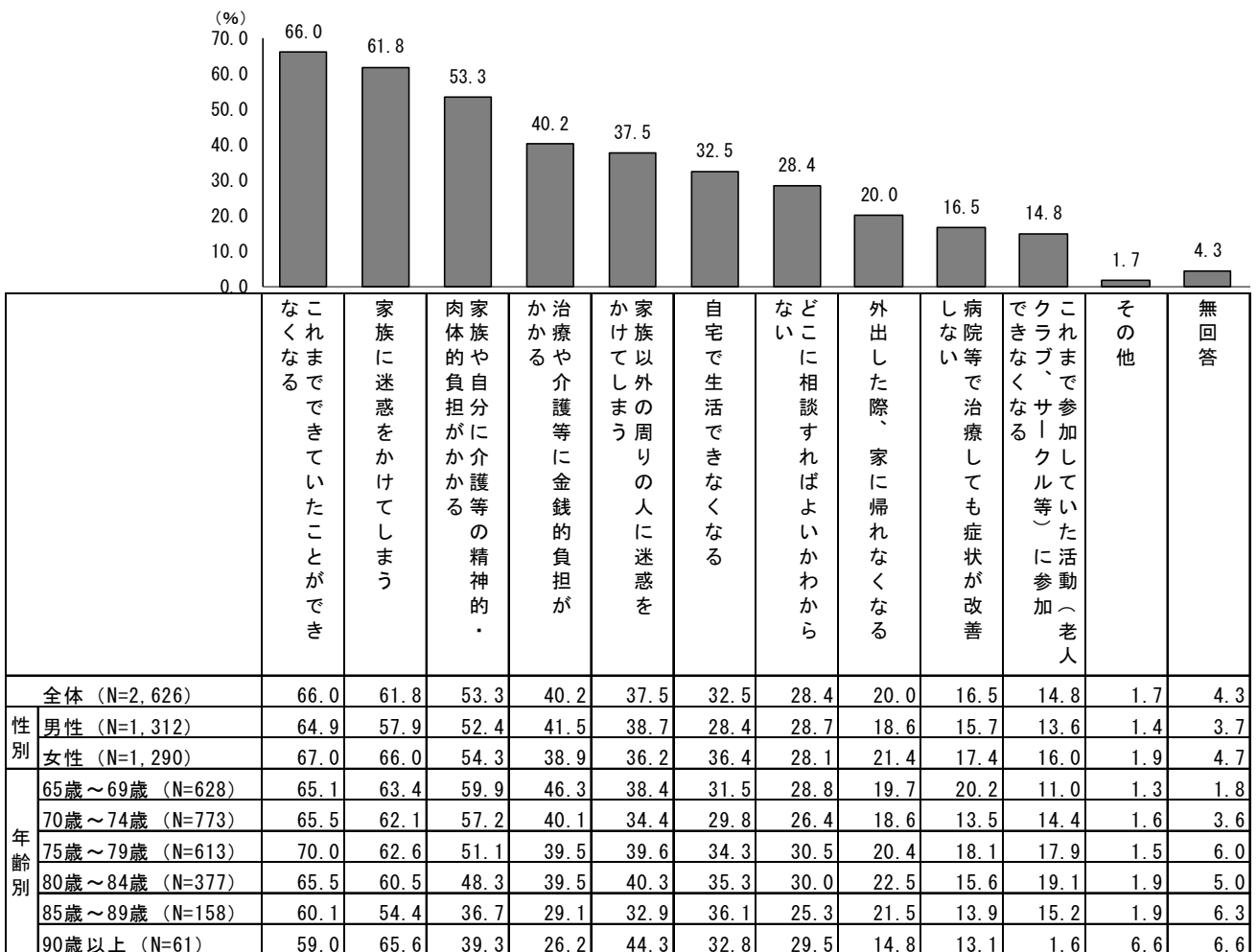
問8 (3) もし、あなたや家族が認知症になったら、どのようなことが不安ですか。
(いくつでも)

もし、本人や家族が認知症になった時の不安についてみると、「これまでできていたことができなくなる」が66.0%と最も高く、次いで「家族に迷惑をかけてしまう」(61.8%)、「家族や自分に介護等の精神的・肉体的負担がかかる」(53.3%)の順となっている。

男女別にみると、女性は「家族に迷惑をかけてしまう」、「自宅で生活できなくなる」が男性と比べて高くなっている。

年齢別にみると、すべての年代の上位2項目は「これまでできていたことができなくなる」、「家族に迷惑をかけてしまう」となっており、「90歳以上」のみが「家族に迷惑をかけてしまう」が最も高くなっている。「治療や介護等に金銭的負担がかかる」は年代が高いほど、低くなっている。

図表8(3)本人や家族が認知症になった時の不安



問8 (4) 認知症の人が住み慣れた地域で暮らしていくためにはどのような支援が必要だとおもいますか。(3つまで○印を付けてください)

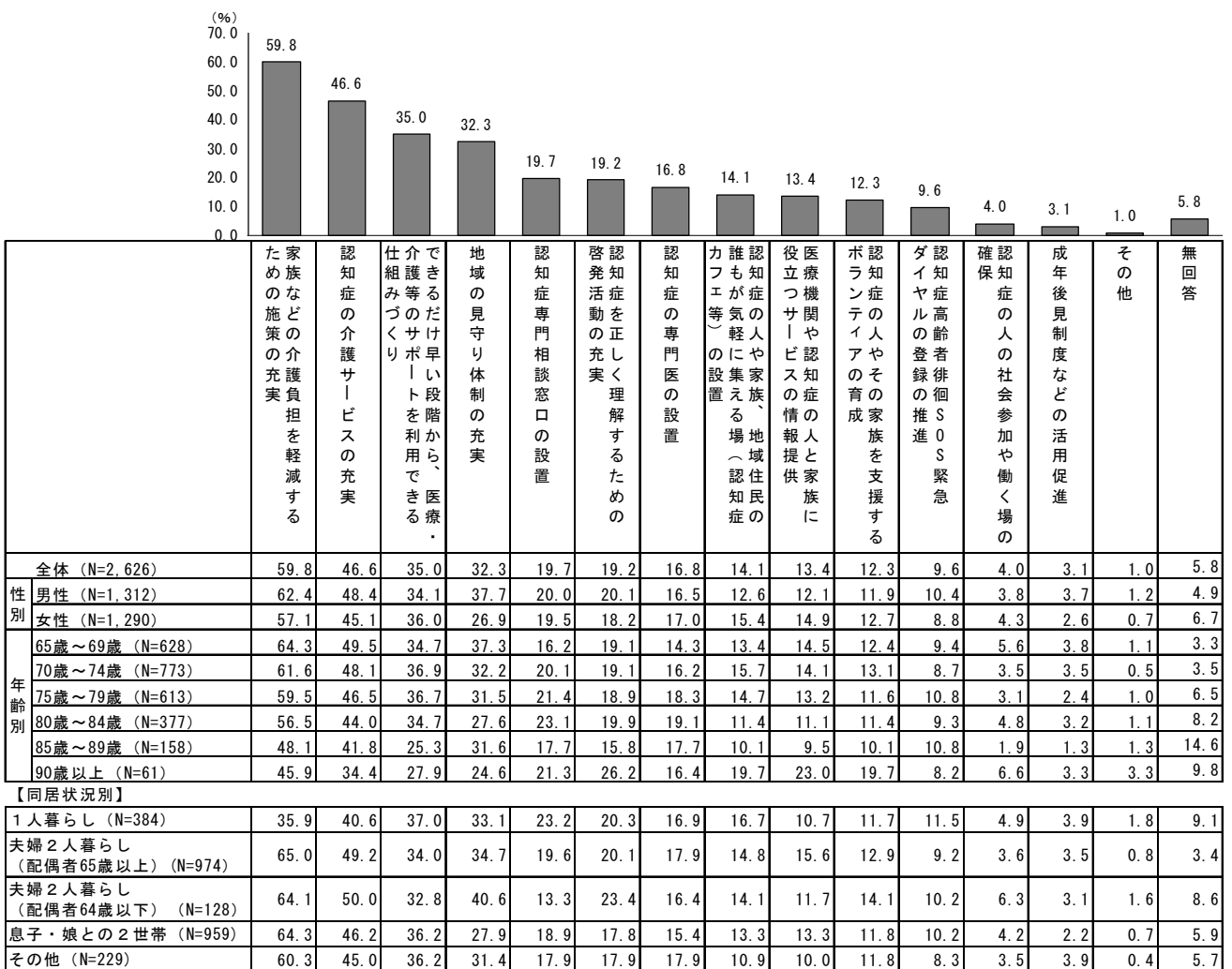
認知症の人が住み慣れた地域で暮らしていくために必要な支援についてみると、「家族などの介護負担を軽減するための施策の充実」が59.8%と最も高く、次いで「認知症の介護サービスの充実」(46.6%)、「できるだけ早い段階から、医療・介護等のサポートを利用できる仕組みづくり」(35.0%)の順となっています。

男女別にみると、男性は「地域の見守り体制の充実」が女性と比べて高くなっている。

年齢別にみると、すべての年代で「家族などの介護負担を軽減するための施策の充実」が最も高くなっているが、年代が高いほど低くなっている。

同居状況別にみると、「1人暮らし」は他の同居状況に比べて「家族などの介護負担を軽減するための施策の充実」が特に低くなっている。

図表8(4) 認知症の人が住み慣れた地域で暮らしていくために必要な支援



9 高齢者福祉について

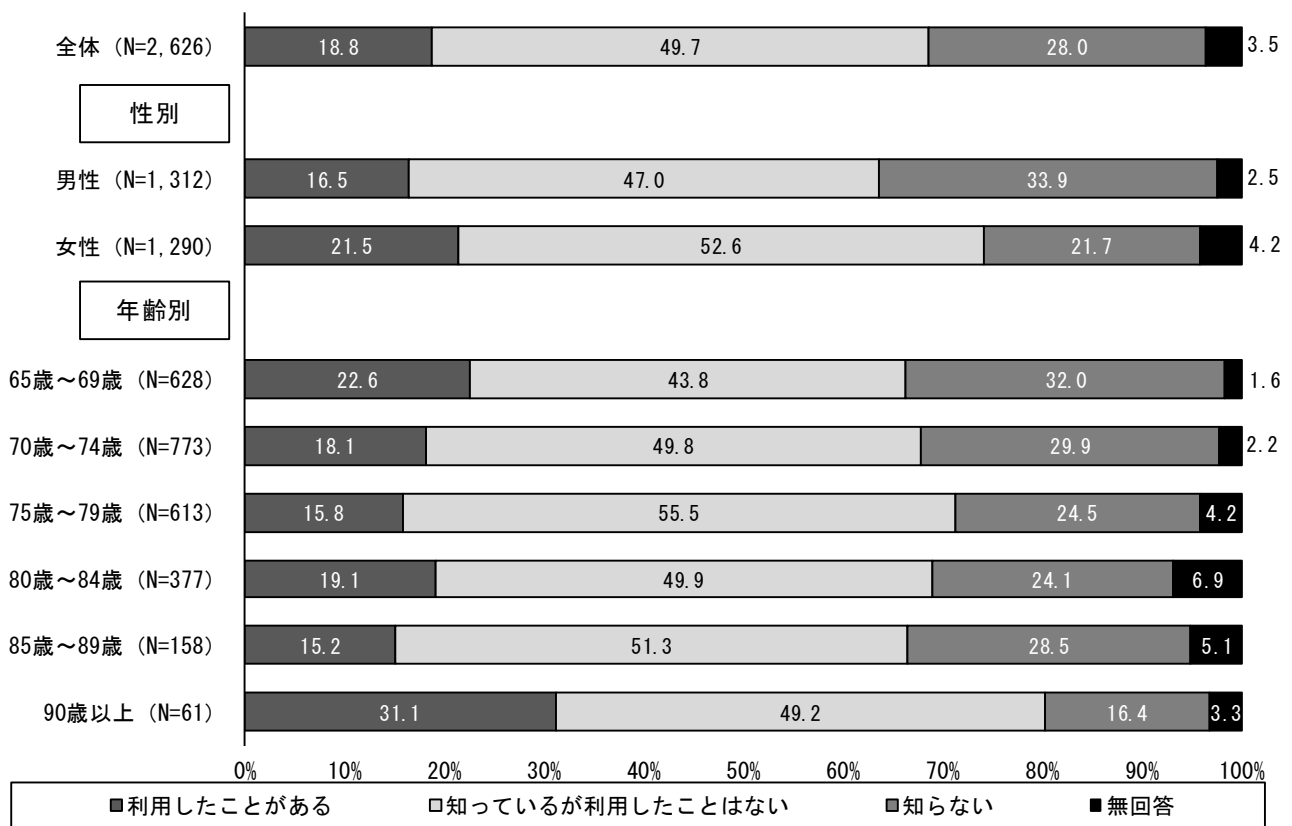
問9 (1) 身近な地域で総合的な相談ができる機関として、地域包括支援センターを知っていますか、また、利用したことがありますか。

地域包括支援センターの認知度と利用経験についてみると、「利用したことがある」が18.8%、「知っているが利用したことはない」が49.7%、「知らない」が28.0%となっている。

男女別にみると、女性は「利用したことがある」、「知っているが利用したことはない」が男性と比べて高く、認知度は女性の方が高くなっている。

年齢別にみると、「90歳以上」は「利用したことがある」が他の年代と比べて高くなっている。

図表9(1) 地域包括支援センターの認知度と利用経験



問9 (2) 介護を受けながら生活していくときに、どの生活が望ましいと思いますか。(いくつでも)

介護を受けながらの生活に対する希望についてみると、「在宅でヘルパーによる訪問介護、日帰りで施設に通うデイサービス、短期間だけ施設に宿泊するショートステイなどのサービスを活用しながら暮らしたい」が35.8%と最も高く、次いで「在宅で家族の介護を受けながら暮らしたい」が25.0%、「特別養護老人ホームなどのプライバシーの確保された個室で安心して生活を送りたい」が15.2%の順となっている。

男女別にみると、男性は「在宅で家族の介護を受けながら暮らしたい」が女性と比べて高く、女性は「在宅でヘルパーによる訪問介護、日帰りで施設に通うデイサービス、短期間だけ施設に宿泊するショートステイなどのサービスを活用しながら暮らしたい」が男性と比べて高くなっている。

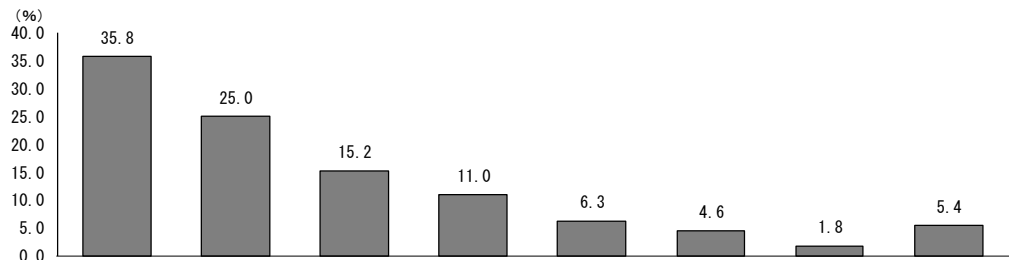
年齢別にみると、年代が高いほど「在宅で家族の介護を受けながら暮らしたい」が高くなっている。

同居状況別にみると、「1人暮らし」は他の同居状況と比べて「在宅で家族の介護を受けながら暮らしたい」が低く、「特別養護老人ホームなどのプライバシーの確保された個室で安心して生活を送りたい」が高くなっている。

要介護認定の状況別にみると、「事業対象者」は他の要介護認定の状況と比べて「在宅でヘルパーによる訪問介護、日帰りで施設に通うデイサービス、短期間だけ施設に宿泊するショートステイなどのサービスを活用しながら暮らしたい」、「特別養護老人ホームなどのプライバシーの確保された個室で安心して生活を送りたい」が低くなっている。

介護・介助の必要性別にみると、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」は他の介護・介助の必要性と比べて「在宅でヘルパーによる訪問介護、日帰りで施設に通うデイサービス、短期間だけ施設に宿泊するショートステイなどのサービスを活用しながら暮らしたい」が低くなっている。

図表9(2)介護を受けながらの生活に対する希望



	在宅でヘルパーによる訪問介護、日帰り施設で生活しながら暮らしたい	在宅で家族の介護を受けながら暮らしたい	特別養護老人ホームなどのプライバシーの確保された個室で安心して生活を送りたい	自宅の近くにある小規模なグループホーム（認知症対応の施設）で安心して生活を送りたい	特別養護老人ホームなどで安心して生活を送りたい	有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などで暮らしたい	その他	無回答
全体 (N=2,626)	35.8	25.0	15.2	11.0	6.3	4.6	1.8	5.4
性別								
男性 (N=1,312)	33.2	31.7	15.6	10.0	5.7	4.2	1.7	4.6
女性 (N=1,290)	38.7	18.1	15.0	12.1	6.9	5.0	1.9	6.0
年齢別								
65歳～69歳 (N=628)	37.9	21.7	18.6	9.9	7.2	5.1	1.4	3.3
70歳～74歳 (N=773)	36.7	22.5	15.5	12.3	6.2	4.8	1.7	4.1
75歳～79歳 (N=613)	36.9	23.3	14.4	12.4	6.7	4.6	2.6	6.2
80歳～84歳 (N=377)	32.6	30.8	12.7	9.8	3.7	3.7	0.8	8.0
85歳～89歳 (N=158)	31.0	34.8	12.7	9.5	7.6	3.2	1.9	8.2
90歳以上 (N=61)	26.2	41.0	8.2	8.2	9.8	4.9	4.9	8.2
同居状況別								
1人暮らし (N=384)	34.6	10.7	23.4	10.9	8.3	6.3	3.6	7.0
夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）(N=974)	37.4	28.1	15.8	10.3	5.4	4.4	1.0	3.4
夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）(N=128)	36.7	30.5	14.1	7.8	7.8	5.5	0.0	3.1
息子・娘との2世帯 (N=959)	35.8	27.3	11.8	11.7	5.9	4.3	1.8	5.9
その他 (N=229)	35.4	20.5	14.0	11.8	7.0	4.4	3.5	7.4
【要介護認定の状況別】								
受けていない (N=2,443)	35.8	24.5	15.5	11.4	6.4	4.5	1.8	5.1
事業対象者 (N=7)	28.6	28.6	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3
要支援1 (N=51)	41.2	31.4	5.9	5.9	5.9	3.9	0.0	11.8
要支援2 (N=49)	40.8	22.4	14.3	2.0	6.1	12.2	6.1	4.1
【介護・介助の必要性別】								
介護・介助は必要ない (N=2,247)	36.4	24.7	15.5	11.0	6.3	4.6	1.8	4.6
何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない (N=197)	29.9	27.9	14.7	12.2	9.1	5.6	0.5	9.6
現在、何らかの介護を受けている (N=99)	42.4	26.3	10.1	10.1	3.0	2.0	4.0	6.1

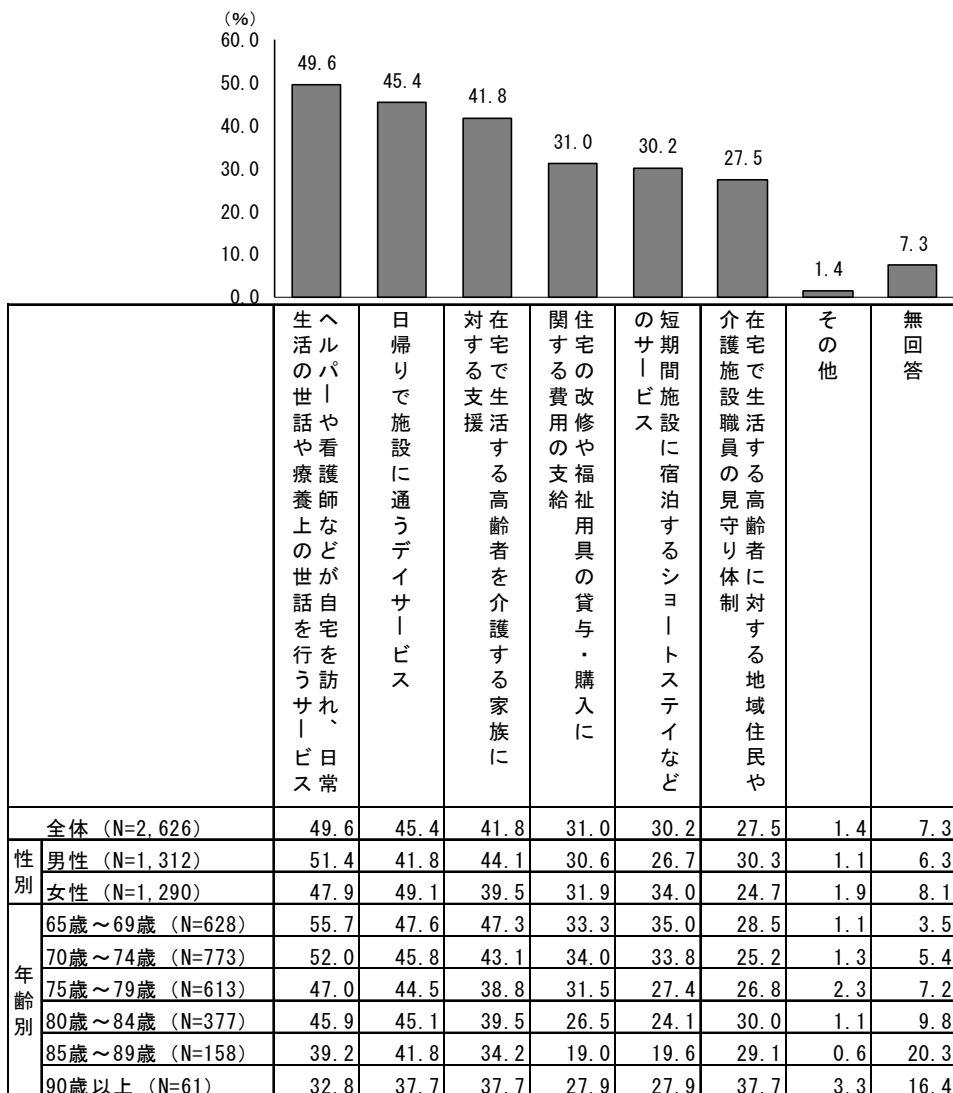
問9 (3) 介護サービスを受けながら自宅で生活し続けるために必要なことは何だと思いますか。
(いくつでも)

介護サービスを受けながら自宅で生活し続けるために必要なことについてみると、「ヘルパーや看護師などが自宅を訪れ、日常生活の世話や療養上の世話を行うサービス」が49.6%と最も高く、次いで「日帰りで施設に通うデイサービス」(45.4%)、「在宅で生活する高齢者を介護する家族に対する支援」(41.8%)の順となっている。

男女別にみると、男性は「在宅で生活する高齢者に対する地域住民や介護施設職員の見守り体制」が女性と比べて高く、女性は「日帰りで施設に通うデイサービス」、「短期間施設に宿泊するショートステイなどのサービス」が男性と比べて高くなっている。

年齢別にみると、「90歳以上」を除くすべての年代で上位3項目は全体の上位3項目と同様であり、「90歳以上」では「在宅で生活する高齢者に対する地域住民や介護施設職員の見守り体制」が他の年代と比べて高く、最も高くなっている。

図表9(3)-1 介護サービスを受けながら自宅で生活し続けるために必要なこと



図表9(3)-2介護サービスを受けながら自宅で生活し続けるために必要なこと【圏域別】

	在宅で生活する高齢者に対する地域住民や介護施設職員の見守り体制	ヘルパーや看護師などが自宅を訪れ、日常生活の世話や療養上の世話を行うサービス	日帰りで施設に通うデイサービス	短期間施設に宿泊するショートステイなどのサービス	住宅の改修や福祉用具の貸与・購入に関する費用の支給	在宅で生活する高齢者を介護する家族に対する支援	その他	無回答
総曲輪、愛宕、安野屋、八人町、五番町、柳町、清水町、星井町 (N=136)	27.2	50.7	34.6	27.9	23.5	36.0	0.7	9.6
東部、山室 (N=169)	24.3	48.5	43.8	31.4	33.1	42.0	1.2	7.1
西田地方、堀川、光陽 (N=141)	27.7	52.5	46.1	27.0	27.7	42.6	0.0	5.7
堀川南、蜷川 (N=147)	26.5	49.7	46.3	35.4	35.4	42.9	4.1	6.8
奥田、奥田北 (N=136)	32.4	55.9	44.9	30.9	30.1	52.9	1.5	7.4
桜谷、五福、神明 (N=134)	28.4	56.7	47.8	34.3	26.1	40.3	0.7	6.0
岩瀬、荻浦、大広田、浜黒崎 (N=146)	33.6	53.4	45.9	28.1	28.8	37.7	0.0	3.4
針原、豊田 (N=143)	32.2	46.2	46.9	29.4	38.5	49.0	0.7	2.8
広田、新庄、新庄北 (N=139)	19.4	51.8	45.3	25.9	29.5	46.0	1.4	4.3
藤ノ木、山室中部 (N=127)	30.7	53.5	45.7	38.6	32.3	40.9	1.6	2.4
太田、新保、熊野、月岡 (N=151)	25.8	45.7	52.3	29.1	32.5	40.4	1.3	6.0
四方、八幡、草島、倉垣 (N=148)	27.0	52.0	37.8	23.0	31.8	47.3	2.7	8.1
呉羽、長岡、寒江、古沢、老田、池多 (N=144)	31.9	48.6	36.1	31.9	38.2	41.0	0.7	13.2
水橋中部、水橋西部、水橋東部、三郷、上条 (N=151)	24.5	46.4	51.7	31.1	31.8	36.4	2.6	7.9
大沢野地域、細入地域 (N=151)	30.5	49.0	51.0	31.1	31.1	37.1	0.7	11.3
大山地域 (N=141)	29.8	48.2	44.7	31.9	27.7	43.3	0.0	5.0
八尾地域、山田地域 (N=154)	21.4	42.2	51.3	31.2	26.6	39.0	1.9	10.4
婦中地域 (N=144)	22.9	48.6	44.4	29.9	36.1	40.3	4.2	9.7

問9(4) あなたがいつまでも住み慣れた地域で安心して暮らしていくためには、どのような生活支援やサービス等が必要だと思いますか。(特に当てはまるものを3つまで○を付けてください)

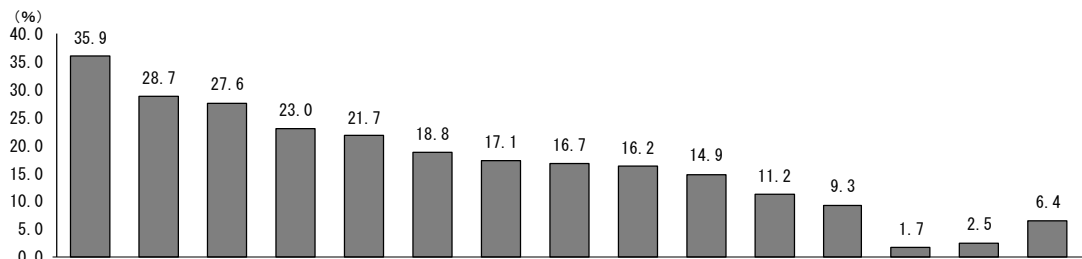
住み慣れた地域で安心して暮らしていくために必要な生活支援やサービスについてみると、「声かけや見守りサービス」が35.9%と最も高く、次いで「買物代行や配達、移動販売」が28.7%、「配食サービス」(27.6%)、「日常の相談相手」(23.0%)、「食事の準備・調理・片付け」(21.7%)の順となっている。

男女別にみると、男性は「食事の準備・調理・片付け」、「掃除・洗濯」が女性と比べて高く、女性は「買物代行や配達、移動販売」が男性と比べて高くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「外出支援(付き添い、送迎)」、「家の中の簡易な修理、電球交換等」は高い傾向にあり、「買物代行や配達、移動販売」、「配食サービス」は低い傾向にある。

同居状況別にみると、すべての同居状況で「声かけや見守りサービス」が最も高くなっている。「1人暮らし」は他の同居状況に比べて「家の中の簡易な修理、電球交換等」が高くなっている。

図表9(4)-1 住み慣れた地域で安心して暮らしていくために必要な生活支援やサービス



	声かけや見守りサービス	買物代行や配達、移動販売	配食サービス	日常の相談相手	食事の準備・調理・片付け	外出支援(付き添い、送迎)	除雪	草取り・庭木の手入れ	掃除・洗濯	ゴミ出し(分別、資源回収含む)	地域での集いの場(サロン、サークル等)	家の中の簡易な修理、電球交換等	その他	支援は必要ない	無回答
全体 (N=2,626)	35.9	28.7	27.6	23.0	21.7	18.8	17.1	16.7	16.2	14.9	11.2	9.3	1.7	2.5	6.4
性別															
男性 (N=1,312)	36.1	23.2	26.9	24.4	27.4	16.7	17.9	17.4	19.3	13.6	10.7	7.6	1.4	3.0	6.2
女性 (N=1,290)	35.7	34.7	28.4	21.6	16.0	21.2	16.4	16.0	13.0	16.3	11.6	11.1	2.0	2.0	6.4
年齢別															
65歳～69歳 (N=628)	33.9	35.0	29.5	23.9	20.1	21.3	16.9	14.8	17.8	15.0	9.6	7.3	1.9	3.0	4.3
70歳～74歳 (N=773)	34.7	29.1	30.5	23.0	23.8	17.9	16.8	18.2	16.3	15.9	13.1	9.6	1.9	2.2	4.1
75歳～79歳 (N=613)	39.5	30.0	24.1	24.1	24.0	16.3	17.0	15.8	15.5	14.4	11.7	9.6	1.8	2.3	6.9
80歳～84歳 (N=377)	36.6	24.1	28.4	21.0	18.6	19.6	17.8	17.2	14.1	15.4	10.3	10.9	0.5	2.7	8.8
85歳～89歳 (N=158)	32.9	13.9	23.4	20.9	15.8	18.4	17.7	19.0	12.0	10.8	7.6	9.5	1.9	3.2	15.2
90歳以上 (N=61)	42.6	16.4	14.8	23.0	21.3	29.5	19.7	16.4	24.6	13.1	11.5	14.8	1.6	1.6	9.8

【同居状況別】

1人暮らし (N=384)	35.7	27.1	27.1	18.5	16.4	13.8	21.1	17.4	17.7	17.2	10.4	15.1	2.1	1.6	6.5
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) (N=974)	36.7	33.3	32.1	21.5	25.4	18.6	18.6	17.2	17.5	17.8	10.6	10.3	1.2	1.6	4.1
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) (N=128)	32.8	31.3	28.9	22.7	21.9	21.9	21.9	12.5	17.2	14.1	5.5	4.7	0.0	3.1	7.0
息子・娘との2世帯 (N=959)	36.5	25.8	23.3	26.3	20.4	21.0	13.5	16.7	14.6	11.1	13.5	6.9	2.3	3.9	7.3
その他 (N=229)	38.9	21.4	24.0	25.8	20.1	19.7	17.0	18.8	17.0	14.0	9.2	8.7	1.7	2.2	7.4

図表9(4)-2住み慣れた地域で安心して暮らしていくために必要な生活支援やサービス【圏域別】

	声かけや見守りサービス	日常の相談相手	食事の準備・調理・片付け	配食サービス	掃除・洗濯	ゴミ出し（分別、資源回収含む）	買物代行や配達、移動販売	外出支援（付き添い、送迎）	草取り・庭木の手入れ	家の中の簡易な修理、電球交換等	除雪	地域での集いの場（サロン、サークル等）	その他	支援は必要ない	無回答
総曲輪、愛宕、安野屋、八人町、五番町、柳町、清水町、星井町 (N=136)	30.1	22.1	28.7	28.7	22.1	18.4	26.5	16.2	7.4	14.7	15.4	8.1	0.7	0.0	8.8
東部、山室 (N=169)	32.0	19.5	20.1	30.2	17.8	23.7	26.0	13.6	20.1	12.4	22.5	11.8	2.4	1.8	2.4
西田地方、堀川、光陽 (N=141)	37.6	18.4	17.7	34.8	21.3	16.3	27.0	19.9	11.3	13.5	16.3	17.0	0.7	2.8	5.7
堀川南、蛸川 (N=147)	30.6	21.1	21.1	29.3	15.0	17.7	23.8	15.0	14.3	9.5	17.7	9.5	2.0	3.4	8.8
奥田、奥田北 (N=136)	36.0	25.0	20.6	22.8	18.4	16.2	25.0	15.4	22.8	12.5	13.2	14.0	2.9	1.5	5.9
桜谷、五福、神明 (N=134)	36.6	22.4	25.4	33.6	14.2	14.2	28.4	17.2	15.7	11.2	17.9	8.2	0.7	4.5	4.5
岩瀬、荻浦、大広田、浜黒崎 (N=146)	37.0	24.0	22.6	26.7	18.5	17.1	34.2	18.5	21.2	9.6	10.3	6.8	0.7	4.1	2.1
針原、豊田 (N=143)	39.2	23.1	28.0	29.4	18.9	14.0	30.1	19.6	14.0	9.8	16.8	9.8	0.7	2.1	5.6
広田、新庄、新庄北 (N=139)	38.1	22.3	20.1	34.5	18.7	15.8	28.1	15.8	13.7	10.8	11.5	6.5	1.4	2.2	5.0
藤ノ木、山室中部 (N=127)	29.9	18.9	19.7	27.6	15.0	14.2	32.3	26.8	18.1	6.3	15.7	10.2	4.7	3.1	3.9
太田、新保、熊野、月岡 (N=151)	38.4	18.5	21.9	27.8	11.9	11.9	21.2	17.2	23.8	6.6	17.2	12.6	3.3	3.3	5.3
四方、八幡、草島、倉垣 (N=148)	41.2	25.0	20.9	22.3	14.2	16.2	31.8	23.0	20.3	8.1	17.6	9.5	0.7	1.4	4.7
呉羽、長岡、寒江、古沢、老田、池多 (N=144)	38.2	27.1	20.8	25.7	18.1	8.3	27.8	19.4	19.4	5.6	17.4	9.7	0.7	2.1	10.4
水橋中部、水橋西部、水橋東部、三郷、上条 (N=151)	33.1	29.8	22.5	28.5	11.3	13.9	23.8	19.9	18.5	7.9	15.2	13.2	2.0	2.6	8.6
大沢野地域、細入地域 (N=151)	41.7	23.2	24.5	23.2	12.6	13.9	37.1	16.6	11.9	10.6	23.8	11.9	2.6	2.0	7.9
大山地域 (N=141)	40.4	24.1	14.9	21.3	12.1	9.2	37.6	19.1	16.3	7.1	22.0	13.5	0.7	1.4	6.4
八尾地域、山田地域 (N=154)	40.9	26.0	17.5	21.4	11.0	14.9	29.9	22.1	8.4	6.5	24.0	17.5	1.9	4.5	9.1
埴中地域 (N=144)	28.5	24.3	22.9	31.9	20.8	9.0	27.8	25.7	24.3	4.2	13.2	11.8	1.4	2.8	6.3

問9 (5) あなたは介護保険制度における費用負担について、どのようにお考えですか。

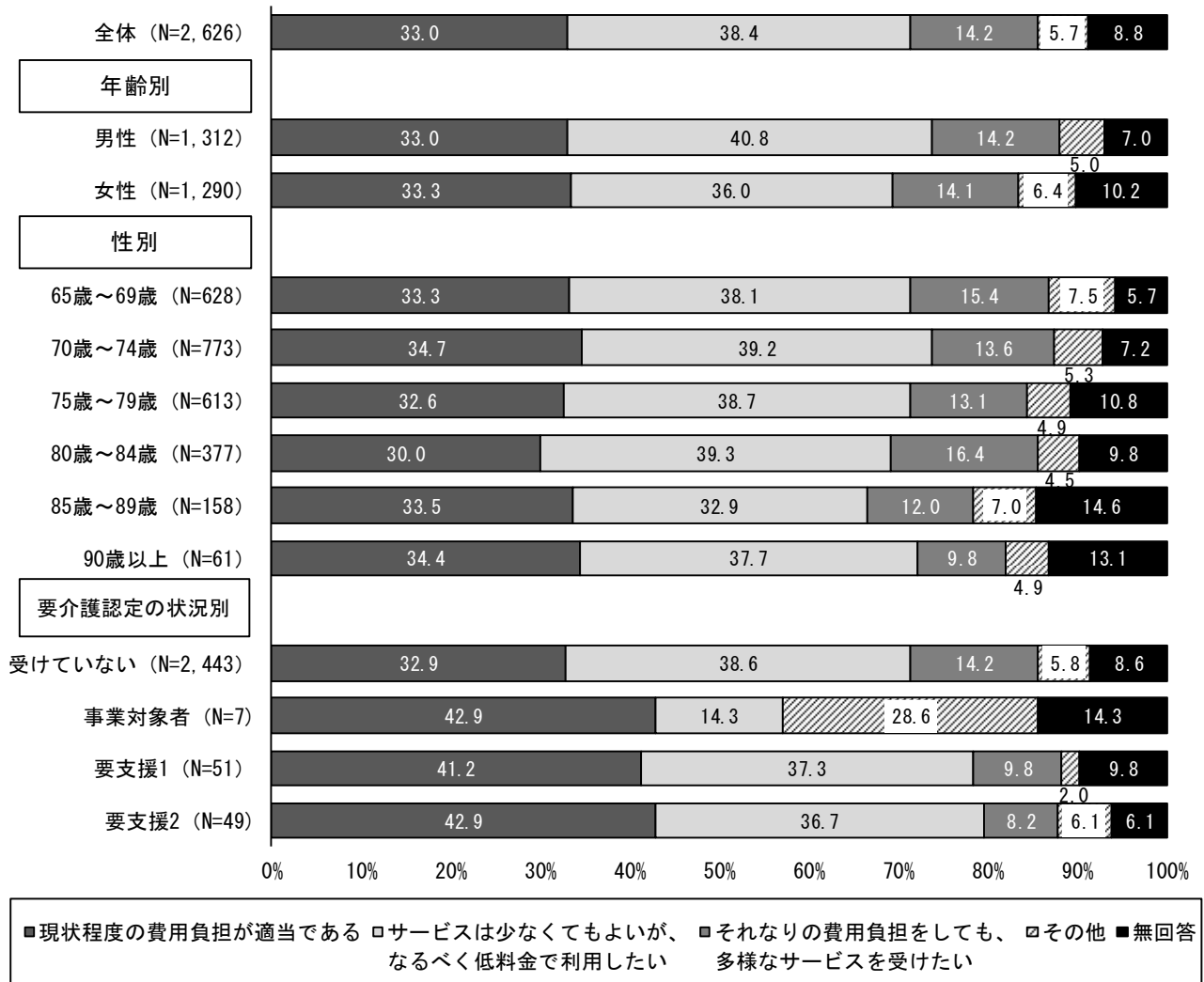
介護保険制度における費用負担についてみると、「現状程度の費用負担が適当である」が33.0%、「サービスは少なくてもよいが、なるべく低料金で利用したい」が38.4%、「それなりの費用負担をしても、多様なサービスを受けたい」が14.2%となっている。

男女別にみると、大きな差はみられないが、男性は「サービスは少なくてもよいが、なるべく低料金で利用したい」が若干高くなっている。

年齢別にみると、大きな差はみられないが、「90歳以上」は「それなりの費用負担をしても、多様なサービスを受けたい」が若干低くなっている。

要介護認定の状況別にみると、「事業対象者」は他の要介護認定の状況に比べて「サービスは少なくてもよいが、なるべく低料金で利用したい」が低く、「それなりの費用負担をしても、多様なサービスを受けたい」が高くなっている。

図表9(5)介護保険制度における費用負担



問9 (6) あなたが身近に整備してほしいと思う介護・福祉施設等はどれですか。(いくつでも)

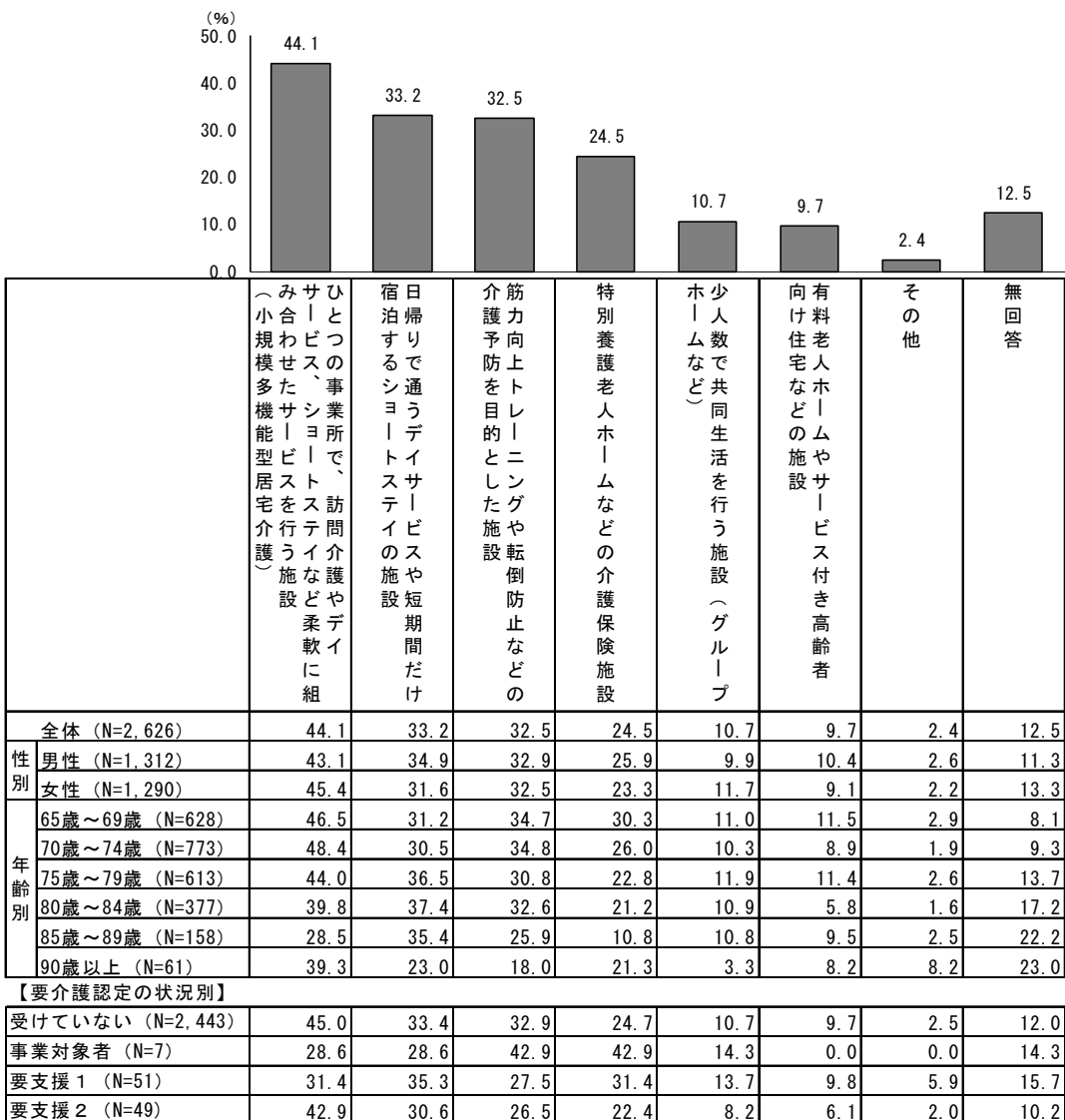
あなたが身近に整備してほしいと思う介護・福祉施設についてみると、「ひとつの事業所で、訪問介護やデイサービス、ショートステイなど柔軟に組み合わせたサービスを行う施設（小規模多機能型居宅介護）」が44.1%と最も高く、次いで「日帰りで通うデイサービスや短期間だけ宿泊するショートステイの施設」(33.2%)、「筋力向上トレーニングや転倒防止などの介護予防を目的とした施設」(32.5%)の順となっている。

男女別にみると、大きな差はみられなかった。

年齢別にみると、年齢が高いほど「筋力向上トレーニングや転倒防止などの介護予防を目的とした施設」は低い傾向にある。

要介護認定の状況別にみると、「事業対象者」は「筋力向上トレーニングや転倒防止などの介護予防を目的とした施設」、「特別養護老人ホームなどの介護保険施設」が他の要介護認定の状況に比べて高くなっている。

図表9(6)-1あなたが身近に整備してほしいと思う介護・福祉施設



図表9(6)-2あなたが身近に整備してほしいと思う介護・福祉施設【圏域別】

	筋力向上トレーニングや転倒防止などの介護予防を目的とした施設	日帰りや通うデイサービスや短期間だけ宿泊するショートステイの施設	ひとつの事業所で、訪問介護やデイサービス、ショートステイなど柔軟に組み合わせたいサービスを行う施設（小規模多機能型居宅介護）	少人数で共同生活を行う施設（グループホームなど）	特別養護老人ホームなどの介護保険施設	有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などの施設	その他	無回答
総曲輪、愛宕、安野屋、八人町、五番町、柳町、清水町、星井町 (N=136)	30.1	22.1	28.7	28.7	22.1	18.4	26.5	16.2
東部、山室 (N=169)	32.0	19.5	20.1	30.2	17.8	23.7	26.0	13.6
西田地方、堀川、光陽 (N=141)	37.6	18.4	17.7	34.8	21.3	16.3	27.0	19.9
堀川南、蜷川 (N=147)	30.6	21.1	21.1	29.3	15.0	17.7	23.8	15.0
奥田、奥田北 (N=136)	36.0	25.0	20.6	22.8	18.4	16.2	25.0	15.4
桜谷、五福、神明 (N=134)	36.6	22.4	25.4	33.6	14.2	14.2	28.4	17.2
岩瀬、荻浦、大広田、浜黒崎 (N=146)	37.0	24.0	22.6	26.7	18.5	17.1	34.2	18.5
針原、豊田 (N=143)	39.2	23.1	28.0	29.4	18.9	14.0	30.1	19.6
広田、新庄、新庄北 (N=139)	38.1	22.3	20.1	34.5	18.7	15.8	28.1	15.8
藤ノ木、山室中部 (N=127)	29.9	18.9	19.7	27.6	15.0	14.2	32.3	26.8
太田、新保、熊野、月岡 (N=151)	38.4	18.5	21.9	27.8	11.9	11.9	21.2	17.2
四方、八幡、草島、倉垣 (N=148)	41.2	25.0	20.9	22.3	14.2	16.2	31.8	23.0
呉羽、長岡、寒江、古沢、老田、池多 (N=144)	38.2	27.1	20.8	25.7	18.1	8.3	27.8	19.4
水橋中部、水橋西部、水橋東部、三郷、上条 (N=151)	33.1	29.8	22.5	28.5	11.3	13.9	23.8	19.9
大沢野地域、細入地域 (N=151)	41.7	23.2	24.5	23.2	12.6	13.9	37.1	16.6
大山地域 (N=141)	40.4	24.1	14.9	21.3	12.1	9.2	37.6	19.1
八尾地域、山田地域 (N=154)	40.9	26.0	17.5	21.4	11.0	14.9	29.9	22.1
婦中地域 (N=144)	28.5	24.3	22.9	31.9	20.8	9.0	27.8	25.7

10 医療について

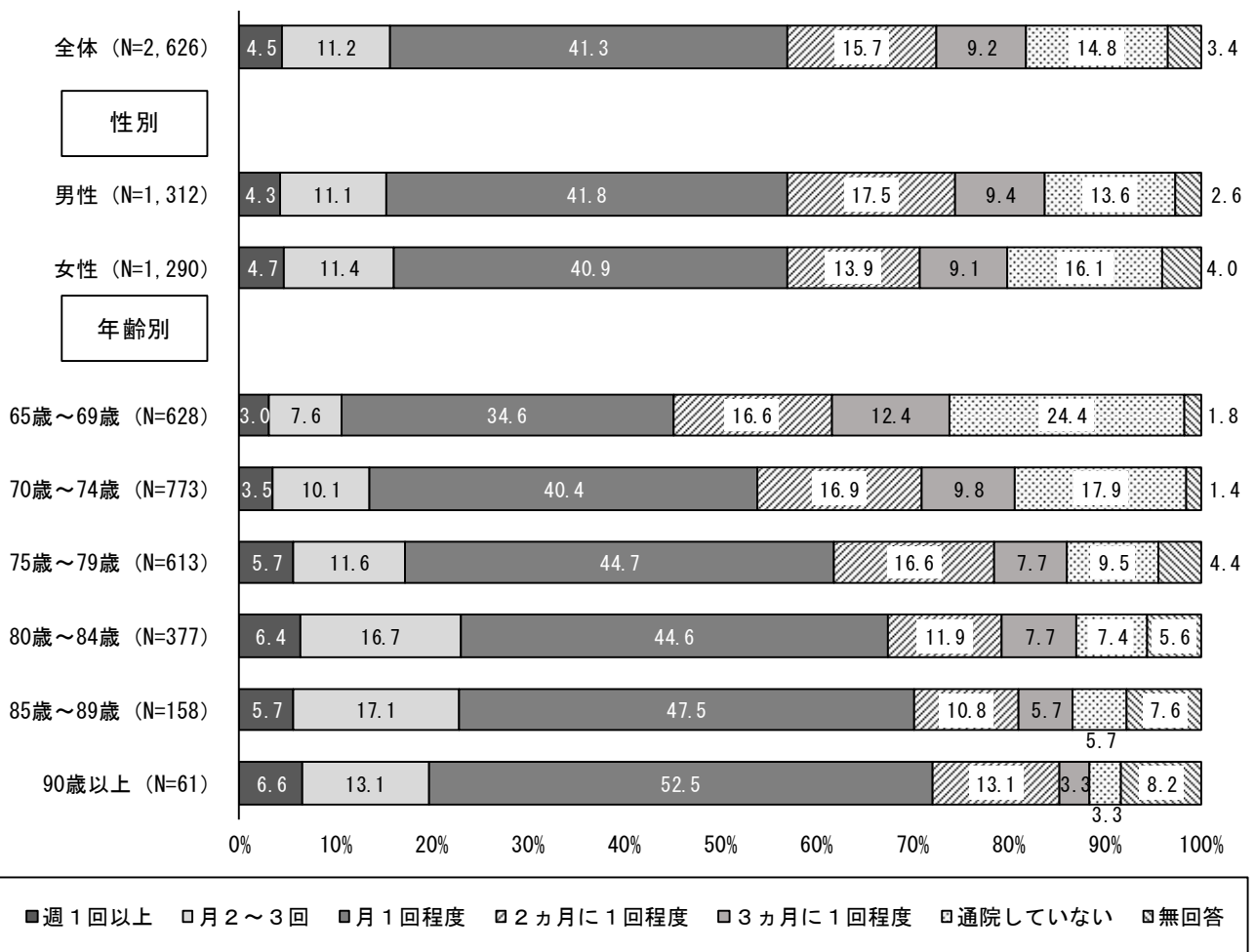
問 10 (1) 現在、病院・医院（診察所、クリニック）に通院していますか。

現在の通院状況についてみると、「月1回程度」が41.3%と最も高く、次いで「2カ月に1回程度」(15.7%)、「通院していない」(14.8%)の順となっている。

男女別にみると、大きな差はみられないが、女性は男性と比べて若干「2カ月に1回程度」が低く、「通院していない」が高くなっている。

年代別にみると、年代が高いほど「通院していない」が低い傾向にあり、「月に1回程度」が高い傾向にある。

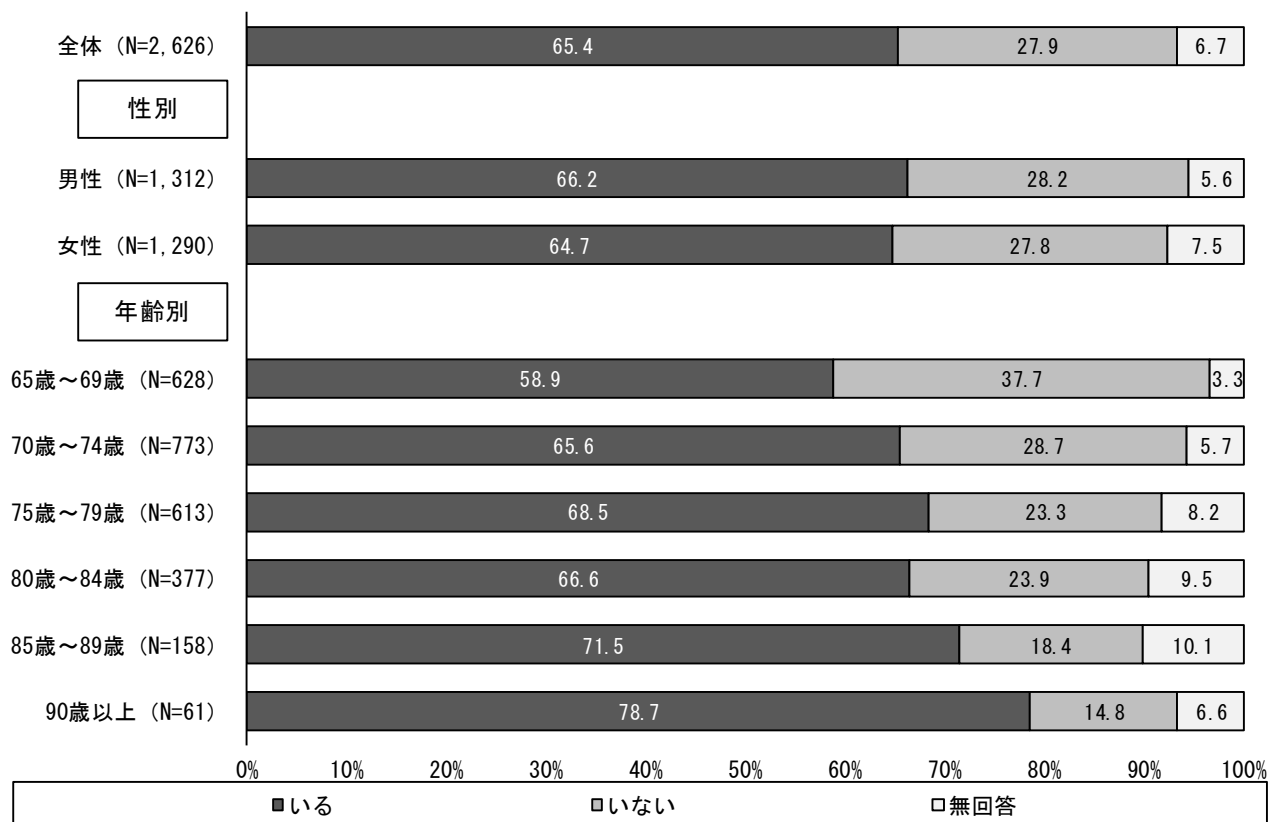
図表 10(1)現在の通院状況



問 10（2）現在、身近に何でも相談できる「かかりつけ医」はいますか。

かかりつけ医の存在の有無についてみると、「いる」が 65.4%、「いない」が 27.9%となっている。
 男女別にみると、大きな差はみられなかった。
 年齢別にみると、年代が高いほど「いる」が高い傾向にある。

図表 10（2）かかりつけ医の有無

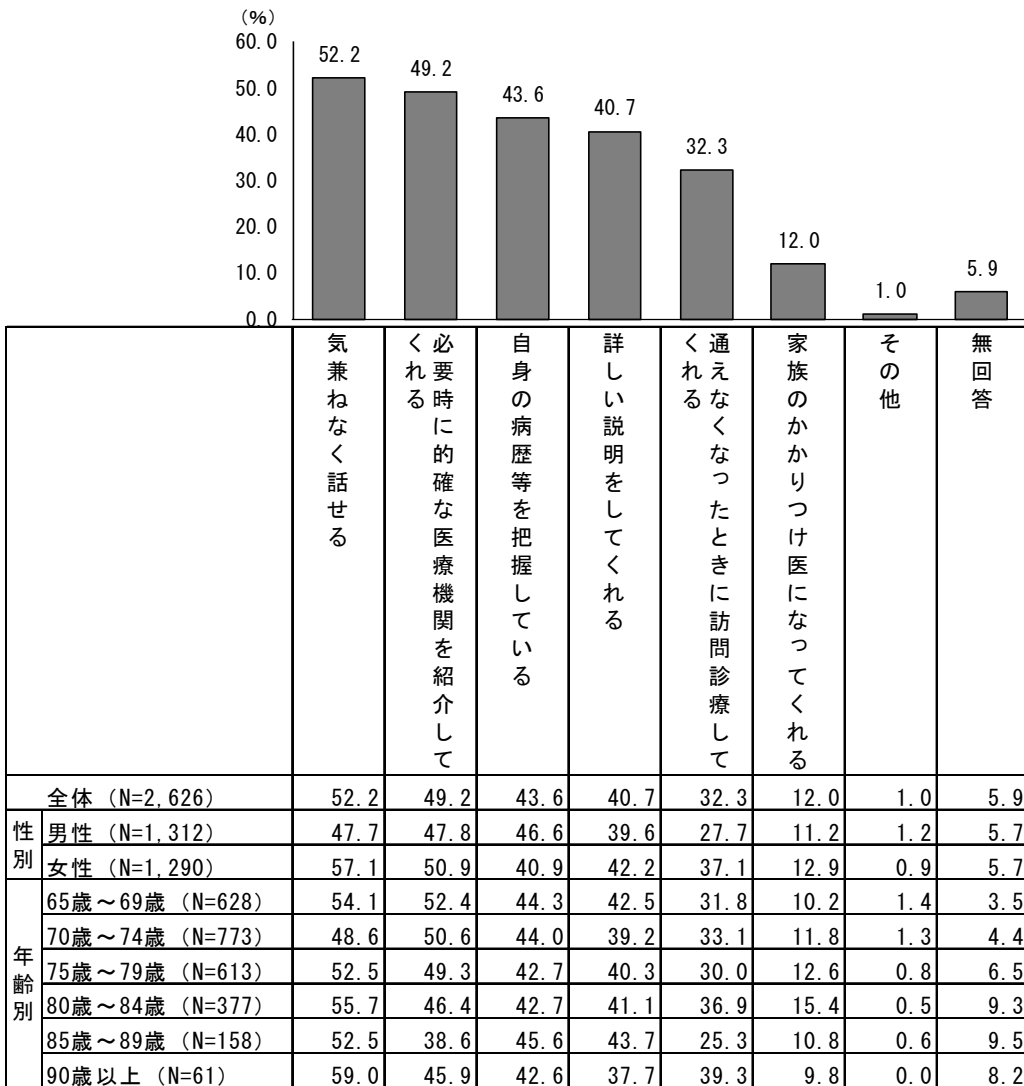


問 10 (3) あなたが「かかりつけ医」に求めることはなんですか。(いくつでも)

かかりつけ医に求める事についてみると、「気兼ねなく話せる」が52.2%と最も高く、次いで「必要時に的確な医療機関を紹介してくれる」(49.2%)、「自身の病歴等を把握している」(43.6%)の順となっている。

男女別にみると、男性は「自身の病歴等を把握している」が女性と比べて高く、女性は「気兼ねなく話せる」、「通えなくなったときに訪問診療をしてくれる」が男性と比べて高くなっている。

図表 10(3)かかりつけ医に求めること



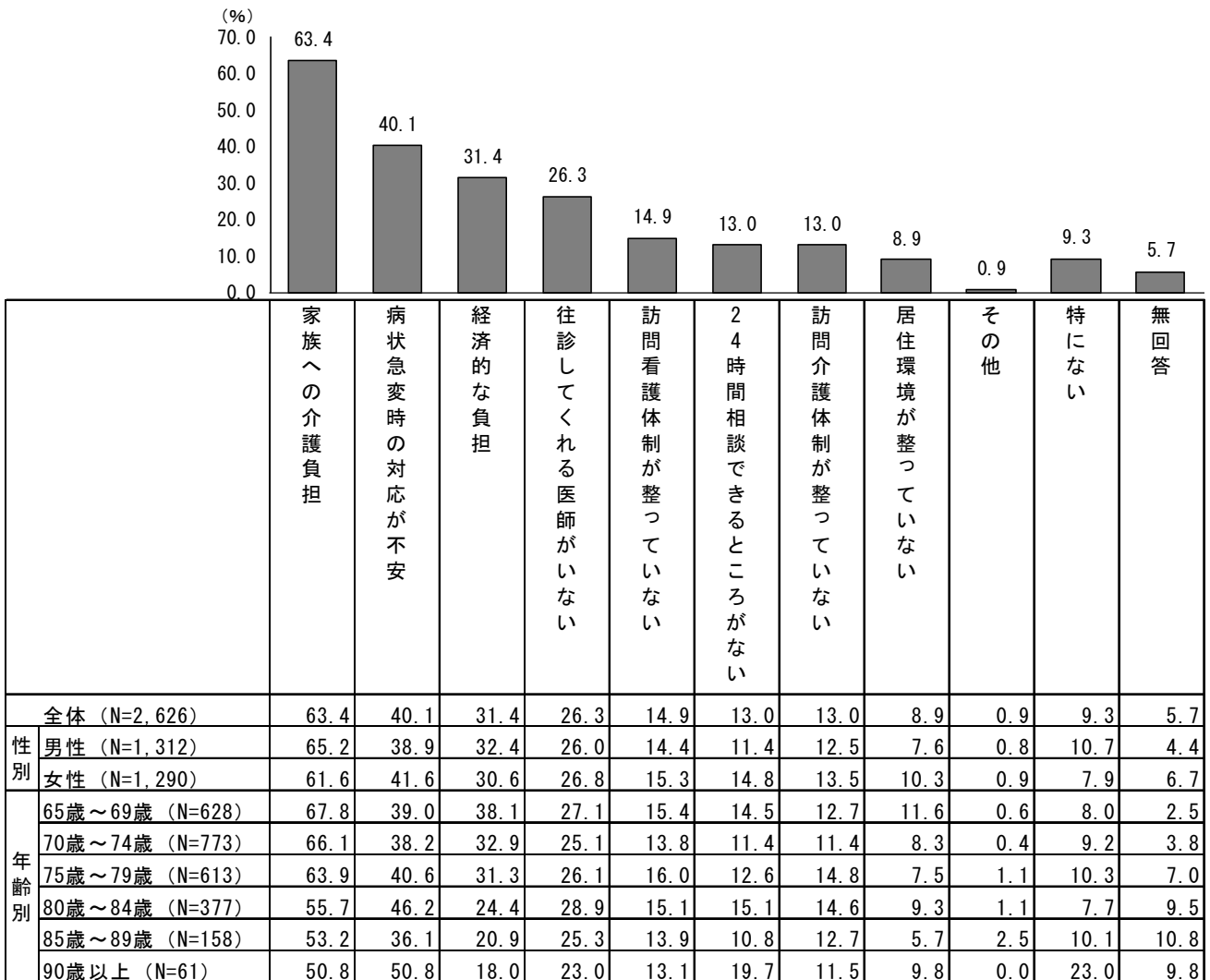
問 10 (4) 自宅で療養する場合に、どんな不安や課題等がありますか。(いくつでも)

自宅で療養する場合の不安や課題についてみると、「家族への介護負担」が 63.4%と最も高く、次いで「病状急変時の対応が不安」(40.1%)、「経済的な負担」(31.4%) の順となっている。

男女別にみると、大きな差はみられない。

年齢別にみると、すべての年代で上位 2 項目は「家族への介護負担」、「病状急変時の対応が不安」となっている。上位 3 項目目は 80 歳未満では「経済的な負担」、80 歳以上では「往診してくれる医師がいない」となっている。

図表 10(4) 自宅で療養する場合の不安や課題



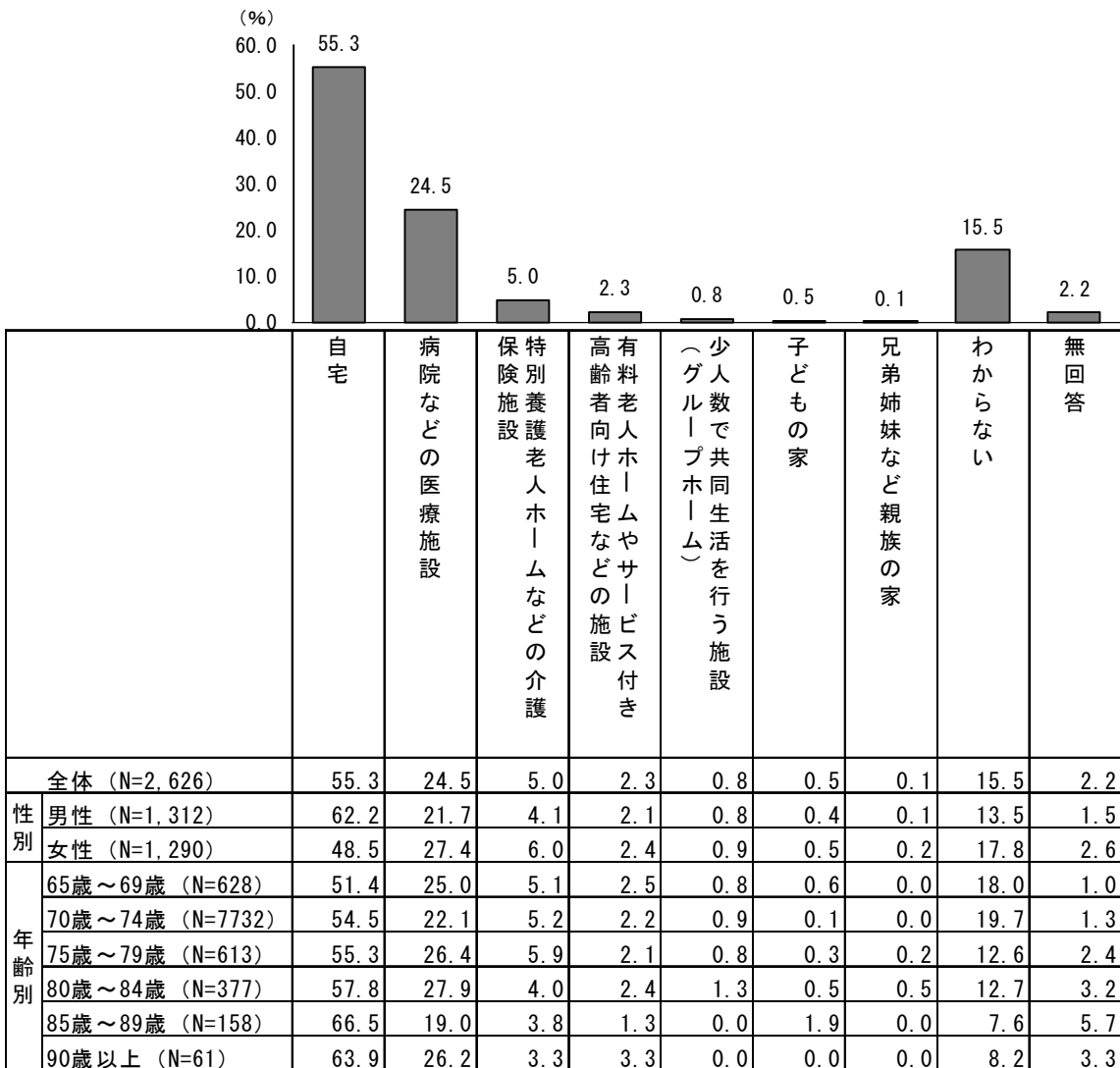
問 10 (5) あなたはどこで最期を迎えることを望みますか (いくつでも)

希望する最期を迎える場所についてみると、「自宅」が 55.3%と最も高く、次いで「病院などの医療施設」(24.5%)、「わからない」(15.5%) の順となっている。

男女別にみると、男性は「自宅」が 62.2%と女性と比べて高く、女性は「病院などの医療施設」が 27.4%と男性と比べて高くなっている。

年齢別にみると、すべての年代で上位 3 項目は順位も含め、全体と同様となっている。「自宅」は年代が高いほど、高くなっている。

図表 10(5)希望する最期を迎える場所



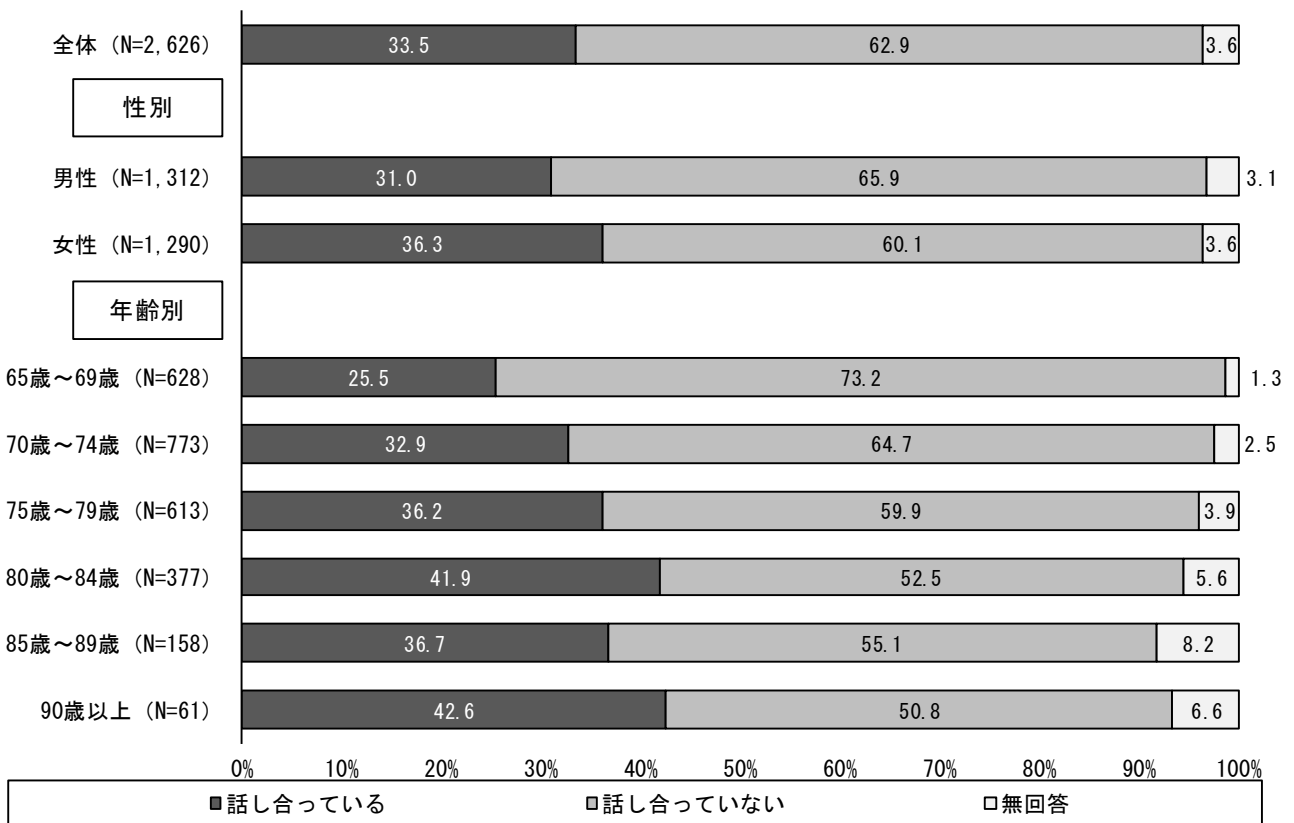
問 10 (6) あなたが望む、人生の最終段階における医療やケアについて、家族等まわりの信頼する人
 たちと話し合っていますか。

人生の最終段階における医療やケアについて、家族等まわりの信頼する人たちと話し合っているかについてみると、「話し合っている」が33.5%、「話し合っていない」が62.9%となっている。

男女別にみると、女性は「話し合っている」が36.3%と男性と比べて高くなっている。

年齢別にみると、年代が高いほど「話し合っている」が高い傾向にある。

図表 10(6) 人生の最終段階における医療やケアについて、家族等まわりの信頼する人たちと話し合っているか



IV 調査票

高齢者保健福祉実態調査

令和2年2月
富山市

※回答は、この用紙の該当する答えの番号に直接○印をつけてください。(別に回答用紙はありません)

設問のはじめに

(1) このアンケートに記入いただく方を教えてください。

1. あなた(ご本人)
2. ご家族(ご本人からの聞き取りにより記入)
3. その他(ご本人からの聞き取りにより記入)

(2) あなたの性別を教えてください。

1. 男性
2. 女性

(3) あなたの満年齢を教えてください。(令和2年1月1日現在)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 65歳～69歳 | 2. 70歳～74歳 | 3. 75歳～79歳 |
| 4. 80歳～84歳 | 5. 85歳～89歳 | 6. 90歳以上 |

(4) あなたはどの地域にお住まいですか。(お住まいの地域に○をつけてください)

- | | |
|-------------------------------------|--------------------------|
| 1. 総曲輪、愛宕、安野屋、八人町
五番町、柳町、清水町、星井町 | 2. 東部、山室 |
| 3. 西田地方、堀川、光陽 | 4. 堀川南、蜷川 |
| 5. 奥田、奥田北 | 6. 桜谷、五福、神明 |
| 7. 岩瀬、萩浦、大広田、浜黒崎 | 8. 針原、豊田 |
| 9. 広田、新庄、新庄北 | 10. 藤ノ木、山室中部 |
| 11. 太田、新保、熊野、月岡 | 12. 四方、八幡、草島、倉垣 |
| 13. 呉羽、長岡、寒江、古沢、老田、池多 | 14. 水橋中部、水橋西部、水橋東部、三郷、上条 |
| 15. 大沢野地域、細入地域 | 16. 大山地域 |
| 17. 八尾地域、山田地域 | 18. 婦中地域 |

(5) あなたは、介護認定を受けていますか。

1. 受けていない
2. 事業対象者
3. 要支援1
4. 要支援2

問1 あなたの家族や生活状況について

(1) あなたは誰と一緒に暮らしていますか。(いくつでも)

1. 1人暮らし
2. 夫婦2人暮らし (配偶者 65歳以上)
3. 夫婦2人暮らし (配偶者 64歳以下)
4. 息子・娘との2世帯
5. その他 ()

【(1)において家族など同居されている方のみ】

①日中、高齢者(65歳以上)のみになることがありますか。

1. よくある
2. たまにある
3. ない

②日中、一人になることがありますか。

1. よくある
2. たまにある
3. ない

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

1. 介護・介助は必要ない
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

【(2)で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答された方のみ】

①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(いくつでも)

1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)
2. 心臓病
3. がん (悪性新生物)
4. 呼吸器の病気 (肺気腫・肺炎等)
5. 関節の病気 (リウマチ等)
6. 認知症 (アルツハイマー病等)
7. パーキンソン病
8. 糖尿病
9. 腎疾患 (透析)
10. 視覚・聴覚障害
11. 骨折・転倒
12. 脊椎損傷
13. 高齢による衰弱
14. その他 ()
15. 不明

【(2)で「3. 何らかの介護を受けている」と回答された方のみ】

②主にどなたの介護を受けていますか。(いくつでも)

1. 配偶者 (夫・妻)
2. 息子
3. 娘
4. 子の配偶者
5. 孫
6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー
8. その他 ()

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。

1. 大変苦しい
2. やや苦しい
3. ふつう
4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある

(4) あなたが、生活の中で不安に思うことはありますか。(いくつでも)

1. 病気に関する不安
2. 寝たきりになることへの不安
3. 認知症にんちしょうになることへの不安
4. 孤独に関する不安(ひとり暮らしである、人とのつきあいがうまくいっていないなど)
5. いざという時に頼れる人がいないことへの不安
6. 家族の介護に関する不安
7. 経済(生活費など)に関する不安
8. 住宅の維持管理(除雪、庭木の手入れ、修繕など)に関する不安
9. 人権侵害じんけんしんがいに対する不安(暴力、無視、金銭の要求・無断使用 など)
10. 犯罪に対する不安(「オレオレ詐欺」、「振り込め詐欺」 など)
11. 災害(地震、火事、水害など)に関する不安
12. 特になし
13. その他 ()

(5) 現在のお住まいで困っていることはありますか。(いくつでも)

1. 玄関や敷居等の段差
2. 庭木の手入れや除草
3. 冬期の除雪
4. 住宅の修繕などの維持・管理
5. 生活が不便(交通の便が悪い、近くにスーパーがないなど)
6. 近くに医療機関や介護保険施設などが無い
7. 特に困っていることはない
8. その他 ()

(6) お住まいは、次のどれにあたりますか。

1. 持家(一戸建て)
こうえいちんたいじゅうたく
2. 持家(集合住宅)
みんかんちんたいじゅうたく
3. 公営賃貸住宅
こうえいちんたいじゅうたく
4. 民間賃貸住宅(一戸建て)
みんかんちんたいじゅうたく
5. 民間賃貸住宅(集合住宅)
6. 借間
7. 有料老人ホーム、ケアハウス、サービス付き高齢者向け住宅
8. その他 ()

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

(3) 15分位続けて歩いていますか。

1. できるし、している
2. できるけどしていない
3. できない

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。

1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか。

1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか。

1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。

1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない

【(7)で「1. とても減っている」または「2. 減っている」と回答された方のみ】

①外出の回数が減っている理由は、次のどれですか。(いくつでも)

1. 病気 2. 障害 (脳卒中^{しょうがい のうそっちゅう こういしょう}の後遺症など) 3. 足腰などの痛み
4. トイレの心配(失禁など) 5. 耳の障害 (聞こえの問題など) 6. 目の障害
7. 外での楽しみがない 8. 経済的に出られない 9. 交通手段がない
10. その他 ()

(8) 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも)

1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク
4. 自動車 (自分で運転) 5. 自動車 (人に乗せてもらう) 6. 電車
7. 路線バス 8. 病院や施設のバス 9. 車いす
10. 電動車いす (カート) 11. 歩行器・シルバーカー 12. タクシー
13. コミュニティバス・シルバータクシー
14. その他 ()

問3 食べることについて

(1) 身長・体重

身長 _____ c m 、 体重 _____ k g

(2) あなたの口腔の状態について、次に当てはまるものはありますか。(いくつでも)

1. 半年前に比べて固いものが食べにくくなった
2. お茶や汁物などでむせることがある
3. 口の渇きが気になる
4. 歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日している
5. 定期的に歯科受診 (健診を含む) をしている

(3) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 | 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし |
| 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 | 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし |

(4) どなたかと食事をとにもする機会がありますか。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない | |

問4 毎日の生活について

(1) 物忘れについて、次に当てはまるものはありますか。(いくつでも)

1. 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われる
2. 自分で電話番号を調べて、電話をかけている
3. 今日が何月何日かわからない時がある
4. 5分前のことが思い出せない

(2) バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(3) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(4) 自分で食事の用意をしていますか。

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(5) 自分で請求書の支払いをしていますか。

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(6) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(7) 家庭内で何か役割はありますか。(いくつでも)

- | | | | | |
|------------|-------|------------|---------|----------|
| 1. 炊事 | 2. 掃除 | 3. 洗濯 | 4. 孫の世話 | 5. 家族の介護 |
| 6. 庭や植栽の管理 | 7. ない | 8. その他 () | | |

(8) 新聞や本、雑誌を読んでいますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(9) 家族や友人の相談にのっていますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(10) 趣味や生きがいはありますか。

1. ある () 2. ない・思いつかない

(11) 運動(散歩など軽い運動を含む)はどのぐらいの頻度で行っていますか。

1. ほぼ毎日 2. 週4～5日 3. 週2～3日 4. 週1日
5. 週1日未満 6. 以前はしていたが、現在はしていない 7. 全くしていない

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのぐらいの頻度で参加していますか。

※①～⑧それぞれに回答してください。

	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加していない
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤介護予防ふれあいサークルや楽楽いきいき運動など介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

問6 たすけあいについて

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はどなたですか。(いくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他 () 8. そのような人はいない

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はどなたですか。(いくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない | |

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。(いくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない | |

(4) 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人はどなたですか。(いくつでも)

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () | 8. そのような人はいない | |

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(いくつでも)

- | | | |
|------------------|-------------------|------------|
| 1. 自治会・町内会・老人クラブ | 2. 社会福祉協議会・民生委員 | 3. ケアマネジャー |
| 4. 医師・歯科医師・看護師 | 5. 地域包括支援センター・市役所 | |
| 6. その他 () | 7. そのような人はいない | |

(6) 友人・知人と会う頻度はどのくらいですか。

- | | | |
|----------|----------|-----------|
| 1. 週4回以上 | 2. 週2～3回 | 3. 週1回 |
| 4. 月1～3回 | 5. 年に数回 | 6. 会っていない |

問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。

- | | | | |
|----------|---------|------------|---------|
| 1. とてもよい | 2. まあよい | 3. あまりよくない | 4. よくない |
|----------|---------|------------|---------|

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか。

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として点数に○をつけてください)。

とても不幸 ←—————▶ とても幸せ

0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(8) 健康づくりや介護予防のために今後やってみたいことは何ですか。(いくつでも)

1. 運動 (散歩など軽い運動を含む)
2. 働くこと
3. 家事や家庭内の世話
4. ボランティア活動
5. 趣味や教養活動
6. 友人との交流
7. 地域活動 (長寿会や自治会活動を含む)
8. 特にない
9. その他 ()

問 8 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。

1. はい
2. いいえ

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。

1. はい
2. いいえ

(3) もし、あなたや家族が認知症になったら、どのようなことが不安ですか。

(いくつでも)

1. これまでできていたことができなくなる
2. 病院等で治療しても症状が改善しない
3. どこに相談すればよいかわからない
4. 家族や自分に介護等の精神的・肉体的負担がかかる
5. 治療や介護等に金銭的負担がかかる
6. 自宅で生活できなくなる
7. 外出した際、家に帰れなくなる
8. 家族に迷惑をかけてしまう
9. 家族以外の周りの人に迷惑をかけてしまう
10. これまで参加していた活動 (老人クラブ、サークル等) に参加できなくなる
11. その他 ()

(4) 認知症の人が住み慣れた地域で暮らしていくためにはどのような支援が必要だと思いますか。(3つまで○印を付けてください)

1. 地域の見守り体制の充実 (ネットワークの構築、連絡体制整備など)
2. 認知症を正しく理解するための啓発活動の充実
3. 家族などの介護負担を軽減するための施策の充実
4. 認知症専門相談窓口の設置
5. 認知症の専門医の設置
6. 認知症の介護サービス (在宅・施設サービス) の充実
7. 認知症高齢者徘徊 SOS 緊急ダイヤル (事前登録制) の登録の推進
8. 成年後見制度などの活用促進
9. 認知症の人や家族、地域住民の誰もが気軽に集える場 (「認知症カフェ」など) の設置
10. 認知症の人の社会参加や働く場の確保
11. 認知症の人やその家族を支援するボランティアの育成
12. できるだけ早い段階から、医療・介護等のサポートを利用できる仕組みづくり
13. 医療機関や認知症の人と家族に役立つサービスの情報提供 (地域資源マップなど)
14. その他 ()

(5) あなたは介護保険制度における費用負担について、どのようにお考えですか。
(1つのみ○印を付けてください)

1. 現状程度の費用負担が適当である
2. サービスは少なくともよいが、なるべく低料金で利用したい
3. それなりの費用負担をしても、多様なサービスを受けたい
4. その他 ()

(6) あなたが身近に整備してほしいと思う介護・福祉施設などはどれですか。(いくつでも)

1. 筋力向上トレーニングや転倒予防などの介護予防を目的とした施設
2. 日帰りで通うデイサービスや短期間だけ宿泊するショートステイの施設
3. ひとつの事業所で、訪問介護やデイサービス、ショートステイなど柔軟に組み合わせたサービスを行う施設 (小規模多機能型居宅介護)
4. 少人数で共同生活を行う施設 (グループホームなど)
5. 特別養護老人ホームなどの介護保険施設
6. 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などの施設
7. その他 ()

問10 医療について

(1) 現在、病院・医院(診療所、クリニック)に通院していますか。

- | | | |
|-------------|-------------|------------|
| 1. 週1回以上 | 2. 月2~3回 | 3. 月1回程度 |
| 4. 2ヵ月に1回程度 | 5. 3ヵ月に1回程度 | 6. 通院していない |

(2) 現在、身近に何でも相談できる「かかりつけ医」はいますか。

1. いる
2. いない

(3) あなたが「かかりつけ医」に求めることは何ですか。(いくつでも)

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1. 詳しい説明をしてくれる | 2. 自身の病歴等を把握している |
| 3. 気兼ねなく話せる | 4. 必要時に的確な医療機関を紹介してくれる |
| 5. 家族のかかりつけ医になってくれる | 6. 通えなくなったときに訪問診療してくれる |
| 7. その他 | |

(4) 自宅で療養する場合に、どんな不安や課題等がありますか。(いくつでも)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 特にない | 2. 家族への介護負担 |
| 3. 病状急変時の対応が不安 | 4. 往診してくれる医師がいない |
| 5. 訪問看護体制が整っていない | 6. 訪問介護体制が整っていない |
| 7. 24時間相談できるところがない | 8. 居住環境が整っていない |
| 9. 経済的な負担 | 10. その他 |

(5) あなたは、どこで最期を迎えることを望みますか。

- | | | |
|-------------------------------|-----------------------|---------------|
| 1. 自宅 | 2. 子どもの家 | 3. 兄弟姉妹など親族の家 |
| 4. 病院などの医療施設 | 5. 特別養護老人ホームなどの介護保険施設 | |
| 6. 少人数で共同生活を行う施設（グループホームなど） | | |
| 7. 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などの施設 | | |
| 8. わからない | | |

(6) あなたが望む、人生の最終段階における医療やケアについて、家族等まわりの信頼する人たちと話し合っていますか。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 話し合っている | 2. 話し合っていない |
|------------|-------------|

■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■

記入もれがないか、今一度お確かめください。

※ 記入した調査票は切り離すことなく3つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて（切手は不要です）2月21日（金）までに投函してください。

高齢者保健福祉実態調査報告書

令和2年3月 発行

富 山 市

富山市新桜町7番38号

TEL : 076-431-6111

お問い合わせ先 **富山市福祉保健部長寿福祉課**

TEL : 076-443-2061

富山市福祉保健部介護保険課

TEL : 076-443-2041

調査・分析 **株式会社ジェック経営コンサルタント**

富山市湊入船町3番30号

TEL : 076-444-0035
